平成１３年度

三重県埋蔵文化財年報

２００２・８

三重県埋蔵文化財センター

は　じ　め　に

埋蔵文化財は、文字史料とは別に、過去の文化を物語る土地に刻まれた不動産としての遺跡と動産としての遺物から成り立ちます。
そして、歴史への評価は、意図することがなくても評価する時代や立場が反映してしまいます。そこで、歴史の実地に立ち、本物に接することが正しい歴史認識の出発点であります。したがって、歴史的証拠は、評価を加えることなく事実そのままで後世に伝えることが何よりも重要です。

しかしながら、現代の生活活動との兼ね合いから、どうしても埋蔵文化財の破壊はある程度避けられません。そこで、当三重県埋蔵文化財センターとしても各市町村教育委員会と協力して遺跡の現状保存に極力努め、それでも避けられない場合は記録保存のための発掘調査を実施しております。

「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」が平成１２年４月１日から施行されましたこともあり、「地域の文化財は地域で」という原則の実現が従前以上に肝要となっております。そこで、埋蔵文化財の保護行政も県と市町村との連携・協力関係は一段と重要になっております。又、一方では、文化財保護行政も質の向上を伴う行政改革が求められております。

このような状況の中、埋蔵文化財の保存を第一義的業務としながらも、多くの時間は発掘調査に費やさざるを得ず、普及公開活動も必ずしも充分ではないのが現状です。しかし、平成１３年度も三重県下では多くの発掘調査が行なわれ、さまざまな普及公開活動が実施されました。具体的な調査成果は個別の調査報告書に譲ることとし、当年報では県下の全体的な事業実績をまとめております。

なお、最後になりましたが、この年報を取りまとめるにあたってご協力をいただきました関係機関には、厚くお礼申し上げます。

平成１４年８月

三重県埋蔵文化財センター
所長　　吉　水　康　夫

例　　言

1　この冊子は、平成１３年度における三重県内の発掘調査の概要と三重県埋蔵文化財センターの事業概要をまとめたものである。

2　「Ⅱ 平成１３年度発掘調査」では、平成１３年度の三重県下における発掘調査の概要として、三重県埋蔵文化財センター・斎宮歴史博物館担当の発掘調査成果および、県内市町村担当の発掘調査成果もあわせて収録した。

なお、各遺跡の発掘調査の概要については、それぞれの発掘調査担当者の協力を得た。

3　本冊子の編集は、関係機関及び各位の協力を得て、情報普及グループが行った。

目　　次

Ⅰ　組織及び業務体系 ---------- 1

Ⅱ　平成 13 年度発掘調査 ---------- 3

　1　発掘調査一覧 ---------- 3

　2　発掘調査の概要 ---------- 6

Ⅲ　埋蔵文化財保護体制の充実 ---------- 43

　1　各種会議 ---------- 43

　2　埋蔵文化財技術者養成 ---------- 44

　3　埋蔵文化財保護等に関する支援・協力 ---------- 45

Ⅳ　資料の整理・保管・公開 ---------- 52

　1　資料の整理・保管 ---------- 52

　2　科学的保存処理 ---------- 52

　3　資料の公開 ---------- 52

　4　三重県埋蔵文化財センターのホームページの開設 ---------- 55

　5　発掘成果お届け会 ---------- 55

　6　施設見学・発掘調査現場見学 ---------- 55

　7　保管出土品等の貸出・写真等の掲載及び閲覧 ---------- 56

　8　保管出土品等の長期貸出 ---------- 58

Ⅴ　行政資料 ---------- 59

　1　県内埋蔵文化財数 ---------- 59

　2　県・市町村別の発掘調査件数及び面積の実績 ---------- 60

　3　文化庁次長通知 ---------- 61

《 付編 》

　1　三重県埋蔵文化財調査員名簿 ---------- 63

Ⅰ　組織及び業務体系

〔組　織〕

- 所長
  - 主幹兼総務ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ ― 主査 ― 総務担当　(２)
  - 副参事兼資料普及ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ
    - 主幹 ― 資料普及担当　(１、研修４)
    - 主幹
  - 主幹兼調査第一課長
    - 主査兼第一係長 ― 調査担当〈農林水産商工部他〉　(４)
    - 主査兼第二係長 ― 調査担当〈県土整備部他〉　(８)
    - 主幹
  - 主幹兼調査第二課長
    - 主査兼第一係長 ― 調査担当〈第二名神他〉　(６)
    - 主査〈近道亀山直結線〉
    - 主査兼第二係長 ― 調査担当〈中勢道路他〉　(４)
    - 主査兼第三係長 ― 調査担当〈宮川川水他〉　(２)
    - 主幹

職員数４２名　（兼務５名、専任３７名、研修４名）

〔分掌事務〕

総務グループ

1　公印の管理に関すること
2　職員の身分及び服務に関すること
3　予算及び経理に関すること
4　給与及び旅費等の支給に関すること
5　契約及び入札事務に関すること
6　施設、設備の保守管理に関すること
7　文書の収発に関すること
8　職員の健康、福利厚生に関すること
9　防災管理に関すること
10　その他他課・ｸﾞﾙｰﾌﾟに属さないこと

調査第一課

1　埋蔵文化財保護にかかるスポーツ・生涯学習課文化財保護室ならびに関係部局との連絡調整に関すること
2　県関係公共事業における埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること

調査第二課

1　一般国道 475 号東海環状自動車道に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
2　一般国道 23 号中勢道路に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
3　国営宮川用水第二期土地改良事業に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
4　近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
5　近畿自動車道名古屋関線(亀山亀山間)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
6　近畿自動車道尾鷲勢和線(紀勢勢和間)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
7　県道四日市朝日線(インター取り付け) に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
8　国土交通省、農林水産省、日本道路公団他との調整協議と事務処理に関すること

資料普及グループ

1　遺物収蔵庫の管理に関すること
2　整理済み出土品の収蔵及び保管に関すること
3　遺跡及び遺物の実測図・写真等の整理及び保管に関すること
4　関係図書等の整理及び保管に関すること
5　遺跡台帳・遺跡地図の整備及び保管に関すること
6　出土品の洗浄・注記・接合・復元・実測等に関すること
7　埋蔵文化財展・県庁展・県民局展等各種展示に関すること
8　遺跡及び遺物等資料の貸出・掲載許可等に関すること
9　センター通信「みえ」･『研究紀要』･『埋蔵文化財年報』等の刊行に関すること
10　埋蔵文化財行政調査等に関すること文化財展等の支援に関すること
11「埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修」に関すること
12「埋蔵文化財行政基礎講座」に関すること
13「発掘調査お届け会」に関すること
14「埋蔵文化財専門担当者会議」等、センター内外の各種会議に関すること

〔職　員〕

所　長	桂川　哲（斎宮歴史博物館館長本務）			
総務ｸﾞﾙｰﾌﾟ	主幹（G.L）	中谷 丈治（斎宮歴史博物館本務）	主事	石井 善文（斎宮歴史博物館本務）
	主査	牛谷 和代（斎宮歴史博物館本務）	主事	山路 裕樹（斎宮歴史博物館本務）
資料普及ｸﾞﾙｰﾌﾟ	副参事（G.L）	山澤 義貴	研修員	伊藤 直孝
	主幹	山田　猛	研修員	新庄 孝敏
	主幹	倉田 直純	研修員	山崎 博史
	主事	船越 重伸	研修員	松見 直茂
調査第一課	主幹兼課長	田阪　仁		
	主幹	河北 秀実		
第一係	主査兼係長	筒井 正明	技師	新名　強
	主事	宮田 勝功	技師	角正 淳子
	主事	小濱　学		
第二係	主査兼係長	野原 宏司	技師	金子 智子
	主事	奥野　実	技師	水谷　豊
	主事	黒田 聖也	臨時技術補助員	小林 俊之
	主事	柴山 圭子	臨時技術補助員	豊田 祥三
	技師	大川　操	臨時技術補助員	山岡 奈美恵
	技師	萩原 義彦	臨時技術補助員	酒井 巳紀子
	技師	原田 恵理子		
調査第二課	主幹兼課長	新田　洋		
第一係	主査兼係長	森川 幸雄	主事	竹田 憲治
	主査	木野本 和之	技師	穂積 裕昌
	主事	松田 珠美	技師	角正 芳浩
	主事	山口 聡嗣	臨時技術補助員	田中 美穂
	主事	服部 芳人		
第二係	主査兼係長	本堂 弘之	技師	川畑 由紀子
	主事	川合 圭子	臨時技術補助員	川崎 志乃
	主事	中川　明	臨時技術補助員	瀬野 弥知世
	主事	東　敬義		
第三係	主査兼係長	森川 常厚	主事	小山 憲一
	主事	五島 史佳		

〔施　設〕

三重県埋蔵文化財センター

所在地　多気郡明和町竹川 503 番地　TEL 0596-52-1732・3800　FAX 0596-52-7035

HP ｱﾄﾞﾚｽ　http://www.museum.pref.mie.jp/maibun

面積　敷地面積 18,000 ㎡　建築面積 4,573 ㎡　延床面積 5,077 ㎡

構造　鉄筋コンクリート造 1 階(一部 2 階)建　＊建物は斎宮歴史博物館と共用

遺物収蔵庫

桜橋収蔵庫	津市桜橋 2 丁目 126	TEL 059-227-2465
藤方収蔵庫	津市藤方 2283-1	TEL 059-224-4560
高茶屋収蔵庫	津市高茶屋 7 丁目 3 番 46 号	TEL 059-235-4343
上野収蔵庫	上野市丸之内 117	TEL 0595-24-0079
朝明倉庫	四日市市中野町 2216 番地	TEL 0593-39-3553

現場整理所

近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)整理所	四日市市伊坂町 126-1	TEL 0593-66-2688	FAX 0593-66-2689
国道 23 号中勢道路整理所	津市安東町 1213-5	TEL 059-229-2770	FAX 059-229-2771
玉城整理所	度会郡玉城町岡村 281-1	TEL 0596-58-5904	FAX 0596-58-5905

Ⅱ　平成 13 年度発掘調査

1　発 掘 調 査 一 覧

〔全県下の発掘調査〕

調査機関		本調査			試掘調査・工事立会			総調査面積(㎡)
		遺跡数	件数	調査面積(㎡)	遺跡数	件数	調査面積(㎡)	
県	埋蔵文化財センター	38	36	44,357.0	80	76	18,656.6	63,013.6
県	斎宮歴史博物館	1	17	3,349.5	0	0	0	3,349.5
市町村教育委員会		38	48	30,511.4	167	213	32,155.9	62,667.3
全　県　計		77	101	78,217.9	247	289	50,812.5	129,030.4

〔県埋蔵文化財センター担当の発掘調査〕

事　業　名		件　数		調査面積(㎡)
		本調査	試掘調査・工事立会	
県事業関係	農林水産商工部関係	12	12	12,404.0
	県土整備部関係	13	45	31,259.1
	その他	1	5	529.0
国・公団事業関係	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設関係	1	2	1,473.0
	一般国道 475 号東海環状自動車道建設関係	2	1	1,630.0
	東名阪自動車道亀山短絡線関係	0	2	1,702.0
	一般国道 23 号中勢道路建設関係	3	2	9,630.0
	国営宮川用水第二期土地改良事業関係	2	5	760.0
	近畿自動車道尾鷲勢和線	2	2	3,156.5
	その他（国土交通省）	0	2	470.0
計		36	76	63,013.6

〔県埋蔵文化財センター担当の本調査〕　（※は国・県費補助事業）

№.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
1	宮山遺跡（第２次）	員弁郡大安町	一般国道 475 号東海環状自動車道	国土交通省	860
2	広山Ｂ遺跡（第２次）	員弁郡東員町	一般国道 475 号東海環状自動車道	国土交通省	500
3	伊坂遺跡	四日市市伊坂町	近畿自動車道名古屋神戸線	日本道路公団	794
4	茂福城跡・里ノ内遺跡	四日市市茂福・羽津町	富田山城線国補街路整備	県土整備部	165
5	小牧北遺跡	四日市市小牧町	国道 365 号員弁バイパス国補道路改築	県土整備部	5,900
6	間ノ田遺跡	四日市市広永町	(主)四日市朝日線緊急地方道路整備	県土整備部	2,650
7	辻子遺跡（第４次）	三重郡朝日町 四日市市広永町	(主)四日市朝日線緊急地方道路整備	県土整備部	100
8	八重垣神社遺跡（第２次）	鈴鹿市十宮町	県営ほ場整備 かんがい排水整備	農林水産商工部・県教委※	1,150
9	国分東遺跡（第３次）	鈴鹿市国分町	四日市鈴鹿環状線道路整備	県土整備部	1,000
10	石薬師東古墳群 石薬師東遺跡（第 14 次）	鈴鹿市石薬師町	中勢防災拠点自家発電施設建設	地域振興部	230
11	金森遺跡	亀山市三寺町	県営ほ場整備	農林水産商工部・県教委※	600
12	中鳶遺跡（第２次）	津市大里窪田町	三宅一身田停車場線県単道路改良	県土整備部	400
13	弐ノ坪遺跡(第２次)D･E･F･G 地区	津市野田	県営ほ場整備	農林水産商工部・県教委※	401

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
14	替田遺跡(第５次)H･I 地区	津市南河路	県営ほ場整備	農林水産商工部・県教委※	517
15	替田遺跡（第５次）J 地区	津市南河路	国道 163 号バイパス整備	県土整備部	935
16	堀田遺跡（第６次）	一志郡嬉野町	(主)松阪一志線緊急地方道路整備	県土整備部	3,000
17	小谷Ａ遺跡	一志郡嬉野町	(主)松阪一志線緊急地方道路整備	県土整備部	600
18	筋違遺跡	一志郡嬉野町	一般国道 23 号中勢道路	国土交通省	8,310
19	中林・中道遺跡	一志郡三雲町	一般国道 23 号中勢道路	国土交通省	1,040
20	小津遺跡	一志郡三雲町	一般国道 23 号中勢道路	国土交通省	280
21	田面遺跡	一志郡三雲町	広域農道整備	農林水産商工部	1,250
22	川島遺跡（第２次）	松阪市川島町	県営ほ場整備 東黒部早馬瀬線道路整備	農林水産商工部・県教委※ 県土整備部	4,100
23	東久保北浦遺跡	松阪市東久保町	県営ほ場整備	農林水産商工部・県教委※	
24	魚見下起遺跡	松阪市魚見町	県営ほ場整備 東黒部早馬瀬線道路整備	農林水産商工部・県教委※ 県土整備部	
25	琵琶垣内遺跡（第３次）	松阪市豊原町・山下町	県営ほ場整備	農林水産商工部・県教委※	1,570
26	山添遺跡（第４次）	松阪市安楽町	県営ほ場整備	農林水産商工部・県教委※	560
27	野田塚・野田遺跡	多気郡明和町	国営宮川用水第二期土地改良	農林水産省	190
28	発シＡ遺跡（第２次）	多気郡明和町	国営宮川用水第二期土地改良	農林水産省	150
29	神田遺跡	多気郡勢和村	中山間地域総合整備	農林水産商工部・県教委※	450
30	屋瀬Ｂ遺跡	多気郡勢和村	中山間地域総合整備	農林水産商工部・県教委※	35
31	粟生城跡	多気郡大台町	近畿自動車道尾鷲勢和線	日本道路公団	1,600
32	東前遺跡	多気郡大台町	近畿自動車道尾鷲勢和線	日本道路公団	700
33	高ノ御前遺跡（第２次）	伊勢市有滝町	(主)伊勢松阪線(有滝 BP)地方特定整備	県土整備部	2,300
34	野添遺跡	阿山郡伊賀町	県営ほ場整備	農林水産商工部・県教委※	1,100
35	上野城下町（第２次）	上野市丸之内～恵美須町	伊賀上野橋新都市線緊急地方道路整備	県土整備部	550
36	真名井神社裏包含地	志摩郡大王町	ふるさと農道整備	農林水産商工部	370

〔斎宮歴史博物館担当の本調査〕

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
37	斎宮跡第 132　次調査	多気郡明和町	学術調査	三重県※	750
38	斎宮跡第 133　次調査	多気郡明和町	学術調査	三重県※	910
39	斎宮跡第 134- 1 次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	三重県･明和町※	3.4
40	斎宮跡第 134- 2 次調査	多気郡明和町	水道管架設	明和町	0.5
41	斎宮跡第 134- 3 次調査	多気郡明和町	水道管架設	明和町	1.2
42	斎宮跡第 134- 4 次調査	多気郡明和町	水道管架設	明和町	2.0
43	斎宮跡第 134- 5 次調査	多気郡明和町	水道管本管改修	明和町	1.0
44	斎宮跡第 134- 6 次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	三重県･明和町※	2.2
45	斎宮跡第 134- 7 次調査	多気郡明和町	水道管本管改修	明和町	5.8
46	斎宮跡第 134- 8 次調査	多気郡明和町	水道管本管改修	明和町	10.8
47	斎宮跡第 134- 9 次調査	多気郡明和町	現状変更に伴う事前調査	三重県･明和町※	390
48	斎宮跡第 134-10 次調査	多気郡明和町	側溝改修	明和町	9.0
49	斎宮跡第 134-11 次調査	多気郡明和町	住宅新築	三重県･明和町※	4
50	斎宮跡第 134-12 次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	三重県･明和町※	3.4
51	斎宮跡第 134-13 次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	三重県･明和町※	2.7
52	斎宮跡第 134-14 次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	三重県･明和町※	3.5
53	斎宮跡第 135　次調査	多気郡明和町	史跡整備	三重県※	1,250

〔市町村担当の本調査〕

№.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
54	桑名城下町遺跡	桑名市新屋敷	個人住宅	桑名市教育委員会	20.40
55	桑名城下町遺跡	桑名市元赤須賀	個人住宅	桑名市教育委員会	3.42
56	桑名城跡	桑名市吉之丸	土俵改修	桑名市教育委員会	4.00
57	桜戸遺跡	桑名市増田	個人住宅兼店舗	桑名市教育委員会	128.96
58	桑名城下町遺跡	桑名市新屋敷	個人住宅	桑名市教育委員会	3.36
59	出口遺跡	桑名市増田	個人住宅	桑名市教育委員会	10.5
60	桑名城下町遺跡	桑名市住吉町～相生町	公園整備	桑名市教育委員会	87.00
61	宇賀遺跡	桑名市蓮花寺	資材置場	桑名市教育委員会	99.80
62	西方台地Ｂ遺跡	桑名市東方	個人住宅	桑名市教育委員会	41.40
63	桑名城下町遺跡	桑名市南魚町	個人住宅	桑名市教育委員会	24.61
64	桑名城下町遺跡	桑名市外堀	個人住宅	桑名市教育委員会	3.91
65	城ノ広遺跡	三重郡朝日町	土地区画整理	事業者	7,000
66	西ヶ谷遺跡（第４次）	四日市市東坂部町	部田川左岸２号線改良工事	四日市市	70
67	山奥遺跡（第９次）	四日市市羽津	一般国道１号北勢バイパス	国土交通省	600
68	久留倍遺跡（第２次）	四日市市大矢知町	一般国道１号北勢バイパス	国土交通省	2,300
69	白鳥中学校遺跡	鈴鹿市加佐登	学校施設建築	原因者	460
70	天王遺跡（第７次）	鈴鹿市岸岡町	病院施設建築	原因者	171.5
71	伊勢国分寺跡(第 25 次)	鈴鹿市国分町	史跡整備	鈴鹿市※	1,100
72	国分西遺跡 (伊勢国分寺跡第 26 次)	鈴鹿市国分町	個人住宅	鈴鹿市※	16
73	長者屋敷遺跡（第 13 次）	鈴鹿市広瀬町	学術調査	鈴鹿市※	660
74	中瀬古南遺跡	鈴鹿市中瀬古町	個人住宅兼事務所	鈴鹿市※	88
75	天王遺跡（第８次）	鈴鹿市岸岡町	病院施設建築	原因者	1,287
76	長者屋敷遺跡（第 14 次）	鈴鹿市広瀬町	土壌改良	鈴鹿市※	246
77	国分西遺跡 (伊勢国分寺跡第 27 次)	鈴鹿市国分町	個人住宅	鈴鹿市※	98
78	御弊立	亀山市川崎町	分譲住宅造成	事業者	1,900
79	網中遺跡	亀山市辺法寺町	近畿自動車道名古屋神戸線	事業者	3,016
80	亀山城跡（第９次）	亀山市東丸町	駅前高塚線他一線整備	三重県	382
81	亀山城下町	亀山市江ヶ室町	東町野登線整備	三重県	550
82	谷古墳	安芸郡安濃町	資材置場建設	事業者	440
83	山の下Ｂ３号墳	安芸郡安濃町	工業団地造成	事業者	182
84	片野遺跡第８次調査	一志郡一志町	共同住宅建設	事業者	170
85	井ノ尻・浦ノ戸遺跡	一志郡一志町	学校造成	一志町	2,600
86	松本権現前遺跡（第２次）	一志郡三雲町	冷蔵倉庫増設	事業者	200
87	多気北畠氏遺跡〔六田館跡〕 第１次調査	一志郡美杉村	学術調査	美杉村※	350
88	倉元遺跡	一志郡美杉村	ほ場整備	美杉村	430
89	国史跡上野城跡（第６次）	上野市丸之内	保存整備のための学術調査	上野市	615
90	上野城跡（第４次）	上野市丸之内	一般国道 25 号特定安全施設等整備	三重県	580
91	西明寺遺跡（第７次）	上野市西明寺	建物等造成工事	事業者	300
92	国史跡上野城跡（第７次）	上野市丸之内	公園便所移転改築	上野市	40
93	鼻倉氏城跡	阿山郡大山田村	携帯電話無線基地局設置	事業者	40
94	川上中縄手遺跡 (Ａ地区、Ｂ地区(第１次)、 Ｃ地区)	名賀郡青山町	川上ダム	事業者	Ａ：240 Ｂ：650 Ｃ:1,045
95	老川岡部地蔵・同方形土壇・同積石	名賀郡青山町	川上ダム	事業者	113
96	宝塚１号墳	松阪市宝塚町・光町	史跡整備	国・県・市※	40
97	宝塚２号墳	松阪市宝塚町	史跡整備	国・県・市※	680
98	湯後遺跡	多気郡宮川村	防火水槽設置工事	宮川村	38.5
99	田丸城址	度会郡玉城町	田丸城址遊歩道整備	玉城町	120
100	長尾遺跡（第１次・第２次）	志摩郡阿児町	道路改良工事	阿児町	266
101	史跡赤木城跡及び田平子峠刑場跡	南牟婁郡紀和町	石垣等の崩落保存修理	紀和町※	1,000

1　宮山遺跡
2　広山Ｂ遺跡
3　伊坂遺跡
4　茂福城跡・里ノ内遺跡
5　小牧北遺跡
6　間ノ田遺跡
7　辻子遺跡
8　八重垣神社遺跡
9　国分東遺跡
10　石薬師東古墳群・石薬師東遺跡
11　金森遺跡
12　中蔦遺跡
13　弐ノ坪遺跡
14・15　替田遺跡
16　堀田遺跡
17　小谷Ａ遺跡
18　筋違遺跡
19　中林・中道遺跡
20　小津遺跡
21　田面遺跡
22　川島遺跡
23　東久保北浦遺跡
24　魚見下起遺跡
25　琵琶垣内遺跡
26　山添遺跡
27　野田塚・野田遺跡
28　発シＡ遺跡
29　神田遺跡
30　屋瀬Ｂ遺跡
31　粟生城跡
32　東前遺跡
33　高ノ御前遺跡
34　野添遺跡
35　上野城下町
36　真名井神社裏包含地
37～53　斎宮跡
54・55・58・60・63・64
桑名城下町遺跡
56　桑名城跡
57　桜戸遺跡
59　出口遺跡
61　宇賀遺跡
62　西方台地Ｂ遺跡
65　城ノ広遺跡
66　西ヶ谷遺跡
67　山奥遺跡
68　久留倍遺跡
69　白鳥中学校遺跡
70・75　天王遺跡
71　伊勢国分寺跡
72・77　国分西遺跡
73・76　長者屋敷遺跡
74　中瀬古南遺跡
78　御弊立
79　網中遺跡
80　亀山城跡
81　亀山城下町
82　谷古墳
83　山の下Ｂ３号墳
84　片野遺跡
85　井ノ尻・浦ノ戸遺跡
86　松本権現前遺跡
87　多気北畠氏遺跡［六田館跡］
88　倉元遺跡
89・92　国史跡上野城跡
90　上野城跡
91　西明寺遺跡
93　鼻倉氏城跡
94　川上中縄手遺跡
95　老川岡部地蔵・同方形土壇
同積石
96　宝塚１号墳
97　宝塚２号墳
98　湯後遺跡
99　田丸城跡
100　長尾遺跡
101　史跡赤木城跡及び
田平子峠刑場跡

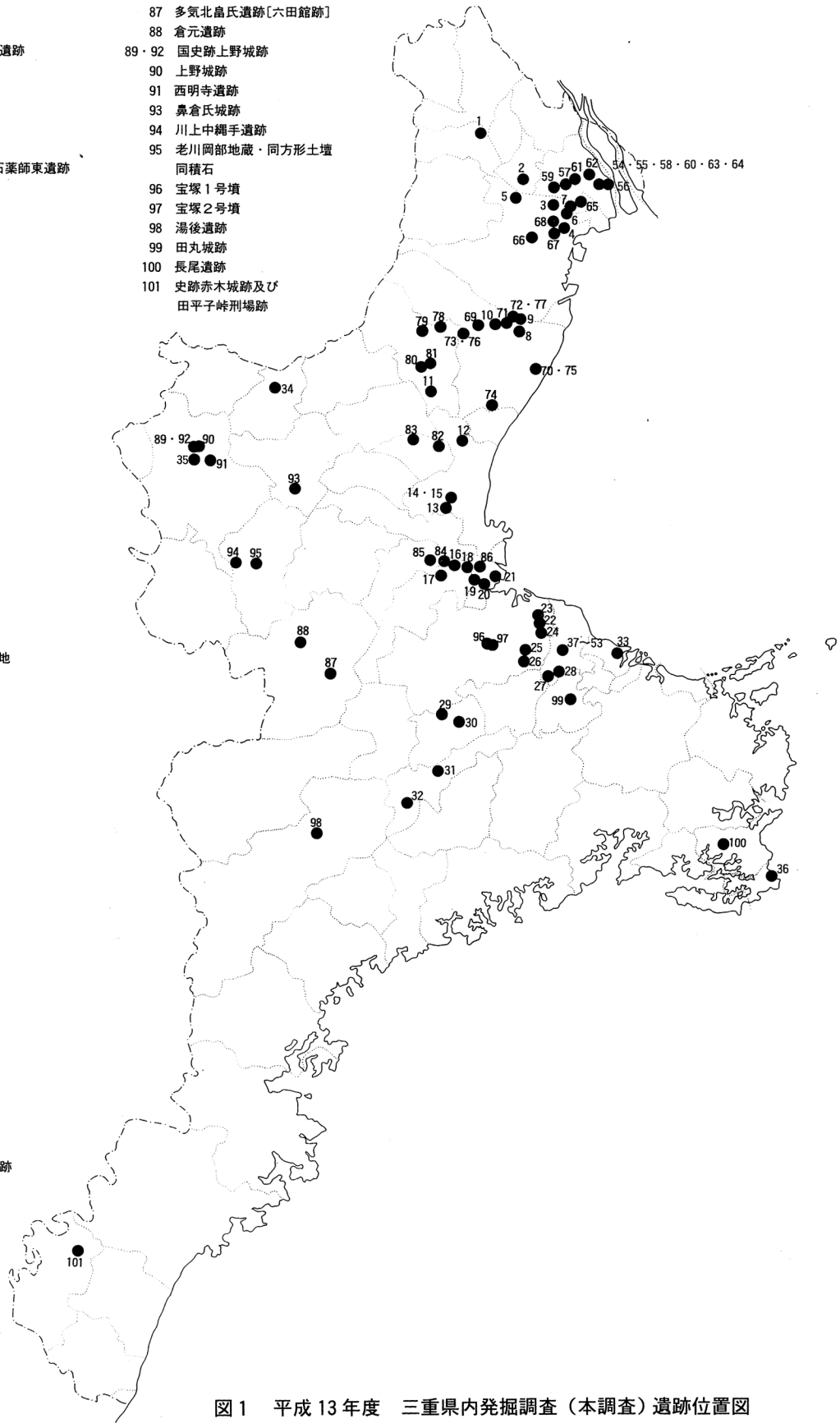

図１　平成13年度　三重県内発掘調査（本調査）遺跡位置図

2　発掘調査の概要

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分　本調査　　※は、国・県費補助事業

No.	1	遺跡名	宮山遺跡（第２次）	台帳番号	３２３－１
所 在 地		員弁郡大安町片樋字宮山		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因		一般国道475号東海環状自動車道建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	山口聡嗣　　田中美穂
調査期間		Ｈ．１３．４．２３　～　Ｈ．１３．７．１７		調査面積	８６０㎡
調査概要		第1次調査の調査区端において検出された前方後方型周溝墓の可能性のある遺構の検証が求められていたが、今回の調査区が台地縁辺部に位置し、土取り等による崖崩落のため、それを前方後方型周溝墓とする確実な遺構の検出は見られなかった。調査区南端において一辺中央部に陸橋を持つ方形周溝墓を1基検出し、周溝から弥生土器の他、駿河・遠江にその系譜がたどれる弥生時代後期から古墳時代初頭の遺物が出土している。その他、土坑・溝を検出し、弥生土器、土師器、須恵器等が出土した。			
主な遺構		弥生時代～古墳時代　：　方形周溝墓1基、土坑3基、溝1条			
主な遺物		弥生土器、土師器、須恵器			
関連文献		竹内英昭　『宮山遺跡』　三重県埋蔵文化財センター　1999 『一般国道475号東海環状自動車道　埋蔵文化財発掘調査概報Ⅷ』三重県埋蔵文化財センター2002			
No.	2	遺跡名	広山Ｂ遺跡（第２次）	台帳番号	３２４－５５
所 在 地		員弁郡東員町長深字広山		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因		一般国道475号東海環状自動車道建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	山口聡嗣　　田中美穂
調査期間		Ｈ．１３．９．１２　～　Ｈ．１３．９．２８		調査面積	５００㎡
調査概要		今回の調査は、第1次調査の北側（北地区）と南側（南地区）に分けて行い、掘立柱建物3棟と柱列2条を検出した。そのうち、掘立柱建物1棟と柱列1条は第1次調査の調査区端で検出されたものであり、今回の調査でその規模が確定した。南地区の掘立柱建物1棟（飛鳥～奈良時代）の他は、ほぼ同じ方向性を持っており、出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。今回の調査区東端において掘立柱建物が想定されるものを含む良好なピットを多数検出したことから、来年度以降にも調査が必要である。			
主な遺構		飛鳥時代～平安時代　：　掘立柱建物3棟・柱列2条			
主な遺物		土師器・須恵器・灰釉陶器			
関連文献		『一般国道475号東海環状自動車道　埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ、Ⅷ』　三重県埋蔵文化財センター　2001、2002			
No.	3	遺跡名	伊坂遺跡	台帳番号	２０２－４２９
所 在 地		四日市市伊坂町字重地・鐙谷		事業主体	日本道路公団中部支社
調査原因		近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	日本道路公団中部支社
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	角正芳浩　松田珠美
調査期間		Ｈ１３．１１．１９～Ｈ１４．１．９		調査面積	７９４㎡
調査概要		丘陵斜面のＢ地区と平坦面のＤ地区を調査したが、遺構は全く確認できなかった。谷底部でわずかに遺物が出土したが、上位からの流れ込みと考えられる。			
主な遺構		なし			
主な遺物		土師器・須恵器			
関連文献		『近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）愛知県境～四日市JCT埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』三重県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ2000.3 『近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）愛知県境～四日市JCT埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ』三重県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ2001.3			
No.	4	遺跡名	茂福城跡・里ノ内遺跡	台帳番号	２０２－２５３　・　２０２－５６４
所 在 地		四日市市茂福・羽津町		事業主体	まちづくり推進課
調査原因		平成13年度富田山城線国補街路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	萩原義彦　酒井巳紀子
調査期間		Ｈ１３．４．１０～Ｈ１３．４．１１		調査面積	１６５㎡
調査概要		調査区は、橋脚部分・歩道橋部分と限定されている。しかしながら、調査区の一部において平面形が「Ｌ」字形である溝を確認することができた。また、平成10年度において２重の溝を確認している。そのため、単郭でなく幾つかの曲輪を有していたとみられる。			
主な遺構		溝			
主な遺物					
関連文献					

No.	5	遺跡名	小牧北遺跡	台帳番号	２０２－２３５
所 在 地		四日市市小牧町野畑・東山など		事業主体	道路整備課
調査原因		国道３６５号員弁バイパス国補道路改築事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	小濱　学　　金子智子
調査期間		Ｈ１３．９．３～Ｈ１４．１．２１		調査面積	５，９００㎡
調査概要		遺構の平面形が長方形であったり、主柱穴がないものがみられたことや、フイゴの羽口や鉄滓の出土や、遺構のほとんどで埋土に炭化物、灰、焼土が混入していた。これらから、竪穴住居については、ほとんどが鉄製品などの加工や修理をしていた鍛冶工房跡ではないかと思われる。集落の中で鉄製品などの修理を行っていたものと考えられる。おそらくは、遺跡の西側にも遺跡が広がるものと考えられ、工房跡が多数あったことが想定できよう。			
主な遺構		縄文時代晩期土器棺１基、弥生時代後期方形周溝墓３基・壺棺墓２基、飛鳥時代竪穴住居２８棟・掘立柱建物２４棟、平安時代末期土師器焼成坑４基など。			
主な遺物		縄文土器、弥生土器（壺など）、土師器（皿、甕、甑、高杯など）、須恵器（杯蓋、杯身、甕、高杯など）、フイゴの羽口、鉄滓、水晶の破片など。			
関連文献		『四日市市史』第３巻資料編考古Ⅱ（四日市市、1993年）			
No.	6	遺跡名	間ノ田遺跡	台帳番号	２０２－６８
所 在 地		四日市市広永町		事業主体	道路整備課
調査原因		（主）四日市朝日線緊急地方道路整備（Ｂ改良）工事		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	新名強
調査期間		Ｈ１３．１２．３～Ｈ１４．２．２８		調査面積	２，６５０㎡
調査概要		遺構面を４面確認した。１～３面は中世の、４面は弥生時代の遺構面にあたる。弥生時代では、方形周溝墓を２基確認した。ＳＸ６は一辺10mを計り、北隅が開口する。周溝からは壺や甕の底部などが出土している。中世の遺構では掘立柱建物・井戸・土坑などを確認した。掘立柱建物は３間×２間のものと、７間以上×５間以上の総柱建物の２棟がある。井戸は、方形で井戸枠を有するものや円形で底部に曲物を据えるもの、素掘りのものがあり、井戸状土坑も含めて、すべて調査区中央部に密集していることが注目される。調査地の東西端は遺構密度も薄く、試掘調査の結果から調査区両脇には流路が存在することから、遺構は南北に展開するものと考えられる。			
主な遺構		方形周溝墓・掘立柱建物・井戸・溝・土坑・ピット・墳砂痕跡			
主な遺物		弥生土器・青磁・灰釉陶器・山茶椀・土師器・フイゴ羽口など			
関連文献					
No.	7	遺跡名	辻子遺跡（第４次）	台帳番号	３４３－１９
所 在 地		三重郡朝日町埋縄字辻子、四日市市広永町		事業主体	道路整備課
調査原因		（主）四日市朝日線緊急地方道路整備（Ｂ改良）工事		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	新名強
調査期間		Ｈ１３．１２．３～Ｈ１４．２．２８		調査面積	１００㎡
調査概要		遺構面は２面確認した。上層面ではピットを数基、下層面では落ち込みを確認したのみである。遺物は主に上層の包含層から山茶椀や土師器など中世の遺物が出土している。			
主な遺構		ピット			
主な遺物		山茶椀、土師器			
関連文献		『近畿自動車道　名古屋神戸線（第二名神）　愛知県境～四日市JTC　埋蔵文化財年報Ⅱ・Ⅲ』三重県埋蔵文化財センター、1999・2000			
No.	8	遺跡名	八重垣神社遺跡（第２次）	台帳番号	２０７－未登録
所 在 地		鈴鹿市十宮町字宮ノ前		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		県営ほ場整備事業（河曲中部地区）・かんがい排水整備事業（鈴鹿川沿岸地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	河北秀実　豊田祥三　伊藤直孝
調査期間		Ｈ１３．１１．８　～　Ｈ１４．２．２８		調査面積	１，１５０㎡
調査概要		調査区は鈴鹿川右岸の自然堤防上に位置し、昨年度の調査区の北側にあたる。 弥生前期～古墳時代前期の旧河道、古墳時代前期の竪穴住居・溝・土坑を確認した。竪穴住居は旧河道からは弥生土器・古式土師器・木製品が出土した。			
主な遺構		旧河道（弥生前期～古墳前期）竪穴住居９棟以上・溝・土坑（古墳前期）			
主な遺物		弥生土器・土師器（台付甕・高杯・壺など）・木製品（鍬など）			
関連文献					

№.	9	遺跡名	国分東遺跡（第３次）	台帳番号	２０７－５３９
所 在 地		鈴鹿市国分町字東浦		事業主体	道路整備課
調査原因		平成13年度四日市鈴鹿環状線道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	萩原義彦　松見直茂
調査期間		Ｈ１３．１２．３～Ｈ１４．２．８		調査面積	１，０００㎡
調査概要		調査地は、鈴鹿市を東流する鈴鹿川の北側、標高41mの台地上である。かつて平成６年度において調査されておりその続きである。調査では、奈良時代の竪穴住居、平安時代の掘立柱建物、中世の掘立柱建物・溝・土坑等が検出された。			
主な遺構		奈良時代：竪穴住居・土坑、平安時代：掘立柱建物、鎌倉～室町時代：掘立柱建物・土坑・溝			
主な遺物		須恵器杯蓋・土師器甕・灰釉陶器・山茶椀・土師器鍋			
関連文献					
№.	10	遺跡名	石薬師東古墳群・石薬師東遺跡（第14次）	台帳番号	２０７－７２７
所 在 地		鈴鹿市石薬師町字寺東		事業主体	消防防災課
調査原因		中勢防災拠点自家発電機施設建設事業		費用負担	地域振興部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	水谷豊
調査期間		Ｈ１３．７．９～Ｈ１３．７．１２		調査面積	２３０㎡
調査概要		今回の調査は消防学校の西端に位置する。近代以降と思われる建物の基礎を確認したのみで、古墳に伴うような遺物や遺構は確認できなかった。			
主な遺構		近代以降の建物基礎			
主な遺物		なし			
関連文献		『石薬師東古墳群・石薬師東遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター、2000年　など			
№.	11	遺跡名	金森遺跡	台帳番号	２０１－１８４
所 在 地		亀山市三寺町		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		県営ほ場整備事業（三寺地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	奥野　実　　酒井巳紀子
調査期間		Ｈ１４．１．１０～Ｈ．１４．３．１４		調査面積	６００㎡
調査概要		中の川右岸の河岸段丘上に立地する。縄文時代後期の底部施設を持つ陥し穴や土坑を確認した。また、中世の掘立柱建物を多数と素堀りの井戸を確認した。			
主な遺構		縄文時代：陥し穴４基・土坑、中世：掘立柱建物・溝１条・井戸１基			
主な遺物		縄文土器・土師器・山茶椀			
関連文献					
№.	12	遺跡名	中鳶遺跡（第２次）	台帳番号	２０１－４７７
所 在 地		三重県津市大里窪田町		事業主体	道路整備課
調査原因		三宅一身田停車場線県単道路改良事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター　調査第一課		担 当 者	河北秀実　萩原義彦　黒田聖也　伊藤直孝 新庄孝敏　山崎博史　松見直茂
調査期間		Ｈ１３．５．１１～Ｈ１３．６．５		調査面積	４００㎡
調査概要		中鳶遺跡は、大里小学校を中心とする東西250m×南北100mの段丘上の遺跡で、今回の調査区は、周知の遺跡範囲のさらに西側の小さな谷が入り込んだ場所である。今回の発掘調査により流路を検出したが、この流路が中鳶遺跡の西端と考えられる。また今回の調査では、縄文時代後期から中世までの遺物を確認することができ、長期にわたって営まれた遺跡であることがわかった。			
主な遺構		縄文時代：土坑、中世：流路			
主な遺物		縄文土器、古墳時代：土師器、須恵器、中世：土師器、山茶椀、陶器、磁器			
関連文献		萱室康光　『中鳶遺跡発掘調査報告』　津市教育委員会　1977			

No.	13	遺跡名	弐ノ坪遺跡（第2次）　D・E・F・G地区	台帳番号	２０１－７６０
所 在 地		三重県津市野田地内		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		県営ほ場整備事業		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター　調査第一課		担 当 者	大川　操　　黒田聖也
調査期間		Ｈ１３．９．１３～Ｈ１３．１０．２９		調査面積	４０１㎡
調査概要		弐ノ坪遺跡1次調査A地区に隣接するD地区で、中世の土坑・溝が、またC地区に隣接するE地区でSD1(概報)とされた溝の西延長が確認されたほか、遺物を伴う遺構は検出されなかった。1次調査のB地区以南は極端に遺構密度が減少するものと考えられる。			
主な遺構		中世：溝・土坑			
主な遺物		土師器皿・鍋片			
関連文献		「一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅸ」三重県埋蔵文化財センター１９９７			
No.	14	遺跡名	替田遺跡（第5次）　H・I地区	台帳番号	201-759
所 在 地		三重県津市南河路地内		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		県営ほ場整備事業		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター　調査第一課		担 当 者	大川　操　　黒田聖也
調査期間		H地区：Ｈ１３．１０．１２～Ｈ１３．１１．１４ Ｉ 地区：Ｈ１３．１１．２８～Ｈ１４．２．１５		調査面積	H地区１７３㎡　　I地区３４４㎡
調査概要		替田と八反田の小字境界となっている現道で行ったのが替田遺跡H地区である。弐ノ坪遺跡1次調査で明らかとなった弥生時代中期の溝の延長が、H地区東端で北流する方向で確認できた。この溝以西は三泗川に向かって緩やかに地形が下がって行くため、遺構密度が減少する。I地区はJ地区の東方、中勢道路建設予定地を挟んで東側に位置する。中世の掘立柱建物跡、流路のほか、径50cmの曲物を井戸枠とした円形井戸1基が検出できた。I地区も北半はかなりの密度で柱穴等が検出できるが南半は遺構密度が薄い。			
主な遺構		中世：掘立柱建物、井戸、流路			
主な遺物		土師器皿・甕・鍋、須恵器鉢、山茶椀・山皿			
関連文献		『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅸ』三重県埋蔵文化財センター１９９７			
No.	15	遺跡名	替田遺跡（第5次）　J地区	台帳番号	201-759
所 在 地		三重県津市南河路地内		事業主体	道路整備課
調査原因		国道163号バイパス整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター　調査第一課		担 当 者	大川　操　　黒田聖也
調査期間		Ｈ１３．１０．３０～Ｈ１４．２．８		調査面積	９３５㎡
調査概要		長谷山東方を流れる安濃川、岩田川、三泗川に挟まれた微高地上に立地する。替田遺跡西部を平成11年度に4次調査として行った所の東側隣接地である。古墳時代前期の流路と土坑、平安時代前期に祭祀を行った上で埋め戻しを行ったと思われる立板組の方形井戸枠をもつ井戸1基、また中世の流路と流路埋没後に建てた掘立柱建物跡を多数検出した。１～2次で確認された弥生時代の集落の痕跡は当地には及んでいないことが判明した。			
主な遺構		古墳時代前期：土坑2基、溝、流路、平安時代前期：方形立板組み井戸1基、中世：掘立柱建物、流路			
主な遺物		弥生土器甕、須恵器杯蓋、土師器小型丸底壷、平底壷、台付甕、横櫛			
関連文献		『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅸ』三重県埋蔵文化財センター１９９７			
No.	16	遺跡名	堀田遺跡（第6次）	台帳番号	４０５－２２４
所 在 地		一志郡嬉野町宮古字築山		事業主体	道路整備課
調査原因		（主）松阪一志線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	水谷豊　酒井巳紀子　伊藤直孝　新庄孝敏
調査期間		Ｈ１３．８．２７～Ｈ１４．１．１８		調査面積	３，０００㎡
調査概要		天花寺丘陵北麓の水田に立地する。過去の調査で確認されている自然流路は、調査区内で蛇行し、東側に曲がることが確認された。古墳前期～奈良時代の土器や木製品が多量に出土している。遺物は少ないが、弥生時代と思われる自然流路も確認した。自然流路東側の微高地では飛鳥・奈良時代の井戸、土坑、ピットなどが検出された。			
主な遺構		弥生時代：自然流路　古墳前期～奈良時代：流路　飛鳥・奈良：井戸、土坑、溝			
主な遺物		古墳時代前期～奈良時代、土師器・須恵器・木製品（下駄、紡績具、容器など）			
関連文献		『堀田遺跡（第３次）発掘調査概報』三重県埋蔵文化財センター　１９９６年			

No.	17	遺跡名	小谷Ａ遺跡	台帳番号	４０５－９１
所 在 地		一志郡嬉野町天花寺字小谷		事業主体	道路整備課
調査原因		（主）松阪一志線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	水谷豊　酒井巳紀子　伊藤直孝
調査期間		Ｈ１３．８．２７～Ｈ１４．１．１８		調査面積	６００㎡
調査概要		天花寺丘陵北裾に立地する。名松線建設時に削平を受けており、明確な遺構は確認できなかった。流路と思われる砂層からサヌカイト片や縄文土器片、弥生土器片が出土した。			
主な遺構		流路			
主な遺物		サヌカイト片、縄文土器、弥生土器			
関連文献					
No.	18	遺跡名	筋違遺跡	台帳番号	４０５－２８５
所 在 地		一志郡嬉野町新屋庄字筋違		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因		平成１３年度一般国道23号中勢道路建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	川合圭子　中川　明　東　敬義 川崎志乃　瀬野弥知世
調査期間		Ｈ１３．４．２５～Ｈ１４．１．３１		調査面積	８，３１０㎡
調査概要		（13工区）県道北側の調査区上層では条里に沿う形で奈良時代の掘立柱建物を３棟と刳り貫き井戸を検出。下層では、大溝の北側で水田跡と畠の畝立て痕跡を確認した。検出面からは遠賀川式土器や馬見塚式土器が認められ、弥生時代前期の遺構であることが裏付けられた。（14工区）南側の調査区では耕作土直下で砂層が現れ、この面で中世の東西溝及び流路を検出した。			
主な遺構		大溝、畠、水田、方形周溝墓、土坑、竪穴住居、掘立柱建物、溝、流路			
主な遺物		弥生土器壺、甕、古式土師器、土師器杯、甕、山茶椀、刳り貫き井戸			
関連文献		『一般国道２３号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報XIV』三重県埋蔵文化財センター　２００２．５			
No.	19	遺跡名	中林・中道遺跡	台帳番号	４０７－１４
所 在 地		一志郡三雲町中林・中道		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因		平成１３年度一般国道23号中勢道路建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	東　敬義　瀬野弥知世
調査期間		Ｈ１３．１０．１１～Ｈ１４．１．３０		調査面積	１，０４０㎡
調査概要		調査区西側の大溝から中世の生活用具が多量出土。			
主な遺構		土坑、井戸、溝、ﾋﾟｯﾄ			
主な遺物		土師器鍋・皿、山茶椀、常滑焼、呪符木簡			
関連文献		『一般国道２３号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報XIV』三重県埋蔵文化財センター　２００２．５			
No.	20	遺跡名	小津遺跡	台帳番号	４０７－２１
所 在 地		一志郡三雲町小津		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因		平成１３年度一般国道23号中勢道路建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	東　敬義　瀬野弥知世
調査期間		Ｈ１３．９．１９～Ｈ１３．１０．２９		調査面積	２８０㎡
調査概要		トレンチ掘り３ヶ所の調査。中世の溝、土坑を確認。			
主な遺構		土坑、溝、ﾋﾟｯﾄ			
主な遺物		山茶椀、土師器皿			
関連文献		『一般国道２３号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報XIV』三重県埋蔵文化財センター　２００２．５			

No.	21	遺跡名	田面遺跡	台帳番号	４０７－未登録
所 在 地		一志郡三雲町曽原		事業主体	農山漁村振興課
調査原因		平成１３年度広域農道整備事業（中勢３期地区　三雲Ｉ区）		費用負担	農林水産商工部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	萩原義彦　山崎博史
調査期間		Ｈ１３．８．２０～Ｈ１３．１０．１９		調査面積	１，２５０㎡
調査概要		調査対象地は、東側に曽原城跡・曽原遺跡、北側に松本権現前遺跡、南から西側に中林・中道遺跡によって囲まれた地域である。調査によって柵・溝・井戸・土坑を検出することができた。ほとんどの遺構は、中世とみられる。			
主な遺構		柵・溝・井戸・土坑			
主な遺物		山茶椀・土師器鍋			
関連文献					
No.	22	遺跡名	川島遺跡（第2次）	台帳番号	２０４－８３４
所 在 地		松阪市川島町門前・奥垣内・塩角・道場		事業主体	農業基盤整備課・道路整備課
調査原因		平成１３年度県営ほ場整備事業（機殿下地区） 平成１３年度東黒部早馬瀬線道路整備事業		費用負担	農林水産商工部 県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	柴山圭子　豊田祥三　山岡奈美恵　新庄孝敏
調査期間		Ｈ１３．７．２～Ｈ１４．３．４（東久保北浦遺跡,魚見下起遺跡を含む）		調査面積	４，１００㎡ （東久保北浦遺跡，魚見下起遺跡を含む）
調査概要		櫛田川下流域に広がる沖積低地上に立地する。中世の井戸や土坑、溝などを検出した。			
主な遺構		室町時代：井戸、土坑、溝など　　近世：溝、土坑			
主な遺物		土師器・陶器・瓦片など			
関連文献		『川島遺跡発掘調査報告』　三重県埋蔵文化財センター　2002年			
No.	23	遺跡名	東久保北浦遺跡	台帳番号	２０４－８３５
所 在 地		松阪市東久保町北浦		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		平成13年度県営ほ場整備事業（機殿下地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	柴山圭子　豊田祥三　新庄孝敏
調査期間		Ｈ１３．７．２～Ｈ１４．３．４（魚見下起遺跡,川島遺跡を含む）		調査面積	４，１００㎡ （魚見下起遺跡，川島遺跡を含む）
調査概要		櫛田川下流域に広がる沖積低地上に立地する。中世の土坑、溝などを検出した。			
主な遺構		中世：土坑、溝			
主な遺物		土師器			
関連文献					
No.	24	遺跡名	魚見下起遺跡	台帳番号	２０４－８３７
所 在 地		松阪市魚見町下起		事業主体	農業基盤整備課・道路整備課
調査原因		平成１３年度県営ほ場整備事業（機殿下地区） 平成１３年度東黒部早馬瀬線道路整備事業		費用負担	農林水産商工部・県教委※ 県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	柴山圭子　山岡奈美恵
調査期間		Ｈ１３．７．２～Ｈ１４．３．４（川島遺跡，東久保北浦遺跡を含む）		調査面積	４，１００㎡ （川島遺跡，東久保北浦遺跡を含む）
調査概要		櫛田川下流域に広がる沖積低地上に立地する。室町時代の土坑、溝などを検出した。			
主な遺構		室町時代：土坑、溝など			
主な遺物		土師器、山茶椀			
関連文献					

№.	25	遺跡名	琵琶垣内遺跡（第３次）	台帳番号	２０４－８２０
所 在 地		松阪市豊原町・山下町		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		平成１３年度県営ほ場整備事業（櫛田上地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	宮田勝功　山崎博史　小林俊之　山岡奈美恵
調査期間		Ｈ１３．１０．１５～Ｈ１４．２．２７		調査面積	1,５７０㎡
調査概要		A～F地区までの６地区を調査。各地区で溝・流路を確認した。この他、A地区は閑浄寺遺跡の隣接地で、閑浄寺遺跡と同様に奈良時代の竪穴住居・掘立柱建物を確認。C・E・F地区では中世後期の井戸・土坑が検出されている。			
主な遺構		竪穴住居、掘立柱建物、溝、流路、井戸、土坑など			
主な遺物		弥生土器、土師器、須恵器、陶器など			
関連文献		野原宏司『閑浄寺遺跡現地説明会資料』（三重県教育委員会、1987年）。 奥野実『琵琶垣内遺跡（第２次）発掘調査報告』（三重県埋蔵文化財センター、1999年）。			
№.	26	遺跡名	山添遺跡（第４次）	台帳番号	２０４－３５２
所 在 地		松阪市安楽町字南出		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		平成１３年度県営ほ場整備事業（櫛田上地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	宮田勝功　小林俊之　山岡奈美恵　小濱学 山崎博史
調査期間		Ｈ１３．８．２３～Ｈ１３．１０．２６ Ｈ１４．２．１４～Ｈ１４．３．８		調査面積	５６０㎡
調査概要		古墳・中世（上層）、縄文時代前期（下層）の遺構検出面を確認した。上層は、古墳時代中期の溝や、中世前期の土坑を確認した。下層については、近畿・東海地方でも稀な縄文時代前期の集落跡で、竪穴住居・土坑等の遺構を検出した。北白川下層式と諸磯式の土器が共伴するとともに石器類が大量に出土した。			
主な遺構		縄文：竪穴住居、土坑，　古墳：溝，　中世：土坑など			
主な遺物		縄文土器、石鏃、石匙、石皿、けつ状耳飾、垂飾、打製石斧、磨製石斧、堅果類、土師器、須恵器、陶器など			
関連文献		新田洋『山添遺跡発掘調査報告』（三重県教育委員会、1979年）。 坂倉一光「山添遺跡（第２次）」（『山添遺跡（第２次）・里中遺跡ほか』、三重県埋蔵文化財センター、1997年）。			
№.	27	遺跡名	野田塚・野田遺跡	台帳番号	４４２－未登録
所 在 地		多気郡明和町池村字野田		事業主体	農林水産省東海農政局
調査原因		国営宮川用水第二期土地改良事業		費用負担	農林水産省
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	小山憲一　五嶋史佳
調査期間		Ｈ１３．６．１９～Ｈ１３．９．５		調査面積	１９０㎡
調査概要		（野田塚）高さ２m弱、平面形態が一辺６m程度の不整方形を呈し、北裾と西裾で葺石、東裾で焼土坑を１基検出。築造当時は方形を意識し、葺石は四辺とも施されていたと考えられる。時期は近世で、性格は不明。（野田遺跡）野田塚の盛土を取り除いた下に平安時代後半期の溝状遺構が確認された。			
主な遺構		（野田塚）盛土・葺石・焼土坑、（野田遺跡）溝。			
主な遺物		（野田塚）土師器皿・陶器椀など、（野田遺跡）土師器皿・ロクロ土師器・須恵器鉢など。			
関連文献		『宮川用水第二期地区埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』三重県埋蔵文化財センター2002			
№	28	遺跡名	発シＡ遺跡（第２次）	台帳番号	４４２－２１３
所 在 地		多気郡明和町有爾中字発シ		事業主体	農林水産省東海農政局
調査原因		国営宮川用水第二期土地改良事業		費用負担	農林水産省
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	小山憲一
調査期間		Ｈ１３．１０．９～Ｈ１３．１１．２		調査面積	１５０㎡
調査概要		用水路の管理用道路に当たる南傾する緩斜面を調査。弥生末期～古墳時代初頭の焼失住居と思われる竪穴住居を検出。また、飛鳥～奈良時代の竪穴住居跡からは土師器の原料と思われる乳白色の粘土塊を確認。土師器生産の関連遺構と考えられる。			
主な遺構		竪穴住居３棟・掘立柱建物１棟・土坑５基・溝２条。			
主な遺物		弥生土器・古式土師器・土師器・須恵器			
関連文献		『宮川用水第二期地区埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』三重県埋蔵文化財センター2002			

No.	29	遺跡名	神田遺跡	台帳番号	４４４－３３
所 在 地		多気郡勢和村片野字神田		事業主体	農山漁村振興課
調査原因		県営中山間地域総合整備事業（多気中部地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	小濱　学 黒田　聖也 酒井巳紀子
調査期間		Ｈ１３．８．１～Ｈ．１３．８．１５		調査面積	４５０㎡
調査概要		櫛田川中流右岸の河岸段丘上に立地する。遺構から遺物の出土はないものの、中世と思われる溝３条と柱穴を多数確認した。			
主な遺構		中世：溝３条・柱穴			
主な遺物					
関連文献					
No.	30	遺跡名	屋瀬Ｂ遺跡	台帳番号	４４４－１０３
所 在 地		多気郡勢和村下出江		事業主体	農山漁村振興課
調査原因		県営中山間地域総合整備事業（多気中部地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	小濱　学 黒田　聖也 酒井巳紀子
調査期間		Ｈ１３．８．１３～Ｈ．１３．８．１６		調査面積	３５㎡
調査概要		櫛田川中流左岸の河岸段丘上に立地する。遺構から遺物の出土はないものの、中世と思われる柱穴を多数と調査区を東西に走る溝（昭和３０年頃まで使用されていた用水路）を確認した。			
主な遺構		柱穴			
主な遺物		天目茶碗片			
関連文献					
No.	31	遺跡名	粟生城跡	台帳番号	４４３－未登録
所 在 地		多気郡大台町粟生		事業主体	日本道路公団中部支社
調査原因		近畿自動車道尾鷲勢和線（紀勢～勢和間）建設事業		費用負担	日本道路公団中部支社
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	森川常厚
調査期間		Ｈ１３．６．１９～Ｈ１３．１１．２０		調査面積	１，６００㎡
調査概要		麓との高低差80mの丘陵尾根に造られ、眼下の盆地を一望できる。曲輪と堀で構成され、尾根の先端部の曲輪に岩盤を削り残したり、石を土止め状に積み上げたりして造られた土塁がある。出土遺物から城の存続時期は、15世紀前後、南北朝の騒乱直後あたりから応仁の乱以前である。			
主な遺構		焼土坑・土塁・土師器皿埋納遺構・掘切・石積状遺構			
主な遺物		土師器（鍋・皿・羽釜）・山茶椀・古瀬戸（天目茶椀・小天目・灰釉平椀・尊式花瓶・袴腰形香炉・片口鉢・卸皿）・甕・青磁小鉢・温石			
関連文献		『近畿自動車道尾鷲勢和線（紀勢～勢和間）埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』			
No.	32	遺跡名	東前遺跡	台帳番号	４４３－未登録
所 在 地		多気郡大台町菅合字川合		事業主体	日本道路公団中部支社
調査原因		近畿自動車道尾鷲勢和線（紀勢～勢和間）建設事業		費用負担	日本道路公団中部支社
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	森川常厚　五嶋史佳
調査期間		Ｈ１３．１２．１０～Ｈ１４．２．１４		調査面積	７００㎡
調査概要		室町時代の掘立柱建物３棟を検出。土壙墓と同時期の存在が推測される。土壙墓は、鎌倉～室町時代のものである。室町時代のものには、小石室を伴うものがあり、石室直下に接するように埋納されたと思われる土師器皿が出土している。			
主な遺構		掘立柱建物３棟・土壙墓１５基・溝３条			
主な遺物		土師器（鍋・皿・茶釜・羽釜）・陶器（山茶椀・天目茶椀・皿・片口鉢・甕）・青磁・鉄製品（刀子？）・銭貨			
関連文献		『近畿自動車道尾鷲勢和線（紀勢～勢和間）埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』			

No.	33	遺跡名	高ノ御前遺跡（第２次）	台帳番号	２０３－１１３
所 在 地		三重県伊勢市有滝町字高御前・茶臼塚		事業主体	道路整備課
調査原因		平成13年度（主）伊勢松阪線（有滝ＢＰ）地方特定整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター　調査第一課		担 当 者	奥野　実　松見直茂　原田恵理子
調査期間		Ｈ１３．８．１～Ｈ１３．１２．２５		調査面積	２，３００㎡
調査概要		外城田川左岸の砂堆上に立地する。平成８年度の調査区の北方で調査を行った。古墳時代後期の竪穴住居18棟などを確認した。また、出土した土器は土師器の割合が高く、その中でも甕が大部分を占めていた。これらの土器は遺跡内で消費するには出土量が多く、一つの特色を示している。			
主な遺構		古墳時代後期：竪穴住居18棟、溝８条　鎌倉時代：溝１条			
主な遺物		古墳時代後期：土師器甕・土師器杯・土師器高杯・須恵器杯蓋・須恵器杯身・須恵器甕　鎌倉時代：土師器皿・土師器鍋・山茶椀			
関連文献		日栄智子『高ノ御前遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター、１997年			
No.	34	遺跡名	野添遺跡	台帳番号	４８１－未登録
所 在 地		阿山郡伊賀町野村字野添		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		平成１３年度県営ほ場整備事業（倉部川沿岸地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	筒井正明　小林俊之　松見直茂
調査期間		Ｈ１３．１１．７～Ｈ１３．１２．２８		調査面積	１,１００㎡
調査概要		室町時代後半の掘立柱建物と井戸、それを囲む区画溝を確認。さらに園池状の遺構もあり、中世の屋敷地の典型的な例である。調査区の東部では別のＬ字に曲がる溝が確認され、一帯には屋敷地が拡がる可能性が考えられる。調査地の南東５０ｍには数個の中世城館が集まる野村城館群があり、それとの関連も注目できる。			
主な遺構		掘立柱建物、区画溝、井戸など			
主な遺物		土師器皿、土師器鍋、信楽産陶器甕など			
関連文献		『城館調査の記録』（伊賀中世城館調査会、２０００年）			
No.	35	遺跡名	上野城下町（第２次）	台帳番号	２０６－１２３０
所 在 地		上野市丸之内～恵美須町		事業主体	まちづくり推進課
調査原因		伊賀上野橋新都市線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	新名強
調査期間		Ｈ１３．５．１６～Ｈ１３．１０．１５		調査面積	５５０㎡
調査概要		調査地は、国道422号線のいわゆる銀座通りの道路西側部分で,上野城下町の町人・武家屋敷地にあたる。Ｅ地区では武家屋敷を区画する溝や、柵もしくは塀跡と考えられるピット列を確認した。掘立柱建物はいずれの調査区からも確認することはできなかったが、調査地が東大手通り沿いであることを考えると、建物などの屋敷遺構は調査区西側に存在するものと考えられる。			
主な遺構		溝・土坑・ピットなど			
主な遺物		磁器・陶器・土師器など			
関連文献		福井健二『上野城郭図集』日本古城友の会・城郭文庫、1974			
No.	36	遺跡名	真名井神社裏包含地	台帳番号	５２２－４９
所 在 地		志摩郡大王町名田（名田地区）		事業主体	農山漁村振興課
調査原因		平成１３年度ふるさと農道整備事業		費用負担	農林水産商工部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担 当 者	萩原義彦
調査期間		Ｈ１３．１０．２４～Ｈ１３．１１．１９		調査面積	３７０㎡
調査概要		調査対象地は、東側に真名井神社、南側に名田漁港があり、北及び西側から広がる山林の尾根の延長線上である。調査によって掘立柱建物及び土坑を検出することができた。掘立柱建物は中世、土坑は近世とみられる。			
主な遺構		中世：掘立柱建物、近世：土坑			
主な遺物		古墳時代：ニ重口縁壺・Ｓ字状口縁台付甕・高杯、中世：山茶椀、近世：土師器焙烙			
関連文献					

県（斎宮歴史博物館）担当分　本調査　　※は国・県費補助事業

№.	37	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３２次計画調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町竹川字中垣内439-5、446-1		事業主体	三重県
調査原因		学術調査		費用負担	国※・県
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	駒田利治　水橋公恵
調査期間		Ｈ１３．５．１５～Ｈ１３．８．１４		調査面積	７５０㎡
調査概要		第30次調査の道路側溝？と柵の続きの可能性のある柱穴を確認し、調査区よりも西側に奈良時代斎宮に関連する建物や区画が存在する可能性が高くなってきた。 平安時代末から鎌倉時代の溝は、方形周溝墓の周溝と重複する部分が多く、弥生時代中期の方形周溝墓は中世頃まではある程度の高さを保っていたと思われる。			
主な遺構		方形周溝墓4基・柱穴・土坑・溝			
主な遺物		弥生土器・土師器・須恵器			
関連文献		斎宮歴史博物館『史跡斎宮跡第132次調査（中垣内地区）現地説明会資料』(2001年)			
№.	38	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３３次計画調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字西加座2,713・2,714・2,729		事業主体	三重県
調査原因		学術調査		費用負担	国※・県
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉　泉雄二
調査期間		Ｈ１３．８．１７～Ｈ１３．１２．１０		調査面積	９１０㎡
調査概要		東から３区画目・南から３区画目の方格地割南東隅部に相当。第３４次の東隣りである。奈良時代後半から平安時代後期の遺構・遺物を確認。当該方格地割の東区画溝とされていた溝（ＳＤ２８３６）は全周せず、当調査区内で途切れることが判明。存続期間も比較的短期間であったと考えられる。井戸からは、11世紀前半代の一括廃棄が確認され、当該時期の良好な基準資料となる。			
主な遺構		掘立柱建物２２棟（重複分含む）・区画溝２条・井戸１基・土坑１０基以上（以上、奈良後期～平安後期）、溝２条（江戸中期）			
主な遺物		石帯（丸鞆）１点、鎌１点、金箔装釦１個、須恵器・土師器ほか井戸一括廃棄土器（灰釉陶器・黒色土器・土師器ほか）			
関連文献		斎宮歴史博物館『史跡斎宮跡第133次発掘調査（西加座地区）現地説明会資料』(2001年)、斎宮歴史博物館『斎宮歴史博物館だより』No.45(2002年)			
№.	39	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－１次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字鈴池３３３－１、４４３８		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		浄化槽設置		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	泉　雄二
調査期間		Ｈ１３．９．１３		調査面積	３．４㎡
調査概要		鈴池西区画と鈴池東区画の区画間道路内にあたり、道路面で柱穴を確認したが、詳細な時期は不明である。			
主な遺構		ピット			
主な遺物		土師器片			
関連文献					
№.	40	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－２次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町竹川字南裏		事業主体	明和町
調査原因		水道管仮設		費用負担	明和町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．１．２３		調査面積	０．５㎡
調査概要		水道管仮設管のうち、本管に接続するために遺構面に達する部分の調査。溝の東肩部およびピットを検出した。			
主な遺構		溝・ピット			
主な遺物		土師器片			
関連文献					

№.	41	遺跡名	斎宮跡第134－3次調査	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町竹川字南裏		事業主体	明和町
調査原因		水道管仮設		費用負担	明和町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	水橋公恵
調査期間		Ｈ１３．１１．２７		調査面積	１．２㎡
調査概要		調査地は、史跡西部の旧参宮街道沿い、明和竹川簡易郵便局南側にある町道にあたる。調査は、約75cmの深さまで行った。調査区の南では検出面に達せず、中央付近は現況地面から50～70cmで地山を検出し、直径35ｃｍ・深さ18ｃｍのピット１個を確認した。北側は参宮街道から約20mまでは近世の攪乱を受けていた。			
主な遺構		ピット			
主な遺物		土師器			
関連文献					
№.	42	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－４次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字内山		事業主体	明和町
調査原因		水道管仮架設		費用負担	明和町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．１．９		調査面積	２．０㎡
調査概要		水道管仮設管のうち、本管に接続するために遺構面に達する部分の調査。平安時代末頃の南北方向の溝を確認。その上部には、近世の溝があり、さらにそれを埋め立てた近世～近代の道路整地土を確認した。			
主な遺構		溝・道路遺構（近世～近代）			
主な遺物		土師器片			
関連文献					
№.	43	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－５次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字牛葉		事業主体	明和町
調査原因		水道管本管改修		費用負担	明和町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．２．６		調査面積	１．０㎡
調査概要		水道管本管改修に際しての立会調査。遺構面まで掘削が及んだ範囲はわずかで、遺構面の破壊もない。一部に包含層が見られ、平安時代末～近世にかけての土器が見られた。			
主な遺構					
主な遺物		土師器片			
関連文献					
№.	44	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－６次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字鍛冶山2363-1		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		浄化槽設置		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．１．１６		調査面積	２．２㎡
調査概要		浄化槽開削範囲内に対する立会調査。鎌倉時代頃の溝とそれ以前と考えられるピットが確認された。			
主な遺構		溝・ピット			
主な遺物		山茶椀片、土師器片			
関連文献					

№.	45	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－７次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字牛葉		事業主体	明和町
調査原因		水道管本管改修		費用負担	明和町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．１．２８		調査面積	５．８㎡
調査概要		南北方向の溝を３条検出。近世のものと考えられる。			
主な遺構		溝			
主な遺物		土師器片			
関連文献					
№.	46	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－８次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字内山		事業主体	明和町
調査原因		水道管本管改修		費用負担	明和町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．１．３０～Ｈ１４．１．３１		調査面積	１０．８㎡
調査概要		平安後期頃の柱列、および奈良時代後期頃の竪穴住居の一部を確認。また、焼土坑があり、近世以降のダルマ窯ではないかと考えられる。			
主な遺構		竪穴住居、柱列、土坑、近世瓦窯？			
主な遺物		緑釉陶器、須恵器、土師器			
関連文献					
№.	47	遺跡名	史跡斎宮跡（第**１３４－９**次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字塚山3322-2番地		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		現状変更に伴う事前調査		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	駒田利治
調査期間		Ｈ１４．２．７～Ｈ１４．３．２２		調査面積	３９０㎡
調査概要		斎宮跡の中央部で、斎宮跡方格地割の北西側で塚山古墳群の東に位置する。現状は、耕地（畑）となっている。表土の入れ替えに伴う現状変更の事前調査として実施した。掘立柱塀６間分、掘立柱建物（４間×２間　１棟、２間×２間　１棟）、土坑３基等を確認している。建物は、棟方向を北から東に振る。建物の存続時期は、周辺の遺物出土状況から、飛鳥・奈良時代と推定される。			
主な遺構		掘立柱塀、掘立柱建物　４間×２間；１棟　２間×２間；１棟　土坑３基ほか			
主な遺物		土師器、須恵器、灰釉陶器ほか			
関連文献					
№.	48	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－１０次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字東前沖**3554**		事業主体	明和町
調査原因		側溝改修		費用負担	明和町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．１．３０～Ｈ１４．１．３１		調査面積	９．０㎡
調査概要		側溝の改修に伴う現状変更。掘削深度内は全て近代の撹乱坑内であった。			
主な遺構		なし			
主な遺物		なし			
関連文献					

№.	49	遺跡名	斎宮跡第**１３４**－１１次調査	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町竹川字東裏**354-1**		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		住宅新築		費用負担	国※・県
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	水橋公恵
調査期間		Ｈ１３．８．８		調査面積	４㎡
調査概要		調査地は、史跡西部の参宮街道沿いから50mほど入ったところである。基礎の深さが、現況地盤から８０cmであったため、近世・近代の盛土内でおさまった。			
主な遺構		なし			
主な遺物		土師器・陶磁器			
関連文献					
№.	50	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－１２次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字上園**2926**		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		浄化槽設置		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．２．５		調査面積	３．４㎡
調査概要		浄化槽設置に伴う開削範囲内の立会調査。全体が撹乱土坑内であった。			
主な遺構		なし（撹乱土坑）			
主な遺物		山茶椀			
関連文献					
№.	51	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－１３次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町竹川字花園659-5		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		浄化槽設置		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．２．２５		調査面積	２．７㎡
調査概要		浄化槽設置に伴う開削範囲内の立会調査。全体が盛土内であった。			
主な遺構		なし（遺構面に達せず）			
主な遺物		なし			
関連文献					
№.	52	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３４－１４次調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町竹川字花園659-5		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		浄化槽設置		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	伊藤裕偉
調査期間		Ｈ１４．３．４		調査面積	３．５㎡
調査概要		浄化槽設置に伴う開削範囲内の立会調査。遺構は見られなかったが、この位置は斎宮方格地割のうち南１・東１ブロックの北西隅道路交差点内にあたる。			
主な遺構		なし（方格地割道路交差点内）			
主な遺物		なし			
関連文献					

№.	53	遺跡名	史跡斎宮跡（第１３5次計画調査）	台帳番号	４４２－２１０
所 在 地		多気郡明和町斎宮字上園		事業主体	三重県
調査原因		史跡整備		費用負担	国※・県
調査機関		斎宮歴史博物館		担 当 者	駒田利治
調査期間		Ｈ１３．６．２０～Ｈ１３．１０．３０		調査面積	１，２５０㎡
調査概要		斎宮跡方格地割の北西隅部は、一辺120mを基準とする方形区画の４区画が一つの大きな区画として考えられる区画であり、その外周の成立は、発掘調査の成果からは平安時代後期と考えられる。第135次調査は、この区画の北東部で、遊水地として整備する計画に先立ち、遺構の保存状況を確認することを目的として実施した。　調査の結果、これまでから想定されていたように、近代の瓦粘土採掘坑が、ほぼ全面に広がっており、斎宮存続期の遺構としては、鎌倉時代の井戸４基が確認されたに留まる。遺物は、奈良時代から鎌倉時代のものまで出土している。			
主な遺構		井戸４基（鎌倉時代前期）			
主な遺物		土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶椀ほか			
関連文献		『史跡斎宮跡　平成７年度発掘調査概報』斎宮歴史博物館　１９９６			

市町村担当分　本調査

※は国・県費補助事業

№.	54	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所 在 地		桑名市新屋敷北60-1		事業主体	個人
調査原因		個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	斉藤
調査期間		Ｈ１３．４．１１～Ｈ１３．４．１３		調査面積	２０．４０㎡
調査概要		地盤改良により破壊される、地表面より1.5mが調査対象である。幕末以降の遺構面から土坑数基が検出された。			
主な遺構		土坑			
主な遺物		瀬戸美濃・肥前の陶磁器、サザエ、アカニシ等の貝類			
関連文献					
№.	55	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所 在 地		桑名市元赤須賀57		事業主体	個人
調査原因		個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	斉藤
調査期間		Ｈ１３．５．１４～Ｈ１３．５．１６		調査面積	３．４２㎡
調査概要		地盤改良により破壊される地表面より、1.5mが調査対象である。遺構は検出されなかったが近世の陶磁器類の出土が若干みられた。			
主な遺構		遺構なし			
主な遺物		瀬戸美濃・肥前陶磁器			
関連文献					

No.	56	遺跡名	桑名城跡	台帳番号	２０５－１００
所 在 地		桑名市吉之丸5-1		事業主体	桑名市
調査原因		土俵改修工事		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	斉藤　　水谷
調査期間		Ｈ１３．５．２１		調査面積	４．００㎡
調査概要		南北に走る溝が検出された。現況で確認できる桑名城内堀に平行することから幕末以降の内堀の痕跡と思われる。			
主な遺構		溝（堀）			
主な遺物		近世陶磁器			
関連文献					
No.	57	遺跡名	桜戸遺跡	台帳番号	２０５－７３
所 在 地		桑名市増田字中縄627-1の一部		事業主体	個人
調査原因		個人住宅兼店舗		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	斉藤　　平野
調査期間		Ｈ１３．９．１７～Ｈ１３．１０．６		調査面積	１２８．９６㎡
調査概要		現況地表面より、田面下より0.7mのレベルで、中世遺物包含層、さらに0.4m下層に古墳時代の遺物包含層が確認された。明確な遺構は検出されなかったが、土層の堆積状況や周辺の現況から近在に水田が広がっていたものと思われる。			
主な遺構		遺物包含層			
主な遺物		山茶碗・灰釉陶器・瓦・土師器・須恵器・弥生土器			
関連文献					
No.	58	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所 在 地		桑名市新屋敷151-1、151-2		事業主体	個人
調査原因		個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	斉藤　　水谷　　平野
調査期間		Ｈ１３．１０．１５		調査面積	３．３６㎡
調査概要		地盤改良により破壊される部分を調査対象とした。地表面から2m掘削したが、近代以降のカクランにより遺構は検出されなかった。調査区が狭少で、湧水も激しかったためこれ以上の掘削は断念した。			
主な遺構		遺構無し			
主な遺物		近世陶磁器			
関連文献					
No.	59	遺跡名	出口遺跡	台帳番号	２０５－８２
所 在 地		桑名市増田字上川池237番1、242番		事業主体	個人
調査原因		個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	平野
調査期間		Ｈ１４．１．２８		調査面積	１０．５㎡
調査概要		地盤改良により破壊される地表面より、1mを調査対象とした。遺構は検出されなかったが近世の陶磁器類の出土が若干みられた。			
主な遺構		遺構無し			
主な遺物		近世陶磁器			
関連文献					

No.	60	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所 在 地		桑名市住吉町24番地先～相生町11番地先		事業主体	桑名市
調査原因		公園整備		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	水谷　　平野
調査期間		Ｈ１４．１．３０～Ｈ１４．２．２２		調査面積	８７．００㎡
調査概要		桑名城下町遺跡の外郭線にあたる外堀の隣接地を調査した。掘削の前に地中レーダーによる探査を行い、その結果を基に調査区を設定した。掘削の結果、撹乱が激しかったものの、幕末頃と考える遺構面が確認された。			
主な遺構		土坑・溝・堀			
主な遺物		瀬戸美濃・肥前陶磁器、土師器、寛永通宝			
関連文献					
No.	61	遺跡名	宇賀遺跡	台帳番号	２０５－８０
所 在 地		桑名市蓮花寺字惣作514-1、514-2、515、516		事業主体	個人
調査原因		資材置場		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	斉藤　　平野
調査期間		Ｈ１４．２．１２～Ｈ１４．２．１６		調査面積	９９．８０㎡
調査概要		現地表面から3.1mの掘削を行った。遺構は、中世の木柵が検出された。土層の堆積状況や周辺の状況等から、近在に水田が広がっていたものと思われる。			
主な遺構		木柵			
主な遺物		山茶碗・木製品（大足・田下駄）			
関連文献					
No.	62	遺跡名	西方台地B遺跡	台帳番号	２０５－８８
所 在 地		桑名市東方字立坂1896		事業主体	個人
調査原因		個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	斉藤
調査期間		Ｈ１４．３．１３		調査面積	４１．４０㎡
調査概要		遺跡周辺はすでに宅地化が進んでいるが、調査地は旧地形がかろうじて残存する箇所であった。地山面まで掘削したが、遺構は検出されなかった。遺物は土師器の細片がごく少量出土している。			
主な遺構		なし			
主な遺物		土師器細片			
関連文献					
No.	63	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所 在 地		桑名市南魚町40-2		事業主体	個人
調査原因		個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	斉藤　　水谷　　平野
調査期間		Ｈ１４．３．２０		調査面積	２４．６１㎡
調査概要		幕末以降の遺構面が検出された。空襲により被熱した石積が確認されており戦中まで利用されていたと考えられる。掘削深度に制限があったためさらに下層は掘削していない。			
主な遺構		土坑・石積			
主な遺物		近世陶磁器			
関連文献					

No.	64	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所 在 地		桑名市外堀94-5		事業主体	個人
調査原因		個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関		桑名市教育委員会		担 当 者	斉藤
調査期間		Ｈ１４．３．２６		調査面積	３．９１㎡
調査概要		地盤改良により破壊される地表面より、1mを調査対象である。掘削は、遺構面まで到達しなかった。			
主な遺構		遺構無し			
主な遺物		近世陶磁器			
関連文献					
No.	65	遺跡名	城ノ広遺跡	台帳番号	３４３－４
所 在 地		三重郡朝日町大字柿		事業主体	朝日町柿土地区画整理組合
調査原因		土地区画整理事業		費用負担	事業者
調査機関		朝日町教育委員会		担 当 者	浅川充弘　　竹内弘光
調査期間		Ｈ１３．４．３～Ｈ１３．６．１８		調査面積	７，０００㎡
調査概要		昨年度から継続して行っており、本年度は調査区北側の調査を行った。調査の結果、広範囲にわたって撹乱をうけていたものの、調査区北端では掘立柱建物１棟・土坑・溝等の遺構を確認し、また本遺跡が調査区北東に広がることを確認した。			
主な遺構		掘立柱建物・土坑・溝など			
主な遺物		須恵器・土師器			
関連文献					
No.	66	遺跡名	西ヶ谷遺跡（第４次）	台帳番号	２０２－１２６
所 在 地		四日市市東坂部町		事業主体	四日市市
調査原因		部田川左岸２号線改良工事		費用負担	四日市市
調査機関		四日市市教育委員会		担 当 者	清水政宏
調査期間		Ｈ１３．７．９～Ｈ１３．７．１０		調査面積	約７０㎡
調査概要		Ｈ．１４．２．に行った西ヶ谷遺跡（第４次）の残りの箇所である。調査の結果、前回の調査の続きである溝が検出された。			
主な遺構		溝			
主な遺物		須恵器			
関連文献		『西ヶ谷遺跡４』四日市市教育委員会　2002			
No.	67	遺跡名	山奥遺跡（第９次）	台帳番号	２０２－８４
所 在 地		四日市市大字羽津字山ノ奥		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因		一般国道1号北勢バイパス建設		費用負担	国土交通省
調査機関		四日市市教育委員会		担 当 者	加藤淳次　　萩良樹
調査期間		Ｈ１３．６．１１～Ｈ１３．１０．６		調査面積	６００㎡
調査概要		検出された遺構は、弥生時代後期の竪穴住居4棟と土坑が１０基である。この結果、弥生時代後期の竪穴住居の合計は１０７棟となった。土坑から弥生時代後期とみられる皮袋状の異形土器１点が出土している。			
主な遺構		竪穴住居、溝、土坑			
主な遺物		弥生土器			
関連文献		『一般国道北勢バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅵ』四日市市教育委員会　2002			

No.	68	遺跡名	久留倍遺跡（第２次）	台帳番号	２０２－７４
所 在 地		四日市市大矢知町字久留倍		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因		一般国道1号北勢バイパス建設		費用負担	国土交通省
調査機関		四日市市教育委員会		担 当 者	加藤淳次　　萩良樹
調査期間		H１３．８．２８～H１３．１２．１８		調査面積	２，３００㎡
調査概要		垂坂丘陵東端に位置し、遺跡が存在する丘陵は東側に向けて緩やかに傾斜している。弥生時代後期の方形周溝墓１基、飛鳥時代の竪穴住居４棟、奈良時代の掘立柱建物５棟などを検出した。特に、大型の柱掘形をもつ掘立柱建物と礎盤をもつ６間×２間の大型の掘立柱建物は注目される。遺物の大半は方形周溝墓の溝から出土した弥生土器で、供献土器とみられる人為的に穴をあけた土器も数点出土している。			
主な遺構		掘立柱建物、方形周溝墓、竪穴住居、溝、土坑			
主な遺物		弥生土器、須恵器、土師器、山茶椀			
関連文献		『一般国道北勢バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅵ』四日市市教育委員会　2002			
No.	69	遺跡名	白鳥中学校遺跡	台帳番号	２０７－１２４３
所 在 地		鈴鹿市加佐登三丁目1-1		事業主体	鈴鹿市
調査原因		学校施設建築		費用負担	原因者
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担 当 者	北条正則　　林　和範
調査期間		H１３．４．１３～H１３．５．２８		調査面積	４６０㎡
調査概要		加佐登古墳群に隣接することから古墳痕跡の存在を予想したが、中世の土地区画に伴うとみられる北西から南東に走る溝群を検出したのみであった。			
主な遺構		中世：溝６条、ピット			
主な遺物		山茶碗・土師器羽釜・常滑焼甕・須恵器			
関連文献					
No.	70	遺跡名	天王遺跡（第７次）	台帳番号	２０７－８７３
所 在 地		鈴鹿市岸岡町589-2		事業主体	三重県厚生農業協同組合連合会
調査原因		病院施設建設		費用負担	原因者
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担 当 者	吉田真由美
調査期間		H１３．５．１５～H１３．６．１９		調査面積	１７１．５㎡
調査概要					
主な遺構		飛鳥～奈良：掘立柱建物４・柵・土坑墓２			
主な遺物		土師器・須恵器・石鏃、鉄製品			
関連文献					
No.	71	遺跡名	伊勢国分寺跡（第２５次）	台帳番号	２０７-３６１
所 在 地		鈴鹿市国分町字堂跡・西高木		事業主体	鈴鹿市
調査原因		史跡整備		費用負担	鈴鹿市※
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担 当 者	藤原秀樹　　林　和範
調査期間		H１３．５．７～H１４．３．１５		調査面積	１，１００㎡
調査概要		史跡整備に先立つ伽藍配置確認のための調査。中門および回廊の位置・規模の確認を主眼とし、さらに南門付近の調査を追加した.中門は基礎地形がわずかに残存し、規模は東西19m、南北12mを測る。金堂中心から中門南辺、講堂北辺の距離は1：1で54mである。回廊は外周溝によって確認されるのみであるが、幅約7m、東西68m、南北51mで、金堂に取り付く。南門についても中門とほぼ同規模であることが確認されているが､詳細調査は次年度に継続する。			
主な遺構		奈良：中門・回廊・掘立柱建物・竪穴住居・土坑・溝・南門・築地　古墳：竪穴住居・土坑			
主な遺物		軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、須恵器､土師器、灰釉陶器、鉄刀子			
関連文献					

No.	72	遺跡名	国分西遺跡（伊勢国分寺跡第２６次）	台帳番号	２０７-８３７
所 在 地		鈴鹿市国分町262		事業主体	個人
調査原因		個人住宅建築		費用負担	鈴鹿市※
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担 当 者	北条正則　鈴木孝幸
調査期間		H１３．７．３～H１３．７．４		調査面積	１６㎡
調査概要		調査地は伊勢国分尼寺推定地の西縁にあたる。検出遺構は中世の区画溝および廃棄土坑である。廃棄土坑からは尼寺由来の瓦が多数出土した。			
主な遺構		鎌倉～室町：土坑２・溝３・ピット			
主な遺物		土師器・須恵器・常滑焼・山茶碗・丸瓦・平瓦・軒丸瓦・軒平瓦			
関連文献					
No.	73	遺跡名	長者屋敷遺跡（第１３次）	台帳番号	２０７－３６３
所 在 地		鈴鹿市広瀬町字中起1237、1240－1～3、1241		事業主体	鈴鹿市
調査原因		学術調査		費用負担	鈴鹿市※
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担 当 者	藤原秀樹　吉田真由美
調査期間		H１３．９．２０～H１４．２．１４		調査面積	６６０㎡
調査概要					
主な遺構		門･溝４（築地または土塁側溝）・土坑２			
主な遺物		土師器・須恵器・丸瓦・平瓦・軒丸瓦・軒平瓦・打製石斧			
関連文献					
No.	74	遺跡名	中瀬古南遺跡	台帳番号	２０７－６０１
所 在 地		鈴鹿市中瀬古町字西ノ口577-2		事業主体	個人
調査原因		個人住宅兼事務所建設		費用負担	鈴鹿市※
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担 当 者	北条正則　鈴木孝幸
調査期間		H１３．９．２０～H１４．2.14		調査面積	８８㎡
調査概要		古墳時代溝の埋没時期は出土須恵器により後期に降ると見られるが前期の土師器を多く含んでいる。掘立柱建物は束柱を持ち小型の倉庫とみられるが年代の決め手に欠く。			
主な遺構		古墳：溝1、中世：溝２、時期不詳：掘立柱建物２			
主な遺物		土師器･須恵器･山茶碗			
関連文献					
No.	75	遺跡名	天王遺跡（第８次）	台帳番号	２０７－８７３
所 在 地		鈴鹿市岸岡町589-2		事業主体	三重県厚生農業協同組合連合会
調査原因		病院施設建設		費用負担	原因者
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担 当 者	北条正則　鈴木孝幸　林和範
調査期間		H１３．１０．３１～H１４．３．３１（予定）		調査面積	１，２８７㎡
調査概要		調査区を東西に横断する大溝は幅２．５ｍの溝が幾度か掘り直され形成されたものである。中心となる溝は古墳時代後期に掘削され、最終的に古代末に埋没している。調査区の西側において第3・5次調査で検出された大溝と様相が類似し、何らかの関連が考えられる。最下から検出された溝は弥生時代後期から古墳時代初頭の遺物が出土し、この時期に掘削された溝を踏襲して後代の溝が掘削されたものであろうか。			
主な遺構		飛鳥～奈良:掘立柱建物・竪穴住居・井戸・土坑，　古墳～中世：大溝・溝			
主な遺物		弥生土器・土師器（古墳～平安）・須恵器・灰釉陶器･山茶碗・・製塩土器・土錘･瓦			
関連文献					

No.	76	遺跡名	長者屋敷遺跡（第１４次）	台帳番号	２０７－３６３
所 在 地		鈴鹿市広瀬町字仲土居1281-1		事業主体	個人
調査原因		土壌改良		費用負担	鈴鹿市※
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担 当 者	藤原秀樹　林和範　吉田真由美
調査期間		H１４．１．６～H１４．１．１１		調査面積	２４６㎡
調査概要		調査地は伊勢国府政庁から北北西に約300mはなれた地点である。溝２条と礎石瓦葺建物1棟を検出した。建物は、基壇外周溝の一部のみが残存していた。南北棟の建物と推定され、北妻の幅１５mを測る。外周溝からは瓦が多量に出土したが、押印瓦が４０点ほど存在し注目される。溝は建物の西１５mで確認され、幅２．５mと０．５mのものが約３mの間隔を置いて平行する。南北方向の土塁か築地に伴うものと見られ、曹司・館に伴う方形区画の西辺を構成するものであろう。			
主な遺構		溝２、礎石瓦葺建物基壇			
主な遺物		平瓦、丸瓦、押印瓦			
関連文献					
No.	77	遺跡名	国分西遺跡（伊勢国分寺跡第２７次）	台帳番号	２０７－８３７
所 在 地		鈴鹿市国分町262		事業主体	個人
調査原因		個人住宅建築		費用負担	鈴鹿市※
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担 当 者	中森成行　北条正則　鈴木孝幸
調査期間		H１４．１．１５～H１４．１．３１		調査面積	９８㎡
調査概要		調査地は伊勢国分尼寺推定地の西縁にあたる。大形の土坑からはスラグ･炉壁がまとまって出土し、古代末から鎌倉期の鍛冶工房に伴うものである可能性が高い。いずれの土坑にも大量の瓦が廃棄され、僧寺と尼寺由来の軒瓦が出土した。			
主な遺構		土坑3、溝２、掘立柱建物、ピット			
主な遺物		土師器･須恵器･灰釉陶器・山茶碗・丸瓦・平瓦・軒丸瓦・軒平瓦・セン・炉壁･スラグ・磨製石斧･石皿			
関連文献					
No.	78	遺跡名	御弊立	台帳番号	２１０－２２４
所 在 地		亀山市川崎町字御弊立		事業主体	シラカワ建設（有）
調査原因		分譲住宅造成		費用負担	事業者
調査機関		亀山市教育委員会		担 当 者	亀山隆　藤岡直子
調査期間		H１３．９．１３～H１３．１０．３		調査面積	１，９００㎡
調査概要		掘立柱建物の方向に統一性があり、総柱建物も確認できた。東へ１００m程のところに長者屋敷遺跡があることも含めて考えると、鈴鹿国府の関連施設と想定することが可能と思われる。			
主な遺構		奈良～平安：土坑・掘立柱建物・竪穴住居			
主な遺物		奈良～平安：土師器坏、須恵器甕、長頸壺			
関連文献					
No.	79	遺跡名	網中遺跡	台帳番号	２１０－３５０
所 在 地		亀山市辺法寺町字網中		事業主体	日本道路公団
調査原因		近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関		亀山市教育委員会		担 当 者	亀山隆　藤岡直子
調査期間		H１３．５．３０～H１４．３．２９		調査面積	３，０１６㎡
調査概要		Ｈ１１年度から調査を行い、今年度で終了。竪穴住居、掘立柱建物が段丘上にあり、谷に流れ込む流路の堰を設けている。地形に合わせた段差で棚田が形成されている。最下層の水田面は微地形に沿って形づくられており、不定形である。なお、王が最大で２m程堆積しており、その上層からも水田面が確認できる。遺物から洪水は江戸初頭頃と考えられる。			
主な遺構		奈良～中世：竪穴住居・掘立柱建物・堰・水田（棚田）・溝・畦			
主な遺物		奈良～平安：須恵器長頸壺・土師器甕・鍋・羽釜、中世：灰釉陶器・山茶椀			
関連文献					

No.	80	遺跡名	亀山城跡（第９次）	台帳番号	２１０－２００
所 在 地		亀山市東丸町地内		事業主体	三重県
調査原因		駅前高塚線他一線整備事業		費用負担	三重県
調査機関		亀山市教育委員会		担 当 者	亀山隆　　藤岡直子
調査期間		Ｈ１３．７．２０～Ｈ１３．１２．２８		調査面積	３８２㎡
調査概要		大手門から三之丸・太鼓櫓・二之丸にかけて調査を行った。大手門石垣、太鼓櫓石垣（石垣抜き取り痕・裏込石）、城内路に沿った石積が検出された。これら以前の構築物として、太鼓櫓石垣内に石列、太鼓櫓石垣下層から空堀、食い違い状の空堀、鍛冶遺構が検出された。			
主な遺構		中世：鍛冶遺構・空　近世：塀・石垣・石積			
主な遺物		近世：瓦・陶磁器、中世：青磁・白磁・天目茶碗・甕・すり鉢・土師器羽釜・土師器皿・羽口・鉄滓・弾丸・茶臼・五輪塔地輪			
関連文献		『伊勢亀山城跡発掘調査報告書Ⅲ』亀山市教育委員会１９９９			
No.	81	遺跡名	亀山城下町	台帳番号	２１０－３６２（新規）
所 在 地		亀山市江ヶ室町		事業主体	三重県
調査原因		東町野登線整備事業		費用負担	三重県
調査機関		亀山市教育委員会		担 当 者	亀山隆　　藤岡直子
調査期間		Ｈ１３．７．２０～Ｈ１３．１２．２８		調査面積	５５０㎡
調査概要		近世：掘立柱建物は年代を決定づける遺物が出土していないが、江戸時代の石川家家中の武家屋敷があったとされる。中世：Ｌ字状の溝からは細片ではあるが土師器羽釜と思われる遺物があり、溝の内側に掘立柱建物が確認できることから、区画された町屋が想定できる。			
主な遺構		近代：レンガ製かまど、近世：掘立柱建物、中世：溝・掘立柱建物			
主な遺物		近世：瓦・陶磁器、中世：土師器羽釜・土師器皿・石臼			
関連文献		『伊勢亀山城跡発掘調査報告書Ⅲ』亀山市教育委員会１９９９			
No.	82	遺跡名	谷古墳	台帳番号	２８４－７５０
所 在 地		安芸郡安濃町大字内多字谷		事業主体	有限会社　武智建設
調査原因		資材置場建設		費用負担	事業者
調査機関		安濃町遺跡調査会		担 当 者	田中秀和
調査期間		Ｈ１３．５．２１～Ｈ１３．６．１		調査面積	４４０㎡
調査概要		1/3残存した前方後円墳を調査した。破壊されていたので、埋葬施設・外部施設は残存していなかった。試掘調査時に確認した墳丘西側の溝は、奈良時代の溝と判明した。			
主な遺構		全長約30mの前方後円墳1基、溝1条			
主な遺物		円筒埴輪、人物埴輪、動物形埴輪、須恵器杯身・甕等			
関連文献					
No.	83	遺跡名	山の下Ｂ３号墳	台帳番号	２８４－６３６
所 在 地		安芸郡安濃町大字戸島字山の下		事業主体	安芸土地開発公社
調査原因		工業団地造成		費用負担	事業者
調査機関		安濃町教育委員会・安濃町遺跡調査会		担 当 者	田中秀和
調査期間		Ｈ１３．１０．２６～Ｈ１３．１１．２７		調査面積	１８２㎡
調査概要		昭和57年に三重県教育委員会による調査で発見された山の下Ｂ3号墳を調査した。調査の結果、3号墳は中世の溝によって改変を受けていたため、墳丘の形状は円墳か方墳か判断がつきかねる状況であった。また、埋葬施設は盗掘を受けていたが、木棺直葬で検出面で、須恵器壺が出土した。さらに、墳丘の西斜面から南斜面に中世の石積みが検出され、墳丘の南側裾部に列石が検出された。墳丘東側裾部でも列石が見られ、石の間から土師器鍋片が出土した。			
主な遺構		古墳1基、中世溝4条、古墳時代以前の土坑1基			
主な遺物		須恵器杯身、高杯、器台、弥生土器、土師器鍋・皿、青磁碗、天目茶碗、常滑焼壺			
関連文献					

No.	84	遺跡名	片野遺跡第８次調査	台帳番号	４０３－１２６
所 在 地		一志郡一志町片野字藪ノ下349-1		事業主体	有限会社ハートピア
調査原因		共同住宅建設		費用負担	事業者
調査機関		一志町教育委員会		担 当 者	伊勢野　久好
調査期間		Ｈ１３．９．１０～Ｈ１３．１０．５		調査面積	約１７０㎡
調査概要		今回の調査では、奈良・室町・江戸時代の遺構と遺物が確認された。特に室町時代の墓は長方形を呈し、中から古銭片が出土した。また、江戸時代の墓は中世墓より大きく、瓦質陶器の羽釜と火鉢、磁器皿などが出土した。当遺跡の中・近世墓は、これまで未検出であり、注目される。			
主な遺構		奈良時代の溝、室町時代の墓と溝、江戸時代の墓			
主な遺物		奈良時代の土師器(杯･蓋･甕)と須恵器(杯)、室町時代の土師器(皿･鍋)と陶磁器･古銭、江戸時代の陶磁器(羽釜･火鉢・皿)			
関連文献					
No.	85	遺跡名	井ノ尻・浦ノ戸遺跡	台帳番号	４０３－２２３
所 在 地		一志郡一志町八太		事業主体	一志町
調査原因		川合小学校造成		費用負担	一志町
調査機関		一志町教育委員会		担 当 者	伊勢野　久好
調査期間		Ｈ１３．１２．１０～Ｈ１４．３．２９		調査面積	約２，６００㎡
調査概要		今回の調査では、直線的に平行して走る南北溝で区画された中に、掘立柱建物や井戸、集石遺構などが配されていることが判明した。区画溝の中には、断面がＶ字形をした深いものも見られ、当遺跡が防御機能を備えた集落ではなかったかと推測される。また、中世墓の中には、青磁碗・皿が７点副葬されたものもあり、在地有力者の居住した遺跡としても注目される。			
主な遺構		鎌倉・室町時代の区画溝、掘立柱建物多数、井戸２１基、中世墓、集石遺構等			
主な遺物		土師器(皿・鍋・羽釜)多数、陶磁器類(青磁・皿、天目茶碗、山茶碗類)、鉄製品、木製品等			
関連文献					
No.	86	遺跡名	松本権現前遺跡（第２次）	台帳番号	４０７－８
所 在 地		一志郡三雲町大字小舟江字権現前		事業主体	東海冷蔵株式会社
調査原因		冷蔵倉庫増設		費用負担	事業者
調査機関		三雲町教育委員会		担 当 者	村田　匡
調査期間		Ｈ１３．７．２３～Ｈ１３．８．２３		調査面積	２００㎡（100㎡×２）
調査概要		雲出川右岸の標高２ｍほどの微高地上に立地する。古墳時代前期と中世の２つの面を検出した。 古墳時代前期のほぼ東西に走る溝を、中世の遺構面では内部に土坑をもつ掘立柱建物を確認。			
主な遺構		古墳時代前期：溝・土坑、中世：掘立柱建物・土坑			
主な遺物		古墳時代前期：古式土師器(高杯・甕）・土錘、中世：土師器（皿・鍋）・山茶椀			
関連文献		『一志郡史（下）』一志郡町村会　1955 『三雲町史　第二巻　資料編』三雲町史編集委員会　1999 『松本権現前遺跡発掘調査報告書』三雲町教育委員会　1999			
No.	87	遺跡名	多気北畠氏遺跡〔六田館跡〕第１次調査	台帳番号	０６６－２６－１８
所 在 地		一志郡美杉村下多気六田地内		事業主体	美杉村教育委員会
調査原因		学術調査		費用負担	美杉村 ※
調査機関		美杉村教育委員会		担 当 者	石淵誠人
調査期間		Ｈ１３．６．２２～Ｈ１４．３．２９		調査面積	３５０㎡
調査概要		文化庁、三重県教委員会の指導・協力を得ながら、多気北畠氏城下町の解明を目的として、六田館跡の建物跡及び堀跡の確認を行った。堀は、箱堀・薬研堀の形態を持ち、検出面からの深さはいずれも２．５ｍ以上を測る。堀の掘削は１６世紀中頃と思われる。堀の内側の屋敷地部分では、１５世紀末～１６世紀初頭と１６世紀中頃の２時期の整地を確認し、土坑群を検出した。			
主な遺構		堀、石垣、土坑、柱穴			
主な遺物		土師器皿・小皿・鍋、陶器皿、天目茶椀、青磁椀、銭貨等			
関連文献		『美杉村遺跡分布地図』（1996）、（財）日本ナショナルトラスト(1994)『美杉村・多気の歴史遺産調査』（＊古賀秀策氏ほか）、 伊藤裕偉(1993)『多気遺跡群発掘調査報告』（三重県埋蔵文化財センター） 竹田憲治ほか(1997)『多気北畠氏遺跡発掘調査報告－北畠氏館跡１－』（美杉村教育委員会）ほか			

No.	88	遺跡名	倉元遺跡	台帳番号	０６６－５０
所 在 地		一志郡美杉村八知倉元地内		事業主体	美杉村
調査原因		ほ場整備に伴う調査		費用負担	美杉村
調査機関		美杉村教育委員会		担 当 者	石淵誠人
調査期間		Ｈ１４．１．１５～Ｈ１４．２．７		調査面積	４３０㎡
調査概要		雲出川上流右岸の河岸段丘に位置する周知の遺跡である。鎌倉～室町時代の遺物（土師器、陶器、瓦器）が採集されている。遺構は、調査区山側で密度が高い。鎌倉時代初頭と思われる略円形で直径１ｍ、深さ約１ｍの袋状の土坑が数基、掘立柱建物が数棟確認された。			
主な遺構		掘立柱建物、土坑、溝、落ち込み			
主な遺物		瓦器椀、陶器皿、土師器鍋			
関連文献		美杉村遺跡分布地図1996			
No.	89	遺跡名	国史跡上野城跡（６次）	台帳番号	２０６－３５８
所 在 地		上野市丸之内		事業主体	上野市
調査原因		保存整備のための学術調査		費用負担	上野市
調査機関		上野市教育委員会		担 当 者	其道　和也　笠井　賢治　松田　久司
調査期間		Ｈ１３．５．１０～Ｈ１３．１１．８		調査面積	約６１５㎡
調査概要		今回の調査で検出された遺構の中で、礎石建物や石列、カマドの一部が、城代屋敷跡の絵図（安政四年御城内絵図）に記載されている位置にほぼ合致することから、屋敷建物の位置をおよそ特定することが可能となった。また、本年度の調査成果から昨年度調査区内の遺構も新たに絵図と合致する箇所が見られることが判明した。さらに、調査地では後世に公園整備や博覧会などが行われているものの、絵図の時期とは異なる江戸期あるいはそれ以前の可能性をもつ遺構が存在していることが判明した。			
主な遺構		礎石建物　カマド　石組遺構　石組溝　石列　埋甕　三和土　飛び石			
主な遺物		土師器皿　陶器浅碗　陶器擂鉢　陶器甕　磁器染付碗　軒丸瓦　軒丸瓦（桐瓦）　軒平瓦　丸瓦　桟瓦　寛永通宝　小刀柄縁			
関連文献					
No.	90	遺跡名	上野城跡（４次）	台帳番号	２０６－３５８
所 在 地		上野市丸之内		事業主体	三重県
調査原因		一般国道25号線特定安全施設等(一種)整備事業		費用負担	三重県
調査機関		上野市教育委員会		担 当 者	笠井賢治
調査期間		Ｈ１３．７．１６～Ｈ１３．９．２１		調査面積	５８０㎡
調査概要		調査区は市立崇廣中学校の南縁辺に位置する。ここは江戸時代には武家屋敷跡、江戸時代末期には藩校崇廣堂の武場が所在した所である。調査は上層・下層の２面に分けて実施し、上層では崇廣堂の時代の遺構の検出を試みたが、近代の学校用地として整備された時期の遺構が検出されるに留まった。下層では、検出された方向と規模から長屋門跡と想定される礎石建物や、屋敷地の区画と思われる道路状遺構、園池と想定される土坑などが検出された。			
主な遺構		礎石建物・埋甕・石組溝・土坑・道路状遺構			
主な遺物		土師器皿・鍋、陶器浅碗・擂鉢・灯明皿・甕、磁器染付碗・皿・鉢、軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、桟瓦、寛永通宝			
関連文献					
No.	91	遺跡名	西明寺遺跡（７次）	台帳番号	２０６－７８５
所 在 地		上野市西明寺		事業主体	株式会社三重平安閣
調査原因		建物等造成工事		費用負担	事業者
調査機関		上野市教育委員会		担 当 者	松田　久司
調査期間		Ｈ１３．１２．１７～Ｈ１４．２．１		調査面積	約３００㎡
調査概要		調査地は伊賀国分寺跡と長楽山廃寺（国分尼寺）跡との中間に位置する。西明寺遺跡では国分寺の所在が確認されて以降６次にわたり調査が実施されているが、今回の調査箇所は昭和35年度及び昭和56年度調査区、昭和63年度調査区に隣接する。調査の結果、東西棟の掘立柱建物跡や、等間隔で南北方向に延びる溝、合計７枚の土師器の皿が並べられた土坑等、国分寺盛隆期における周辺施設の一端が検出された。			
主な遺構		掘立柱建物　溝　土坑　ピット			
主な遺物		土師器：皿・甕、黒色土器：皿・椀、須恵器：長頸瓶・坏身・坏蓋・甕、灰釉陶器（小片）、丸瓦・平瓦・軒丸瓦（瓦当小片）、砥石等			
関連文献		田村輝之『西明寺遺跡発掘調査報告』　上野市教育委員会 1982			

No.	92	遺跡名	国史跡上野城跡（７次）	台帳番号	２０６－３５８
所 在 地		上野市丸之内		事業主体	上野市
調査原因		公園便所移転改築		費用負担	上野市
調査機関		上野市教育委員会		担 当 者	其道　和也
調査期間		Ｈ１４．３．７～Ｈ１４．３．１２		調査面積	約４０㎡
調査概要		調査地は、江戸時代に描かれた絵図に拠ると、国史跡上野城跡内の城代屋敷地の南東崖下にあたり、同屋敷を北から東に取り囲む空堀が延びていた箇所と見られるため、空堀が検出される可能性が高いと思われたが、調査の結果、公園便所の旧浄化槽や汚水管、水道管が埋設されており、調査可能な範囲は限られ、２箇所をトレンチ状に掘削して、土層断面観察行った。			
主な遺構		堀跡？			
主な遺物		陶器鉢　鯱瓦片			
関連文献		西澤裕幸『上野城跡発掘調査報告』１９９７			
No.	93	遺跡名	鼻倉氏城跡	台帳番号	４８４－２２５
所 在 地		阿山郡大山田村大字奥馬野字鳥鼻1178番地		事業主体	ジェイホォン東海株式会社
調査原因		携帯電話無線基地局設置		費用負担	事業者
調査機関		大山田村教育委員会		担 当 者	仁保晋作
調査期間		Ｈ１３．７．２３		調査面積	４０㎡
調査概要		耕作土より３０ｃｍ直下で地山が検出され、茶褐色の埋土の遺構が確認された。径４０ｃｍ深さ３０ｃｍ前後の柱穴が７つ、柱間２１０ｃｍ、南北４２０ｃｍ、掘建柱建物と推定される。調査区域以西に広がる平坦面全体が一つの城館を形成していると考えられる。			
主な遺構		中世　掘建柱建物　　柱列			
主な遺物		青磁１点（１６世紀と推定）			
関連文献		「伊賀の中世城館」伊賀中世城館調査会１９９７			
No.	94	遺跡名	川上中縄手遺跡（Ａ地区、Ｂ地区（第1次）、Ｃ地区）	台帳番号	５０１－(新発見)
所 在 地		名賀郡青山町川上字中縄手		事業主体	水資源開発公団川上ダム建設所
調査原因		川上ダム建設		費用負担	事業者
調査機関		青山町教育委員会		担 当 者	田中久生　境　宏
調査期間		Ｈ１４．１．７～Ｈ１４．３．２０		調査面積	Ａ地区240㎡、Ｂ地区650㎡、Ｃ地区1,045㎡
調査概要		本遺跡は、木津川支流の前深瀬川左岸に位置し、遺跡付近の標高は240mである。平成12年度に実施した範囲確認調査により縄文時代早期、中世の複合遺跡であることが判明していた。今回の調査の結果、Ｂ地区で縄文後期と想定されるピットを検出した。他に中世の掘立柱建物が数棟建つ可能性がある。Ｃ地区では、中世の掘立柱建物が２棟以上と、護岸（？）された流路を検出した。			
主な遺構		Ａ地区：なし　Ｂ地区：ピット、土坑、溝　Ｃ地区：ピット、土坑、流路			
主な遺物		Ａ地区：縄文土器（早期）、瓦器　Ｂ地区：縄文土器（早期・中期・後期）、瓦器、土師器、青磁器　Ｃ：土師器（古墳時代中期）、瓦器			
関連文献		川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ			
No.	95	遺跡名	老川岡部地蔵・同方形土壇・同積石	台帳番号	５０１－(新発見)
所 在 地		名賀郡青山町老川字岡部		事業主体	水資源開発公団川上ダム建設所
調査原因		川上ダム建設		費用負担	事業者
調査機関		青山町教育委員会		担 当 者	田中久生
調査期間		Ｈ１４．３．５～Ｈ１４．３．１４		調査面積	計１１３㎡
調査概要		本遺跡は、木津川支流の川上川右岸丘陵上に位置し、遺跡付近の標高は330m前後である。平成４年度に実施した分布調査により遺跡の可能性が指摘された地点である。調査の結果、地蔵周辺ではそれに伴う施設等は確認できなかった。石積は花崗岩の路頭で自然地形であった。方形土壇は近現代の開墾である可能性が高い。方形土壇の東側には阿保地区から老川地区に至る旧里道が通っていた可能性が考えられる。			
主な遺構		旧里道			
主な遺物		北宋銭「大觀通寶」			
関連文献		なし			

№.	96	遺跡名	宝塚1号墳	台帳番号	２０４－１２３
所 在 地		松阪市宝塚町・光町		事業主体	松阪市教育委員会
調査原因		史跡整備		費用負担	国、県、市※
調査機関		松阪市文化財センター		担 当 者	福田哲也　松葉和也　松田度
調査期間		Ｈ１３．１０．１１～Ｈ１３．１２．２０		調査面積	４０㎡
調査概要		第4次の調査にあたる。これまでに確認された造り出し東側の囲形埴輪や家形埴輪、壺形埴輪と柱状埴輪でつくる出入り口状遺構のある空間が、葺石に囲まれて完結することが判明した。			
主な遺構		葺石、敷石			
主な遺物		円筒埴輪、壺形埴輪、形象埴輪			
関連文献		『宝塚古墳の源流を求めて―大和・河内と伊勢の埴輪―』（平成13年度第2回松阪はにわシンポジウム、松阪市教育委員会、2002年）、松阪市教育委員会『松阪宝塚1号墳調査概報』（学生社、2001年）。			
№.	97	遺跡名	宝塚２号墳	台帳番号	２０４－１２４
所 在 地		松阪市宝塚町		事業主体	松阪市教育委員会
調査原因		史跡整備		費用負担	国、県、市※
調査機関		松阪市文化財センター		担 当 者	松葉和也　福田哲也　松田度
調査期間		Ｈ１３．５．２５～Ｈ１４．３．２９		調査面積	６８０㎡
調査概要		全長８９ｍの帆立貝形の古墳であることがわかった。築造時期は、1号墳に続く5世紀前半であると考えられる。後円部頂には方形壇を検出した。また、その周りや上部には家形や蓋形埴輪が出土した。後円部と前方部の間にある葺石による小さな斜面は例をみない。1号墳に続く首長墓として互いの位置関係や、埴輪の様相、築造方法の違いなどが注目される。			
主な遺構		葺石、方形壇			
主な遺物		埴輪（円筒、朝顔形、家形、蓋形、盾形）			
関連文献		『宝塚古墳の源流を求めて―大和・河内と伊勢の埴輪―』（平成13年度第2回松阪はにわシンポジウム、松阪市教育委員会、2002年）。			
№.	98	遺跡名	湯後遺跡	台帳番号	４４５－１７
所 在 地		多気郡宮川村大字小滝字湯後84-1番地		事業主体	宮川村総務課
調査原因		宮川村防火水槽設置工事		費用負担	宮川村
調査機関		宮川村教育委員会		担 当 者	福岡　佳久
調査期間		Ｈ１３．９．１７		調査面積	３８．５㎡
調査概要		遺構検出・遺構掘削			
主な遺構		溝、ピット、溝状土坑			
主な遺物		縄文土器片、弥生土器片、石鏃、中世の土師器小皿片、近世の鉢			
関連文献		『湯後遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター１９９７			
№.	99	遺跡名	田丸城址	台帳番号	４６１－２１４
所 在 地		度会郡玉城町田丸字城郭		事業主体	玉城町
調査原因		田丸城址遊歩道整備に伴う発掘調査		費用負担	玉城町
調査機関		玉城町教育委員会		担 当 者	倉田直純（県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ） 中西秀貴　（町教育委員会）
調査期間		H１４．３．１８～H１４．３．２９		調査面積	約１２０㎡
調査概要		遊歩道整備事業における調査で、「田丸城寶暦年間之図」に記されている二の丸と三の丸を区別する仕切が記されている箇所に、石垣らしきものと門の礎石らしき遺構、および階段の遺構が検出された。出土物には瓦片や土師器片および銅銭等があり、このことから今回検出された遺構は現時点では比較的新しい江戸時代以降のものであると考えられる。			
主な遺構		石垣らしき遺構、門の礎石らしき遺構、階段遺構			
主な遺物		軒丸瓦、瓦片、銅銭、土師器片、炭片			
関連文献					

No.	100	遺跡名	長尾遺跡（第1次・２次）	台帳番号	５２４－１３４
所 在 地		志摩郡阿児町鵜方字葛西川710番地１　他		事業主体	阿児町
調査原因		道路改良工事		費用負担	阿児町
調査機関		阿児町教育委員会　（三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修として、県埋蔵文化財センターの研修指導を受け、調査を実施。）		担 当 者	前田義孝　山田猛
調査期間		（１次）Ｈ１３．　８．２０～Ｈ１３．１０．２５ （２次）Ｈ１３．１１．１５～Ｈ１３．１２．１２		調査面積	（１次）175㎡　（２次）91㎡　（合計）266㎡
調査概要		縄文時代の遺構は確認されなかったが、前～中期の石器や土器が出土した。又、中世の溝や柱穴も検出された。 なお本遺跡では、数百点の石器と共に抉状耳飾も表採されている。			
主な遺構		中世の溝や柱穴			
主な遺物		石槍、石鏃、石錐、石斧、楔型石器、すり石、たたき石、くぼみ石、縄文土器、山茶碗、青磁			
関連文献		『伊勢志摩をめぐる考古学』三重県埋蔵文化財センター　1993、『阿児町の遺跡』皇學館大学考古学研究会　1994			
No.	101	遺跡名	史跡 赤木城跡及び田平子峠刑場跡	台帳番号	５６３－２
所 在 地		南牟婁郡紀和町大字赤木		事業主体	紀和町
調査原因		石垣等の崩落があり、保存修理が必要なため。		費用負担	紀和町　※
調査機関		紀和町教育委員会		担 当 者	中尾勝也
調査期間		Ｈ１３．７．２～Ｈ１３．１１．１３		調査面積	約１，０００㎡
調査概要		主郭石垣の調査を主眼に発掘調査を実施した。石垣の保存状況は、これまでに調査を実施した東郭や西郭に比べて全体的に良好で、特に北面石垣や四隅の算木積みの残りは良好であった。主郭内については、現状でも礎石と思われる石材の散在が確認されたが、地元赤木区の老人会によって植栽された桜の木があり、桜の名所となっているため、面的な調査は将来に譲ることとし、今回は縁辺部のトレンチ調査に留めた。したがって主郭の構築が盛土を主体とするものか、あるいは地山の削り出しによるものかは明らかにすることができなかった。出土遺物では焙烙の出土が注目される。この種の土器は、姫路市加茂遺跡、堺環濠都市遺跡、大阪城等で多量の出土が確認されており、播磨地域がその搬出元とされているものであるが、三重県内での出土は初例である。時期的には１５世紀後半に出現し、１７世紀初頭にまでおよぶとされているが、今回確認された焙烙は、１６世紀第四半世紀頃のものと考えられる。これは昨年度出土した瀬戸大窯期の天目茶碗の年代とも一致しており、赤木城の築城年代あるいは存続年代の一端を示すものとして貴重な資料となろう。			
主な遺構		主郭石垣は野面乱層積みで反りがなく、四隅は算木積みである。			
主な遺物		焙烙・炭・釘			
関連文献		十河良和「堺環濠都市遺跡出土の土師質土器・焙烙について」　「関西近世考古学研究Ⅳ」関西近世考古学研究会１９９６			

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分　範囲確認調査

※は国・県費補助事業

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
仮)鼓遺跡(登録不要)	員弁郡北勢町鼓	道路改築	県土整備部	6,000	21.65	遺構・遺物なし	13年度範確分施工可
丹生川中遺跡(323-93)	員弁郡大安町 丹生川中	農免農道 (丹生川中地区)	農林水産商工部	1,500	56	遺構・遺物なし	施行可
広山Ｂ遺跡（324-55）	員弁郡東員町長深字広山	東海環状自動車道建設	国土交通省	3,000	270	柱穴･溝 土師器･須恵器･陶器	要本調査2,700㎡
南浦遺跡(205-59)	桑名市島田	道路建設	県土整備部	6,600	66	土坑・溝・ピット 土師器・須恵器・灰釉陶器片	要本調査5,000㎡
東海道想定地 (202-未登録)	四日市市伊坂町	近畿自動車道名古屋神戸線	日本道路公団中部支社	7,000	419	溝 土師器・須恵器	要本調査700㎡
伊坂遺跡(202-429)				1,600	260	土師器・須恵器	施工可
一ノ高丘遺跡(202-384)	四日市市水沢町	北中勢水道用水供給	企業庁	1,050	56	遺構・遺物なし	施行可
岩の谷遺跡（202-194）	四日市市河原田町	急傾斜地崩壊対策	県土整備部	275	16	遺構・遺物なし	施工可
八重垣神社遺跡 （207-1174）	鈴鹿市木田町・ 十宮町	県営ほ場整備 （河曲中部地区） 県営かんがい排水(鈴鹿川沿岸地区）	農林水産商工部	119,000	220	溝 古墳時代：土師器甕 中世：山茶椀	要本調査6,000㎡
仮)寺家池遺跡 （登録不要）	鈴鹿市野村町	防災ダム (祓川・寺家池地区)	農林水産商工部	44,000	284	遺構なし 近世：陶器片1点	施行可
木下町Ａ遺跡 (210-206)	亀山市木下町・ 山下町	東名阪亀山直結線	日本道路公団中部支社	9,500	1,012	遺構・遺物なし 未調査部分1,850㎡残	施工可
仮）宮ノ前１号墳隣接地 (210-未登録)	亀山市木下町			5,200	690	古墳の縁辺部が地形地内にかかる。 円筒埴輪片	要本調査300㎡
木下里中遺跡（210-189）	亀山市木下町	道路改築	県土整備部	25	2	遺構・遺物なし	施工可
仮）林垣内遺跡 （201-新発見）	津市野田	道路建設	県土整備部	5,800		土師器片等遺物散布	範囲確認継続
仮)上野南大蔵遺跡 (登録不要)	安芸郡河芸町上野	道路改築	県土整備部	2,200	24	遺構・遺物なし	施工可
北奥遺跡（382-37）	安芸郡芸濃町多門	道路建設	県土整備部	2,200	44	土坑・ピット 土師器・陶器片	要本調査1,500㎡
仮）多門北方遺跡 （登録不要）	安芸郡芸濃町多門	道路建設	県土整備部	500	2	遺構・遺物なし	施工可
田尻垣内田遺跡 (403-78)	一志郡一志町田尻	下水道	県土整備部	64	64	遺構・遺物なし	施工可
城ノ腰遺跡(403-283)	一志郡一志町波瀬	道路整備	県土整備部	2,000	14	遺構・遺物なし	施工可
庵ノ前遺跡（403-282）				5,000	24	遺構・遺物なし	施工可
国東遺跡(403-280)	一志郡一志町波瀬	道路整備	県土整備部	2,300	40	遺構・遺物なし	施工可
蛇亀橋遺跡(405-232)	一志郡嬉野町島田	道路整備	県土整備部	6,000	47	遺構・遺物なし	施工可
西山Ｂ遺跡（406-53）	一志郡美杉村八知	道路改良	県土整備部	500	6	遺構・遺物なし	施工可
庄屋田遺跡(406-56)				1,800	18	遺構・遺物なし	施工可
前垣内遺跡(406-36)	一志郡美杉村持経	道路整備	県土整備部	1,200	50	遺構・遺物なし	施工可
南瀬古遺跡(406-72)	一志郡美杉村老ケ野	道路改築	県土整備部	1,000	10	遺構・遺物なし	施工可
丸野遺跡（204-214）	松阪市上川町	道路建設	県土整備部	2,500	1,600	土坑・ピット 土師器片	要本調査1,600㎡
中谷遺跡（204-216）	松阪市上川町	道路建設	県土整備部	3,000	1,400	土坑・ピット	要本調査1,400㎡
天王山遺跡（204-217） 天王山古墳群 （204-170）	松阪市豊原町	道路建設	県土整備部	4,700	5,400	溝・土坑・ピット 土師器・須恵器片	要本調査5,400㎡
大原堀遺跡（204-555）	松阪市広瀬町	中山間ほ場整備 (茅広江地区・下茅原地区）	農林水産商工部	17,000	174	溝・土坑 縄文土器・石器	要本調査4,900㎡
上ノ広遺跡（204-691）				47,000	444	溝・土坑 土師器片・石器	要本調査14,000㎡
戸井口遺跡 （204-未登録）				30,500	282	溝・土坑 土師器・山茶椀	要本調査4,400㎡
スブクリ遺跡 （204-未登録）				33,000	236	井戸・ピット 土師器片・山茶椀	要本調査1,100㎡
仮）中道ノ上遺跡 (登録不要)	飯南郡飯高町田引	道路改良	県土整備部	1,900	32	遺構・遺物なし	施工可

発シＡ遺跡 （442-213）	多気郡明和町　有爾中字発シ	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省	500	320	遺構・遺物なし	施行可
発シＢ遺跡 （442-214）				2,800	26	遺構なし 山茶椀・陶器片	施行可
野田塚・野田遺跡 （442-新発見）	多気郡明和町池村字野田			600	40	土坑、焼土坑 **飛鳥**～奈良：土師器片	要本調査
屋瀬Ｂ遺跡（444-103）	多気郡勢和村　　下出江	中山間地域総合整備(多気中部地区)	農林水産商工部	780	22	溝、土坑、落ち込み **中**近世：陶器	要本調査400㎡
新神馬場遺跡(444-96)	多気郡勢和村　　下出江	道路改良	県土整備部	7,440	12	遺構なし 土師器小片	施工可
浜井場遺跡（444-47）	多気郡勢和村古江	道路特別改良一種	県土整備部	2,400	12	遺構・遺物なし	施工可
仮)ナゴサ遺跡 （登録不要）	多気郡大台町下菅	中山間地域総合整備(多気中部地区)	農林水産商工部	94	24	遺構・遺物なし	施行可
東前遺跡（443-未登録）	多気郡大台町菅合字川合	近畿自動車道 尾鷲勢和線	日本道路公団 中部支社	4,500	344.3	土坑・ピット 土師器鍋・山茶椀・施釉陶器	要本調査
滝辺Ｂ遺跡（登録不要）	度会郡大宮町阿曽字滝辺			6,700	512.2	遺構なし。 陶器片少量	施行可
仮)野添遺跡(登録不要）	度会郡大宮町野添	道路整備	県土整備部	900	18	遺構・遺物なし	施工可
茶屋山遺跡（461-220）	度会郡玉城町原 **字**稲場・上折口	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省	1,600	24	丘陵の東向斜面の１０・11号窯の北側隣接地を調査した。遺構・遺物なし。	施行可
原古窯址群 （461-190～200）				100	10	人為盛土 中近世：陶器	要本調査
狼谷遺跡(461-138)	度会郡玉城町中角	農道整備 (玉城南部地区)	農林水産商工部	4,200	42	遺構・遺物なし	施工可
チカネバ遺跡(470-22)	度会郡度会町立岡	交通安全対策	県土整備部	700	9	ピット・土坑 遺物なし	工事立会 (対象500㎡)
仮）脇出遺跡 （470-新発見）	度会郡度会町脇出	道路拡幅	県土整備部	7,600			範囲確認継続
長野遺跡（203－142）	伊勢市村松町	道路改良	県土整備部	42	2.4	遺構・遺物なし	施工可
高ノ御前遺跡 （203－113）	伊勢市有滝町	道路改良	県土整備部	1,700	20	土坑・ピット 土師器甕・須恵器甕	要本調査1,700㎡
茶臼塚遺跡（203－79）	伊勢市有滝町			3,200	54	土坑・ピット 土師器甕・須恵器杯身	要本調査600㎡
大方山遺跡（203－159）	伊勢市西豊浜町			2,500	52	遺構・遺物なし	施工可
仮)鹿海遺跡（登録不要）	伊勢市鹿海町	道路改築	県土整備部	3,000	56	遺構なし 土師器片	施工可
北門遺跡（206-952）	上野市三田	道路改良	県土整備部	14,700	129	古墳～中世：土坑・ピット 土師器	要本調査　800㎡
仮）三田下川原遺跡 （登録不要）	上野市三田	道路建設	県土整備部	700	16	遺構・遺物なし	施工可
上野城跡（206-358）	上野市丸之内	道路拡幅	県土整備部	500	4	旧第三尋常中学校関連の石積み	要協議
宮之前遺跡(206-971) 宮ノ前館跡(206-1221) 荒木氏館跡(206-538)	上野市荒木	県営ほ場整備 （川南地区）	農林水産商工部	100,000	432	古代～近世：土坑・ピット・溝 土師器・須恵器・陶器・瓦器・磁器など	要本調査56,000㎡
宮之前遺跡(206-971) 宮ノ前館跡(206-1220)	上野市荒木	河川局改	県土整備部	8,000	48	中世～近世：土坑・ピット 土師器・瓦器・陶器など	要本調査4,400㎡
天神遺跡(206-234)	上野市上郡	道路建設	県土整備部	3,600		土師器片等遺物散布	範囲確認継続　　工事立会
才良遺跡(206-152)	上野市才良	道路建設	県土整備部	3,200			範囲確認継続
仮）町遺跡(登録不要）	阿山郡阿山町 **下**友田	道路改良	県土整備部	200	6	遺構・遺物なし	施工可
南裏城跡（484-130）	阿山郡大山田村 **中**村	急傾斜地崩落対策	県土整備部	1,500		土塁部分平板測量	施工可

市町村担当分　　範囲確認調査

※は国・県費補助事業

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	調査面積	調査概要	保存対応
ハサマ遺跡(新発見遺跡)（205-136）	桑名市大字森忠字正津376の一部外、桑名市大字芳ヶ崎字ハサマ895-1外	宅地造成	桑名市	6,901.09	153.10	柱穴・土坑 須恵器・瓦・山茶碗・土師器・　白磁	要本調査
真改遺跡　（新発見遺跡）（205-137）	桑名市東野82	宅地造成	桑名市	651.00	17.87	遺物包含層 土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗等	施行可
小生遺跡(202－282)	四日市市小生町	宅地造成	事業者	1,050	44	遺構なし。わずかに灰釉陶器・土師器の小片。	施工可
生泉遺跡(202－149)	四日市市小生町	共同住宅建設	事業者	499	25	埋蔵文化財は確認されず。基礎工事は盛土内で収まる。	施工可
久留倍遺跡(202-74)	四日市市大矢知町	共同住宅	事業者	1,234	32	山茶碗・灰釉陶器・緑釉陶器・土師器・須恵器・土製丸玉など平安時代～中世にかけての遺物や炭化物を含む土坑２基、溝（住居跡の可能性もあり）を検出。	工法変更により施工可
久留倍遺跡(202-74)	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	事業者	3,300	120	竪穴住居及び環濠の可能性が考えられる遺構と弥生土器多数を検出。	要本調査(2,550㎡)
下之宮遺跡(202－512)	四日市市下之宮町	共同住宅建設	事業者	941	48	山茶碗・土師器の小片がわずかに出土。遺構は確認されず。	施工可
間ノ田遺跡(202－68)	四日市市広永町	宅地造成	事業者	994	48	土師器・陶器片が少量出土。遺構は確認されず。	施工可
浄裕遺跡(202－154)	四日市市伊倉一丁目	宅地造成	事業者	462	32	土師器・須恵器・灰釉陶器片が出土し、遺物包含層を確認。遺構は確認されず。	工法変更により施工可
高角城跡・山之瀬古遺跡(202-266・420)	四日市市寺方町	防火水槽建設	事業者	30	30	遺構・遺物は確認されず。	施工可
坪之内遺跡(202－143)	四日市市寺方町	砂利採取	事業者	4,404	112	遺構・遺物は確認されず。	施工可
竹野一丁目遺跡（207-1138）	鈴鹿市竹野一丁目２０－８	個人住宅	鈴鹿市※	251	12	遺構・遺物なし	施工可
起C遺跡（207-717）	鈴鹿市安塚町字安塚　１６２９－２	個人住宅兼店舗	鈴鹿市※	450	4	溝	施工可
天王遺跡（207-873）	鈴鹿市岸岡町５８９ー２	病院施設建設	三重県厚生農業協同組合連合会	200	100	掘立柱建物	要本調査171.5㎡
金沢川遺跡（207-714）	鈴鹿市岸岡町字五ノ坪３２３７	農業用倉庫	鈴鹿市※	930	2	遺構・遺物なし	施工可
下箕田遺跡（207-1175）	鈴鹿市下箕田４丁目３１７	宅地造成	ハウスセンターオカベ（株）	2,034	14	中世陶器片	施工可
境塚遺跡（207-1171）	鈴鹿市伊船町字北ノ割、東境塚	工業団地造成	鈴鹿市※	103,718	195	溝	施工可
国分遺跡（207-838）	鈴鹿市国分町１３４８	個人住宅	鈴鹿市※	658	14	ピット・土坑	施工可
石薬師東遺跡（207-727）	鈴鹿市石薬師町字寺東４５２－４９	個人住宅	鈴鹿市※	461	16	ピット・周溝	施工可
須賀遺跡（207-166）	鈴鹿市須賀一丁目１７１８－１	個人住宅	鈴鹿市※	190	11	遺構・遺物なし	施工可
津賀東部遺跡（207-527）	鈴鹿市高塚町字神垣184-11	個人住宅	鈴鹿市※	504	10	遺構・遺物なし	施工可
岩ヶ谷遺跡（207-810）	鈴鹿市平野町字岩ヶ谷1011	個人住宅	鈴鹿市※	200	8	須恵器・土師器	施工可
国分西遺跡（207-837）	鈴鹿市国分町２６２	個人住宅	鈴鹿市※	329	16	ピット・土坑・瓦類	要本調査16㎡
乗鞍遺跡(207-991)	鈴鹿市上田町字松ヶ下８３１－１・２８９－１	土地改良	大和土木(有)	1,900	22	遺構・遺物なし	施工可
原永遺跡（207-239）	鈴鹿市南若松町字石塚２９４－３外	個人住宅	鈴鹿市※	305	11	遺構・遺物なし	施工可
国分寺北遺跡（207-793）	鈴鹿市国分町字上新田５１９－７	土砂採取	鈴鹿市※	938	15	遺構・遺物なし	施工可
新池A遺跡（207-566）	三宅町字羽原３５９－２外	個人住宅	鈴鹿市※	198	13	遺構・遺物なし	施工可
国分遺跡（207-838）	鈴鹿市国分町字南條１３６６・１３６９－４	個人住宅	鈴鹿市※	766	5	遺構・遺物なし	施工可
長者屋敷遺跡(207-363)	鈴鹿市広瀬町字荒子1001外	牧場造成	鈴鹿市※	13,809	20	遺構・遺物なし	施工可
中瀬古南遺跡（207-601）	鈴鹿市中瀬古町字西ノ口577－２	個人住宅兼事務所	鈴鹿市※	81	88	溝・柱穴	要本調査88㎡
国分西遺跡（207-837）	鈴鹿市国分町字東高木１６０－３	個人住宅	鈴鹿市※	303	10	遺構・遺物なし	施工可
周知外(登録不要)	鈴鹿市北玉垣町字愛宕縄２7外	店舗駐車場造成	鈴鹿市※	7,109	4	遺構・遺物なし	施工可

石丸野遺跡（207-553）	鈴鹿市国府町 字石丸７６７９－２１	工場建設	鈴鹿市※	2,085	4	遺構・遺物なし	施工可
北若松遺跡(207-237)	鈴鹿市若松北 三丁目　３０７－１０	個人住宅	鈴鹿市※	226	3	遺構・遺物なし	施工可
西ノ野遺跡(207-510)	鈴鹿市国府町 字西ノ野１５－１０	個人住宅	鈴鹿市※	214	9	遺構・遺物なし	施工可
起A遺跡(207-713)	鈴鹿市飯野寺家町 字起６９７	個人住宅	鈴鹿市※	317	9	遺構・遺物なし	施工可
乗鞍遺跡(207-991)	鈴鹿市上田町 字狐塚１５４１－１	土地改良	大和土木(有)	1,350	8	遺構・遺物なし	施工可
長者屋敷遺跡 (207-363)	鈴鹿市広瀬町 1282－１	土地改良	鈴鹿市※	3,652	1,131	溝・建物基壇・瓦	要本調査 246㎡
国府B遺跡（207-505）	鈴鹿市国府町 1098－4	工場建設	鈴鹿市※	2,363	10	遺構・遺物なし	施工可
天雷山遺跡（207-893）	鈴鹿市稲生二丁目 ３５１０外	集合住宅建設	鈴鹿市※	715	24	遺構・遺物なし	施工可
石薬師東遺跡 （207-727）	鈴鹿市石薬師町 字寺東４５２－４８	個人住宅	鈴鹿市※	585	22	遺構・遺物なし	施工可
富士遺跡（207-952）	鈴鹿市国府町字富士 ２２１７－３外	個人住宅	鈴鹿市※	369	9	ピット	施工可
国分西遺跡（207-837）	鈴鹿市国分町 字西浦２５９－１外	個人住宅	鈴鹿市※	569	15	ピット・溝・土坑・瓦類	要本調査 100㎡
山ノ原遺跡（207-532）	鈴鹿市上田町 字割塚５５３**－5**	個人住宅	鈴鹿市※	353	14	溝・ピット・土師器・須恵器	施工可
神垣遺跡（207-1012）	鈴鹿市高塚町 字神垣　１０６６	個人住宅	鈴鹿市※	991	14	溝・ピット・土師器・須恵器	施工可
天王遺跡（207-873）	鈴鹿市岸岡町 字野口　559外	集合住宅建設	鈴鹿市※	433	18	ピット	施工可
北山城（210-361新規）	亀山市辺法寺町	第二名神	日本道路公団	4,000	85	郭・切崖と考えられる平坦地が確認された。	要本調査
城館推定地Ｂ (登録不要)	亀山市辺法寺町	第二名神	日本道路公団		218	遺構・遺物なし。	施行可
峯城跡（210-136）	亀山市川崎町	第二名神	日本道路公団	3,420	258	溝・焼土坑・切崖・郭が確認された。室町時代後期の遺物あり。	要本調査
むつみケ丘古墳 （201-595）	津市一身田 上津部田字タノ坪	宅地造成	日企不動産(有)	100	7	自然地形	施工可
高松院跡(登録不要)	津市一身田町 字寺町	ガイダンス施設建設	津市	250	18	遺構なし。 陶器・磁器出土	施工可
(登録不要)	安芸郡安濃町 大字浄土寺	宅地造成	紀平建設株式会社	4,879	31.3	5箇所試掘坑を設けたが、顕著な遺構は発見されなかった。	施工可
上野遺跡(213-132)	久居市戸木町 字上野　他	民間団地造成	補助事業　国3/6, 県1/6,市2/6	約100,000	5,700	第一次調査地の西側一帯の畑地を調査。遺跡範囲をほぼ特定できた。縄文時代竪穴住居、弥生時代土坑、方形周溝墓、古墳～奈良時代竪穴住居、古墳、平安時代掘立柱建物、中世墓、室町時代大形土坑をともなう建物、区割溝等を検出。	協議中
庵ノ門遺跡(405-1)	嬉野町川北庵ノ門 １３５０	個人宅地	立会	982	16	遺構面に達せず	工事実施
筋違遺跡(405-285)	嬉野町新屋庄 **43－1**	店舗建築	原因者	259	16	浄化槽部分立会、黒褐色粘質土広がりあり、水田範囲の可能性あり。遺構遺物なし	工事実施
上野廃寺(405-18)	嬉野町下之庄 **12-19**	アパート建築	補助金	393	16	遺構遺物なし	工事実施
竜王野遺跡(405-323)	嬉野町須賀領 **48-8**	団地造成	文化庁補助金	2,115	60	遺構遺物なし	工事実施
竜王野遺跡(405-323)	嬉野町須賀領 **477-8**	福祉施設建築	文化庁補助金	1,323	32	遺構遺物なし	工事実施
上野廃寺(405-18)	嬉野町下之庄 **1220**	個人宅地	文化庁補助金	404	16	調査区の大半が現代の攪乱によりほとんどの遺構は残存しなかったが、わずかに柱穴などが確認された。出土した土器は中世のもののみであり、寺院に関係する遺物は確認されなかった。	工事実施
新々田遺跡(405-253)	嬉野町中川 字捨三仏９９３－２	個人宅地	文化庁補助金	297	16	遺構遺物なし	工事実施
新々田遺跡(405-253)	嬉野町中川字北浦６９５－１	工事立会	文化庁補助金	469	16	遺構遺物なし	工事実施
筋違遺跡(405-285)	嬉野町小村渡川 **4-1**	個人宅地	立会	202	16	遺構遺物なし	工事実施
野田遺跡(405-181)	嬉野町野田字小杉 **23-1**	アパート建築	文化庁補助金	2,345	16	確認された遺構は、西端の調査区からわずかに南に振りながら平行するＳＤ１（幅2.6ｍ）ＳＤ２（幅0.9m）西調査区で確認された幅mの溝２条、西調査区で確認された径mの土坑と柱穴である。ＳＤ１、２からは多数の土器が確認されたが、他の遺構からは明確な遺物の出土はない。	工事実施

上野廃寺(405-18)	嬉野町下之庄字 **１２４３**	個人宅地	文化庁補助金	488	16	土の後住宅の建築が施工されることから範囲確認調査を実施した。調査では、わずかに柱穴と溝が確認されたが、共に近世に属する遺構であり奈良時代の遺物などは確認されるに至らなかった。	工事実施
天白遺跡(405-344)	嬉野町釜生田 **１５１５**	個人宅地	文化庁補助金	354	16	調査では、多数の石材が確認されたことから、当初は史跡指定地内の状況と同様の配石遺構の可能性が示唆されたが、石内に中世の遺物を含むことや、石除去後に確認された溝から平安時代の遺物が確認されることから、古代以降の集石であると考えられる。	工事実施
六反田遺跡(405-388)	嬉野町中川３８－３	店舗建築	立会	1,322		遺構遺物なし	工事実施
大古野遺跡(405-　)	嬉野町須賀 **１４**５５－５	個人宅地	文化庁補助金	547	16	遺構遺物なし	工事実施
平生遺跡(405-183)	嬉野町平生 **９４２－１**	個人宅地	立会	619		遺構遺物なし	工事実施
小谷赤坂遺跡 (405-391)	嬉野町天花寺 **字赤**坂７６３－７	個人宅地	文化庁補助金	322	32	北に位置するAトレンチは上層からは、現代の瓦等の出土があるほか、弥生時代～中世の土器などが出土するが、すべて小片である。南に位置する、Bトレンチからは、ほぼ調査区の西半部に深さ0.5mの竪穴住居の一部が確認された。	工事実施
須賀城（405-46）	嬉野町須賀	里山づくり事業	文化庁補助金	24	45	土塁の状況は、全体に崩落が激しく、内部土留め石が確認され、土塁表面については、残存していないと推定される。現在の積善寺境内の土塁と東端の土塁が、当初の土塁がよく残存しているものであると推定される。　また、土塁の崩落土には中世段階の遺物の他、奈良時代～平安時代の土器、瓦等が含まれることから、　積善寺前身寺院の存在が推定される。	慎重工事
西山古墳（405-40）	嬉野町川北	里山づくり事業	文化庁補助金	1,000	60	墳丘主軸に設置した調査A区では、後方部は、墳頂部を中心として現在の盛土と考えられる層が存在することから、墳頂部際で盛土による復元がなされたと考えられる。前方部頂では、後方部の結節分で一部岩盤が露出する事等からこの部分は築造当時に墳丘が削り出しにより構築されたと考えられる。　調査A区の前方部裾の一部で、盛土の状況について確認を行ったところ、前方部墳丘構築層の明褐色土の下層で旧表土層と考えられる、暗褐色土層が存在することから、前方部のほとんどの範囲が盛土により構築されていることが確認できる。　後方部に設置したトレンチでは、後方部に付属する周溝部が確認されたが、周溝の深さは0.3mとさほど深いものではなく、一部改変の可能性が残存する。　主軸に直交する東西調査区は、前方部裾と、墳丘くびれ部で調査区を設定した。それぞれの調査区では後世の盛土などの改変はなく、ほぼ完存する。　今回の調査で、土器などの出土はないことから、西山古墳の所属時期については依然不明であるが、表面観察で指摘されたように墳丘に葺石は施されず、段築等も存在しない。また、墳丘外表についても壺等の土器配置は存在しないと考えられる。今回、調査を実施していないが、測量調査から、後方部南西に付属する一辺６m×7mの造り出し状の方形施設が存在することから、この部分に外区等の存在する可能性は高いと考えられる。	地区除外
井之尻・長井遺跡 (407-38)	一志郡三雲町大字久米	宅地造成	事業者	7,310	16	包蔵地内のみ対象 (遺構・遺物なし)	施工可
松本権現前遺跡 (407-8)	一志郡三雲町大字曽原	宅地造成	事業者	819	16	遺構なし 遺物（中世：土師器片）	施工可

松本権現前遺跡 (407-8)	一志郡三雲町大字中林	宅地造成	事業者	755	16	遺構・遺物なし	施工可
市場庄遺跡(407-31)	一志郡三雲町大字市場庄	共同住宅建設	事業者	1,228	16	建物部分のみ対象 遺構・遺物なし	施工可
舞出南遺跡(407-2)	一志郡三雲町大字舞出	宅地造成	事業者	1,828	40	遺構・遺物なし	施工可
中林・中道遺跡 (407-14)	一志郡三雲町大字曽原	宅地造成	事業者	2,763	40	遺構なし 遺物（中世：土師器片少量）	施工可
山本遺跡(066-10)	美杉村下之川字山本地内	村施設建設	美杉村	429	27	遺構なし、土師器片陶器片あり	施行可
山本遺跡(066-10)	美杉村下之川字山本地内	浄化槽設置	美杉村	24	3	遺構・遺物なし	施行可
広垣内遺跡(066-107)	美杉村奥津字谷垣内地内	第一種電気通信事業用の鉄塔建設	原因者（ジェイフォン東海株式会社）	165	9	遺構・遺物なし	施行可
下郡遺跡（206-164）	上野市下郡	農機具庫建設	上野市	700	34	ピット検出。土師器片、陶器片が少量出土。	立会調査
立岡遺跡（206-371）	上野市四十九町 字立岡	店舗・寮・駐車場等造成	（株）名阪商事	1,000	61	遺構なし。土師器片少量出土。	施工可
下郡遺跡（206-164）	上野市下郡	道路改良工事	上野市	300	31	近世以降と見られる溝・土坑を検出。土師器細片・陶器片少量出土	立会調査
唐木谷遺跡（206-816）	上野市猪田	水稲育苗施設新築工事	伊賀北部農業協同組合	20,300	813	奈良・平安時代を中心とする時期の溝・土坑・ピット検出。落ち込み部には遺物多く含む。	設計変更
上野城跡（206-358）	上野市丸之内	店舗建設	（株）神和建設	300	20	溝・ピット検出。土師器細片・陶器片・丸瓦片出土。	施工可
十王下遺跡（206-974） 百田氏館跡（206-476）	上野市長田	小学校運動場拡幅工事	上野市	4,356	115	溝・ピット検出。落ち込み部からは陶器、練鉢・擂鉢などが出土。	協議中
仮）九反坪遺跡 (登録不要)	阿山郡伊賀町新堂	駅周辺整備事業	伊賀町	6,000	32	遺構・遺物なし	施工可
川上宮垣内遺跡 (501−未登録)	名賀郡青山町川上字宮垣内	川上ダム建設	事業者	16,000	280	ピット・土坑 瓦器擂鉢・土師器など	要本調査 1,850㎡
下宮前A遺跡 （204-553）	松阪市射和町	集合住宅建築	事業者	2,000	12	土師器片をともなう柱穴を検出。	要本調査350㎡、盛土対応
中万七原遺跡 （204-未登録）	松阪市中万町	砂利採取	事業者	2,500	12	土師器片をともなう土坑と柱穴を検出。	要本調査（全面）、事業中止
仮）乙部町地内遺跡 （登録不要）	松阪市乙部町	砂利採取	事業者	16,080	12	遺構、遺物なし。	施工可
仮）大垣内町地内遺跡 （登録不要）	松阪市大垣内町	砂利採取	事業者	10,499	20	遺構、遺物なし。	施工可
仮）魚見町地内遺跡 （登録不要）	松阪市魚見町	砂利採取	事業者	7,920	20	遺構、遺物なし。	施工可
仮）大宮田町地内遺跡 （登録不要）	松阪市大宮田町	砂利採取	事業者	10,000	24	遺構、遺物なし。	施工可
仮）西黒部町内遺跡 （登録不要）	松阪市西黒部町	砂利採取	事業者	14,000	28	遺構、遺物なし。	施工可
仮）中万町地内遺跡 （登録不要）	松阪市中万町	砂利採取	事業者	12,000	20	遺構、遺物なし。	施工可
仮）佐久米古墳群隣接遺跡　（登録不要）	松阪市佐久米町	砂利採取	事業者	12,000	32	遺構、遺物なし。	施工可
松阪城三の丸堀跡 推定地（204-未登録）	松阪市殿町	道路拡幅事業	松阪市	90	9	現地表から1.4mで堀の上面、3.8mで堀の底を確認。	施工可
仮）伊勢寺町地内遺跡 （登録不要）	松阪市伊勢寺町	店舗建築	事業者	470	4	遺構、遺物なし。	施工可
神殿遺跡（442-203）	多気郡明和町大字金剛坂	砂利採取	明和町	1,391	66	奈良～鎌倉時代の溝、土坑検出。 土師器、須恵器、山茶碗出土。	要本調査 846㎡
田丸城址（461-214）	度会郡玉城町田丸字城郭	田丸城址遊歩道整備事業	玉城町	518 （2×259）	86.02	北の丸西側下において今回の遊歩道設置箇所の近くで、空堀の石垣とその裏込めの遺構が検出された。また遺物としては瓦片、炭片等が出土した。	空堀の遺構を損傷することがないように、遊歩道設置箇所を一部西側にわずかにずらした。
田丸城址（461-214）	度会郡玉城町田丸字城郭	玉城中学校運動場改修工事	玉城町	11,037	255	二の門から二の丸へむかう両脇に石垣を有する通路およびその石垣の裏込の石等の遺構が検出された。遺物としては軒丸瓦を含む瓦片が多数出土した。	大規模掘削をおこなわず土盛りをしてグラウンド面を仕上げ、地下遺構に影響を与えないよう注意を払った。
長尾遺跡（524-新発見）	志摩郡鵜方字葛西川710-1	道路改良工事	阿児町	850	40	土器片、チャート片	要本調査850㎡

県(三重県埋蔵文化財センター）担当分　工事立会

※は国・県費補助事業

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
桑名城跡(205-100)	桑名市吉之丸	吉之丸水門統合管理所建築	国土交通省	140	遺構・遺物なし
辻子遺跡(343-19)	三重郡朝日町埋縄	道路拡幅	県土整備部	1,200	ピット 山茶碗・土師器片
仮）大上遺跡 (204-新発見)	松阪市上蛸路	河川改良	県土整備部	300	土師器鍋片採集
前沖遺跡(204-687)	松阪市深長	歩道整備	県土整備部	200	遺構・遺物なし
中ノ尾Ｂ遺跡(203-)	伊勢市前山町	南勢志摩水道用水供給	企業庁	26	今回工事は埋蔵文化財に影響は及ばない。
高谷氏館跡(206-508)	上野市土橋	府中５期地区	農林水産商工部	135	事前測量及び土層断面の確認。
中氏城跡（206-487）	上野市法花字東出	自然災害防止	森林保全課	9	曲輪南端部分を地形測量。土師器鍋片・鉄鎌が出土。
浮田遺跡(206-1109) 朝神遺跡(206-1110)	上野市下神戸	送水管布設工事	企業庁	192	今回工事は埋蔵文化財に影響は及ばない。
霊山寺石仏群(481-263)	阿山郡伊賀町下柘植	自然公園等整備	企業庁	16	現在計画の工法ならば、埋蔵文化財には影響はない。
霊山経塚遺跡(481-264)	阿山郡伊賀町下柘植	霊山無線中継所建築	国土交通省	330	遺構・遺物なし
南裏城跡(484-113)	阿山郡大山田村中村	急傾斜地崩壊対策	県土整備部	90	土塁(現況地形測量実施）、遺物なし
黒淵遺跡(501-未登録）	名賀郡青山町高尾	道路拡幅	県土整備部	100	遺構・遺物なし
仮）赤木遺跡（登録不要）	南牟婁郡紀和町赤木	砂防工事	県土整備部	400	遺構・遺物なし

市町村担当分　工事立会

※は国・県費補助事業

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
大久保古墳群（301-72）	桑名郡多度町小山	下水道工事	多度町	971.27	工事立会　遺構・遺物なし
宮前遺跡（301-87）	桑名郡多度町小山				
西田面遺跡（301-51）	桑名郡多度町猪飼				
砂田遺跡（301-71）	桑名郡多度町北猪飼				
東谷通遺跡（301-60）	桑名郡多度町小山	個人住宅	事業者	712.42	工事立会　遺構・遺物なし
上之郷揖斐川河床遺跡（301-30）	桑名郡多度町	高水敷整正工事	事業者	6.75	工事立会　遺構なし・山茶碗少量
畑田遺跡（205-64）	桑名市坂井字西堤603・604	個人住宅	桑名市	94.18	遺構・遺物無し
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市伊賀町55	在宅総合ステーション建設	桑名市・事業者	234.00	地下遺構に影響なし　近世陶磁器出土
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市掛樋24	矢田郵便局建設	桑名市・事業者	378.80	遺構・遺物無し
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市柳原175-2,3,4, 177	個人住宅	桑名市	155.67	地下遺構に影響なし
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市萱町88、88-1、87、86、85、83	庫裡（住職住宅）	桑名市・事業者	313.53	地下遺構に影響なし　近世陶磁器出土
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市風呂町29	個人住宅建設	桑名市	52.06	地下遺構に影響なし　近世陶磁器出土
羽笠城跡（205-43）	桑名市芳ヶ崎字屋敷田717	個人住宅	桑名市	72.98	遺構・遺物無し
尾野山城跡（205-48）	桑名市東方2194	法面補強工事	桑名市・事業者	275.00	遺構・遺物無し
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市吉津屋町70	個人住宅増築	桑名市	54.00	遺構無し、近世陶磁器出土
尾野山城跡（205-48）	桑名市東方2194	神社増改築工事	桑名市・事業者	166.08	遺構・遺物無し
尾野山城跡（205-48）	桑名市東方2194	社務所建設	桑名市・事業者	166.08	遺構・遺物無し
桑名城跡（205-100）	桑名市三之丸33	個人住宅	桑名市	126.97	地下遺構に影響なし
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市外堀65-2地点	個人住宅	桑名市	77.74	地下遺構に影響なし
南浦遺跡（205-59）	桑名市志知4346（市道志知17号線）	道路改良工事	桑名市	429.70	遺構・遺物無し
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市宝殿町63	個人住宅	桑名市	44.50	地下遺構に影響なし
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市外堀126-1	個人住宅	桑名市	73.08	地下遺構に影響なし
矢田城跡（205-96）	桑名市矢田字城山267	便所建設、浄化槽	桑名市	27.00	遺構・遺物無し
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市宮通25	個人住宅	桑名市	90.44	地下遺構に影響なし
桑名城跡（205-100）	桑名市吉之丸	公園整備	桑名市	1,100.00	遺構無し、近世陶磁器出土
天白堂遺跡（205-68）	桑名市赤尾字坂/下452-4、451-4、455-1、456-3	コンビニ建設	桑名市・事業者	925.28	地下遺構に影響なし
六ノ坪遺物散布地（205-105）	桑名市志知	南浦幹線志知末端汚水管路施設工事	桑名市	1,130.00	地下遺構に影響なし　近世陶磁器出土
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市外堀81-2	個人住宅	桑名市	61.27	地下遺構に影響なし
笠坊谷墓址（205-60）	桑名市森忠字笠坊谷851-28	個人住宅	桑名市	87.41	遺構・遺物無し
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市三崎通39	サイン整備	桑名市	3.89	遺構・遺物無し
桑名城跡（205-100）	桑名市吉之丸7 コミュニティパーク前歩道	サイン整備	桑名市		遺構・遺物無し
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市南魚町86	個人住宅	桑名市	67.07	地下遺構に影響なし　近世陶磁器出土
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市内堀82	倉庫建設	桑名市・事業者	829.05	地下遺構に影響なし 近世陶磁器出土
矢之田Ｂ遺跡（325-　）	員弁郡藤原町大字下野尻字矢之田	工場用地進入道路建設の為	事業者	182.72	遺構・遺物とも発見されなかった Ｈ１３．１０．１９
塚穴古墳群 (202-217・218)	四日市市鹿間町	店舗建設	事業者	423	遺構・遺物なし
上畑遺跡 (202－337)	四日市市尾平町	個人住宅	事業者	20	遺構・遺物なし

坪ノ内遺跡 (202-143)	四日市市高角町	個人住宅	事業者	20	遺構・遺物なし
山の越遺跡 (202-520)	四日市市日永西	宅地造成	事業者	3	遺構・遺物なし
大道端遺跡 (202-400)	四日市市鹿間町	農業倉庫建設	事業者	33	遺構・遺物なし
平戸山遺跡 (202-159)	四日市市青葉町	店舗建設	事業者	70	遺構・遺物なし
赤堀城跡 (202-518)	四日市市城西町	個人住宅	事業者	50	遺構・遺物なし
市場城跡 (202-233)	四日市市市場町	宅地造成	事業者	4	遺構・遺物なし
久留倍遺跡 (202-74)	四日市市大矢知町	共同住宅	事業者	57.6	多数の遺物を含む包含層を確認。
三石塚遺跡 (202-510)	四日市市大矢知町	上水道管布設	事業者	2	遺構・遺物なし
八反縄遺跡 (202-70)	四日市市大矢知町	上水道管布設	事業者	2	遺構・遺物なし
久留倍遺跡 (202-74)	四日市市大矢知町	上水道管布設	事業者	6	遺構・遺物なし
下之宮遺跡 (202-512)	四日市市下之宮町	宅地造成	事業者	106	遺構・遺物なし
赤堀城跡 (202-518)	四日市市城西町	宅地造成	事業者	8	遺構・遺物なし
風呂田遺跡 (202-464)	四日市市東日野町	公共下水道埋設工事	事業者	20	遺構・遺物なし
大膳寺跡 (202-89)	四日市市南いかるが町	個人住宅	事業者	27	瓦片少量出土。遺構なし。
浄裕遺跡 (202-154)	四日市市中川原	公共下水道埋設工事	事業者	63	遺構・遺物なし
富士谷遺跡 (202-75)	四日市市大矢知町	宅地造成	事業者	2,930	遺構・遺物なし
久留倍遺跡 (202-74)	四日市市大矢知町	個人住宅	事業者	356	遺構・遺物なし
千歳池北遺跡 (202-359)	四日市市水沢町	農業集落排水工事	事業者	20	遺構・遺物なし
大矢知山畑遺跡 (202-76)	四日市市大矢知町	北勢バイパス	事業者	800	遺構・遺物なし
岩名遺跡 (202-142)	四日市市尾平町	汚水管渠布設	事業者	130	遺構・遺物なし
下之宮南遺跡 (202-513)	四日市市下之宮町	ガス管埋設工事	事業者	79	遺構・遺物なし
四ツ谷遺跡 (202-408)	四日市市東坂部町	公共下水道布設	事業者	300	遺構・遺物なし
貝野遺跡 (202-124)	四日市市東坂部町	公共下水道布設	事業者	200	遺構・遺物なし
川原宮遺跡 (202-498)	四日市市西坂部町	道路舗装新設工事	事業者	700	遺構・遺物なし
大膳寺跡 (202-89)	四日市市南いかるが町	下水管布設工事	事業者	400	遺構・遺物なし
井詰遺跡 (202-90)	四日市市南いかるが町	下水管布設工事	事業者	510	遺構・遺物なし
菅原山畑遺跡 (202-147)	四日市市菅原町・平尾町	下水管布設工事	事業者	120	遺構・遺物なし
坪ノ内遺跡 (202-143)	四日市市高角町	下水管布設工事	事業者	780	遺構・遺物なし
伊正寺遺跡 (202-423)	四日市市高角町	下水管布設工事	事業者	95	遺構・遺物なし
小生遺跡 (202-282)	四日市市小生町	ボックスカルバート設置工事	事業者	20	遺構・遺物なし
貝野遺跡 (202-124)	四日市市西坂部町	公共下水道布設工事	事業者	163	遺構・遺物なし
下之宮遺跡 (202-512)	四日市市下さざらい町	宅地造成	事業者	175	遺構・遺物なし
西辻遺跡 (202-462)	四日市市大鐘町	個人住宅建替え	事業者		遺構・遺物なし
赤堀城跡 (202-518)	四日市市城西町	個人住宅建替え	事業者	333	遺構・遺物なし
須賀遺跡（207-166）	鈴鹿市須賀一丁目17－1	個人住宅	原因者（個人）	125	遺構・遺物なし
龍光寺遺跡（207-1193）	鈴鹿市神戸一丁目15	複合施設建設	原因者(神戸本町通りBN地区市街地再開発組合)	600	近世土坑、溝、流路
山ノ原遺跡（207-532）	鈴鹿市上田町556-2	個人住宅	原因者（個人）	99	遺構・遺物なし
大木ノ輪遺跡（207-701）	鈴鹿市上箕田町字石津2788－2外	農業用倉庫	原因者（個人）	298	遺構・遺物なし
白子深田遺跡（207-1191）	鈴鹿市白子町字深田198-2	個人住宅	原因者（個人）	15	遺構・遺物なし

郡山西遺跡（207-589）	鈴鹿市郡山町地内	市道整備	原因者(鈴鹿市)	14	遺構・遺物なし
国分北遺跡（207-536） 国分寺北遺跡（207-793）	鈴鹿市国分町地内	市道整備	原因者(鈴鹿市)	400	遺構・遺物なし
大久保城跡（207-603）	鈴鹿市大久保町地内	水道管敷設	原因者（鈴鹿市水道局）	7	遺構・遺物なし
石丸野遺跡（207-553）	鈴鹿市国府町字石丸	水道管敷設	原因者（鈴鹿市水道局）	170	遺構・遺物なし
上箕田遺跡（207-164）	鈴鹿市上箕田一丁目257	個人住宅	原因者（個人）	5.7	遺構・遺物なし
岸岡山Ⅲ遺跡（207-889）	鈴鹿市岸岡町字岩ヶ谷2574外	個人住宅	原因者（個人）	50	遺構・遺物なし
龍光寺遺跡（207-1193）	鈴鹿市神戸二丁目439-1	消防用倉庫	原因者（消防神戸分団）	39	土師器
岸岡山Ⅲ遺跡（207-889）	鈴鹿市江島町富士下 2545－25	個人住宅	原因者（個人）	8.4	遺構・遺物なし
西ノ野遺跡（207-160）	鈴鹿市国府町字西ノ野地内	下水管埋設	原因者(鈴鹿市)	50	遺構・遺物なし
金沢川遺跡（207-714）	鈴鹿市柳町字井澤1824－3	個人住宅	原因者（個人）	6.3	遺構・遺物なし
上箕田遺跡（207-164）	鈴鹿市上箕田町字近田 2461-2	個人住宅	原因者（個人）	5	遺構・遺物なし
西川遺跡（207-675）	鈴鹿市郡山町字野口820-8	個人住宅	原因者（個人）	5	遺構・遺物なし
上箕田遺跡（207-164）	鈴鹿市林崎一丁目575－2	個人住宅	原因者（個人）	10	遺構・遺物なし
亀山城（210-200）	亀山市東丸町	水道管工事	亀山市水道課	24	遺構・遺物なし
雲出島貫遺跡(201-484)	津市雲出島貫町字藤本	畑地造成	個人	1	遺物包含層確認。 土師器・須恵器出土
六大Ａ遺跡(201-693)	津市大里窪田町字花村	駐車場造成	(株）ホンダ四輪販売スーパー	8	遺構・遺物なし
多気北畠氏遺跡〔慈恩院跡〕（066-26-23）	美杉村上多気字馬場地内	第一種電気通信事業用の鉄塔建設	原因者（ＤＤＩ株式会社）	48.3	現地表から５０cmほどで、遺構面を検出する。柱穴数基（根石あり）を確認。土師器皿・小皿・鍋片、陶器小片、青磁椀小片が出土した。
上野城跡（崇廣堂武場跡・武家屋敷跡）（206-358）	上野市丸之内	中学校校舎解体工事	上野市	36	遺構なし。土師器片出土。
中戸遺跡隣接地 （206-1232）	上野市千歳字野添	遊戯場建設	（株）大都興産	5	遺構、遺物なし。
上野城下町遺跡 （206-1230）	上野市鍛冶町	個人住宅建築	上野市	10	遺構、遺物なし。
古屋敷遺跡（206-1146）	上野市東高倉	個人住宅建築	上野市	4	遺構、遺物なし。
木垣内遺跡（206-650）	上野市長田	農業集落排水緊急整備事業	上野市	11	遺構、遺物なし。
上野城下町遺跡 （206-1230）	上野市田端町	個人住宅建築	上野市	3	遺構、遺物なし。
上野城跡（崇廣堂武場跡・武家屋敷跡）（206-358）	上野市丸之内	中学校テニスコート建造他	上野市	147	礎石・根石・石列検出。土師器類・陶磁器類出土。
延喜式内社比自岐神社 （206-1154）	上野市比自岐	交流基盤用地	上野市	6	遺構、遺物なし。
上野城下町遺跡 （206-1230）	上野市向島町	個人住宅建築	上野市	2	焼土面確認。遺物なし
下郡遺跡（206-164）	上野市下郡	農機具庫建設	上野市	2	遺構、遺物なし。
国史跡上野城跡（206-358）	上野市丸之内	個人住宅建築	上野市	60	遺構、遺物なし。
下郡遺跡（206-164）	上野市下郡	道路改良工事	上野市	30	遺構、遺物なし。
上川原遺跡（481-163）	阿山郡伊賀町柏野	下水道工事	伊賀町	200	遺構・遺物なし
西沖南遺跡（481-162）	阿山郡伊賀町柏野	下水道工事	伊賀町	100	遺構・遺物なし
仮）徳井遺跡(登録不要)	阿山郡伊賀町下柘植	下水道工事	伊賀町	20	遺構・遺物なし
霊山寺石仏群（481-263）	阿山郡伊賀町下柘植	霊山寺休憩所解体工事	伊賀町	20	遺構・遺物なし
安養寺跡（442-523）	多気郡明和町大字上野	病棟渡り廊下設置	明和町	73.3	溝・柱穴を確認。 土師器片出土。
烏止野神社社務所跡 (564-未登録)	南牟婁郡鵜殿村**104番地**	烏止野神社社務所建替えに伴う調査		約30	烏止野神社の社務所建替え時に、建設業者に掘っていただき調査を行った。（実施日：Ｈ１３．８．２９）

Ⅲ　埋蔵文化財保護体制の充実

１　各 種 会 議

〔三重県埋蔵文化財専門担当者会議〕

当埋蔵文化財センターのほか、県教育委員会生涯学習課文化財保護室・斎宮歴史博物館及び市町村の埋蔵文化財専門担当者によって、労働安全衛生・技術研修や意見交換等を目的として、平成１３年度は次の４回を開催した。

	開 催 日	場　所	内　　容
第１回	平成 13 年 4 月 26 日	斎宮歴史博物館	・平成 13 年度事業予定 ・「公共事業の推進と埋蔵文化財の保護」についての講演と質疑 ・斎宮博物館の見学
第２回	平成 13 年 8 月 10 日	嬉野町中央研修センター	・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・労働安全研修 講演「発掘調査作業と労働安全衛生その他」 発掘現場での労働安全衛生指導と見学 講演・指導　社会保険労務士　山岸　稔氏 ・三重県埋蔵文化財発掘調査成果速報展の見学
第３回	平成 13 年 11 月 27 日	伊勢市生涯学習センター	・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・発掘通知の手続きについて ・公立埋文協の報告「民活の現状について」 ・伊勢市郷土資料館と田丸城跡の見学
第４回	平成 14 年 2 月 12 日	斎宮歴史博物館	・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・13 年度の調査事例報告 「粟生城跡」・「小牧北遺跡」（県センター） ・講演「地方公共団体における埋蔵文化財行政－その体制と課題－」　四日市市立博物館長　和田勝彦氏

〔全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会〕

全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会が主催する会議・研修会に職員を派遣し、他機関との交流や技術研修を行っている。平成 13 年度は次の会議等に参加した。

名　　称	内　容	期　日	場　所	出席者
平成 13 年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	平成 12 年度事業報告について　その他	平成 13 年 4 月 24・25 日	奈良県奈良市 公立学校共済組合 「春日野荘」ほか	山澤 義貴 山田　猛
平成 13 年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会東海・北陸ブロック会議	文化財行政の県・市町村の役割分担について　その他	平成 13 年 9 月 13・14 日	福井県安波賀町 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	山澤 義貴 倉田 直純
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第 14 回研修会	研修テーマ『民間発掘調査機関の活用』	平成 13 年 11 月 15・16 日	三重県松阪市 松阪フレックスホテル	(主催：三重県埋蔵文化財センター)

〔文化財行政講座〕

文化庁が主催する講座等に職員を派遣し、行政的研修も行っている。平成 13 年度は次のものに参加した。

名　　称	内　容	期　間	場　所	出席者
文化財行政講座	文化財行政概論各種、実務講習各種	平成 13 年 11 月 13～15 日	東京都港区 三田共用会議所	竹田 憲治
埋蔵文化財担当職員等講習会	埋蔵文化財保護行政の歴史と現在　その他	平成 13 年 9 月 6・7 日	神戸市中央区 兵庫県民会館	新田　洋 船越 重伸

〔埋蔵文化財写真技術研究会〕

当センターも会員である埋蔵文化財写真技術研究会が主催する総会に、技術的情報を収集するために出席した。

名　　称	内　容	期　間	場　所	出席者
埋蔵文化財写真技術研究会総会	全国埋文写真事情　その他	平成 13 年 7 月 6・7 日	奈良市二条町 奈良国立文化財研究所	萩原 義彦

2　埋蔵文化財技術者養成

〔職員研修〕

職員の技術的・行政的向上を目的に、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センターが実施する埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修を随時受講させている。

内　　容	期　　間	受 講 者
埋蔵文化財発掘技術者専門研修『報告書作成課程』 埋蔵文化財発掘技術者専門研修『歴史遺産活用課程』	平成 14 年 1 月 16 日～1 月 25 日 平成 14 年 3 月 5 日～3 月 7 日	小濱　学 森川　幸雄

〔埋蔵文化財発掘技術者研修（教員研修）〕

昭和 42 年度以来、県下の学校教員を対象として、埋蔵文化財の発掘調査等についての専門的知識と技術の習得を目的とする研修事業を実施している。平成 13 年度は次の 4 名が県埋蔵文化財センター及び県内発掘調査現場において研修を行った。昭和 54 年度から平成 12 年度までに 83 名が研修を終了した。

平成 13 年度研修員

伊藤直孝(四日市市立神前小学校)　新庄孝敏(県立四日市農芸高等学校)　山崎 博史(名張市立北中学校)
松見直茂(県立四日市農芸高等学校)

平成 13 年度研修内容

月	研　　修　　内　　容
4	研修ガイダンス、室内講義Ⅰ・Ⅱ、基本実習「遺物実測・拓本」、分布調査実習
5	発掘調査実習（中鳶遺跡）、基本実習「測量機材の扱い」
6	発掘調査実習（中鳶遺跡）、基本実習「撮影機材の扱い」
7	発掘調査実習（川島遺跡）、室内講義Ⅲ
8	発掘調査実習（堀田遺跡・高ノ御前遺跡）、室内講義Ⅲ
9	発掘調査実習（堀田遺跡・小谷Ａ遺跡）、室内講義Ⅲ
10	発掘調査実習（堀田遺跡・小谷Ａ遺跡）、室内講義Ⅲ
11	発掘調査実習（琵琶垣内遺跡・田面遺跡）、室内講義Ⅲ
12	発掘調査実習（八重垣神社遺跡・国分東遺跡）、室内講義Ⅲ
1	発掘調査実習（八重垣神社遺跡）、試掘調査実習、報告書作成実習「遺物整理」「遺構図整理」
2	報告書作成実習「表記・記述」
3	報告書作成実習「編集」

室内講義内容

月 日	内　　容	担 当 者
4 月 2 日	ガイダンス	山田 猛
4 月 3 日	埋蔵文化財の保護	山澤 義貴
	埋蔵文化財センターの役割	倉田 直純
4 月 4 日	最近の発掘調査から	本堂 弘之
	遺跡の発見から本調査まで	筒井 正明
4 月 5 日	第一次遺物整理	船越 重伸
4 月 6 日	第二次遺物整理	船越 重伸
4 月 9 日	時代概論－旧石器・縄文時代	小濱　学
4 月 10 日	時代概論－弥生時代	穂積 裕昌
4 月 11 日	時代概論－古墳時代	服部 芳人
4 月 12 日	時代概論－古代	角正 芳浩
4 月 13 日	時代概論－中世	木野本 和之
7 月 31 日	遺物各論①「旧石器」	小濱　学
	「縄文土器」	森川 幸雄
8 月 31 日	遺物各論②「弥生土器」	原田 恵理子
	「木製品」	穂積 裕昌
9 月 28 日	遺物各論③「古墳時代の須恵器」	水谷 豊
	「古墳時代の土師器」	新名 強
10 月 31 日	遺物各論④「古代の土器」	角正 芳浩
	「古代の瓦」	大川 操
11 月 30 日	遺物各論⑤「中世の陶器」	木野本 和之
	「中世の土師器」	竹田 憲治
12 月 27 日	遺物各論⑥「金属製品」	川畑 由紀子

〔埋蔵文化財発掘技術市町村職員研修〕

市町村教育委員会の職員を対象として埋蔵文化財発掘技術を研修し、文化財保護行政に資するための研修を実施している。平成１３年度は次の２件を実施した。

所属・氏名	種　別	内　　容	期　　間
田尻　佳之 (北勢町教育委員会)	講座 Ⅲ	発掘調査資料の整理や保管の実習	平成 13 年４月２日～６月１日
前田　義孝 (阿児町教育委員会)	講座 Ⅱ	発掘調査の立案と実習 遺構の実測と写真撮影実習	平成 13 年８月 20 日～10 月 19 日

３　埋蔵文化財保護等に関する支援・協力

〔埋蔵文化財行政基礎講座〕

地方分権一括法が平成１２年４月から施行されたことを受け、別添「実施要項」に基づき、平成１２年度から市町村の埋蔵文化財保護行政の担当職員を対象として実施している。平成１３年度は３５市町村の参加を得た。

会場　斎宮歴史博物館講堂

月　　日	内　　容	講　　師
５月 28 日	講演「地域をつくる文化財」 見学（埋蔵文化財センターと斎宮歴史博物館）	大竹 幸恵（長野県） 船越 重伸（ｾﾝﾀｰ職員）
５月 29 日	講座Ⅰ「埋蔵文化財保護行政の心得」 講座Ⅱ「埋蔵文化財保護行政に係る諸法規と補助制度」 講座Ⅲ「埋蔵文化財保護行政に係る県と市町村との役割分担」 講座Ⅳ「埋蔵文化財保護に係る調整協議と遺跡台帳等」 講座Ⅴ「民間調査機関と発掘調査体制」 見学（いつきのみや歴史体験館）	倉田 直純（ｾﾝﾀｰ職員） 河北 秀実（ｾﾝﾀｰ職員） 山田　猛（ｾﾝﾀｰ職員） 野原 宏司（ｾﾝﾀｰ職員） 森川 幸雄（ｾﾝﾀｰ職員） 山田　猛（ｾﾝﾀｰ職員）

≪三重県埋蔵文化財行政基礎講座実施要項≫

１　目的

この要項は、各市町村において埋蔵文化財保護行政を担当する者に対して、その事務手続きに関する講座（以下「講座」という）を開催するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

２　講座の主催者

三重県埋蔵文化財センター

３　講座の場所

三重県埋蔵文化財センター

４　講座の対象

講座の対象者（以下「受講者」という）は、市町村において埋蔵文化財保護行政を担当する職員

５　講座の内容

・関連法令や通知、補助制度等の概要
・調整協議の流れと各種書類の作成
・遺跡台帳の整備

６　実施時期・期間

実施時期　原則的に４・５月
実施期間　２日間

７　講座に要する費用

(1)　受講者の旅費は、受講者派遣機関において負担するものとする。
(2)　講座に必要な資料等の経費について、受講者派遣機関に実費負担を求めることができる。

８　その他

前各項に定めるもののほか、講座の実施について必要な事項は、三重県埋蔵文化財センター所長が別途定める。

（附則）

この要項は、平成１２年７月３日から実施する。

三重県埋蔵文化財センター

〔個別問題の市町村支援・協力〕

埋蔵文化財センターは、市町村教育委員会からの依頼に応じ、市町村教育委員会が調整する埋蔵文化財保護に関する各種の問題に関してその調整や作業及び会議等に参加し、支援・協力している。平成１３年度は下記の事案に対応した。

依 頼 者	内　　容	期　　日
飯南町教育委員会	磯田畑遺跡出土遺物の整理に関する支援	4月 11 日 ～ 3月 29 日
関町教育委員会	関町内新発見遺跡の取扱いに関する助言	4月 19 日
芸濃町教育委員会	芸濃町遺跡詳細分布調査に関する遺跡範囲確定協議	4月 25 日
大山田村教育委員会	「鳳凰寺の出土品」保存状況調査	5月 7 日
玉城町教育委員会	田丸城跡遊歩道整備にかかる助言	5月 10 日 ・ 6月５日
飯高町教育委員会	岸本遺跡の取扱いに関する協議	5月 16 日
大安町教育委員会	宮山遺跡試掘調査支援	6月 4 日
朝日町教育委員会	町内近世窯跡の発掘調査報告に関する助言	6月 12 日
大山田村教育委員会	「鳳凰寺の出土品」保存処理に関する支援	6月 19 日 ～ 3月 29 日
久居市教育委員会	第１回上野遺跡発掘調査検討委員会に出席	6月 22 日
飯南町教育委員会	粥見井尻遺跡整備審議委員会に出席	6月 25 日 ・ 7月 25 日
玉城町教育委員会	田丸城跡発掘調査にかかる図面校正支援	6月 27 日 ・ 7月 5日
上野市教育委員会	史跡上野城跡発掘調査にかかる支援	7月 2 日
河芸町教育委員会	徳居第 37 号窯の保存協議	7月 3 日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡発掘調査支援	7月 9 日
玉城町教育委員会	田丸城跡グラウンド整備に伴う試掘調査支援	7月 23 日 ～ 7月 24 日
菰野町教育委員会	菰野城跡発掘調査に伴う整理作業支援	8月 1 日 ～
松阪市教育委員会	松阪市文化財資料館建設指導委員会に出席	8月 2 日
勢和村教育委員会	片野殿垣内遺跡出土縄文土器復元支援	8月 10 日 ～ 8月 30 日
多気町教育委員会	多気町内遺跡工事立会い調査支援	8月 23 日 ・10月 1日
上野市教育委員会	史跡上野城跡発掘調査・保存整備指導委員会に出席	8月 29 日
宮川村教育委員会	湯後遺跡発掘調査支援	9月 17 日
鈴鹿市教育委員会	伊勢国分寺跡発掘調査指導委員会に出席	9月 26 日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡測量作業に関する現地協議	10月 1 日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡発掘調査支援	10月 30 日
松阪市教育委員会	史跡宝塚古墳保存整備指導委員会に出席	11月 19 日
久居市教育委員会	上野遺跡範囲確認調査に関する協議	12月 3 日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡整備指導委員会に出席	12月 10 日
鈴鹿市教育委員会	長者屋敷遺跡発掘調査指導委員会に出席	1月 8 日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡石垣図面現地校正	1月 15 日 ～ 1月 17 日
玉城町教育委員会	田丸城跡遊歩道整備事業に伴う試掘調査支援	1月 21 日
美杉村教育委員会	北畠氏遺跡「六田館跡」発掘調査支援	2月 7 日
鳥羽市教育委員会	天神山古墳及び井の谷経塚の取扱いに関する現地協議	2月 13 日
朝日町教育委員会	朝日町内遺跡詳細分布調査にかかる遺跡範囲確定協議	2月 20 日
美杉村教育委員会	北畠氏遺跡の保護・活用構想に関する協議	2月 21 日
美杉村教育委員会	北畠氏遺跡発掘調査指導委員会	3月 4 日
玉城町教育委員会	田丸城跡遊歩道整備に伴う発掘調査支援	3月 19 日
久居市教育委員会	上野遺跡発掘調査指導委員会に出席	3月 20 日
朝日町教育委員会	第２回朝日町内遺跡詳細分布調査にかかる遺跡範囲確定協議	3月 22 日
玉城町教育委員会	田丸城跡整備検討委員会に出席	3月 22 日
安濃町教育委員会	安濃町内遺跡詳細分布調査にかかる遺跡範囲確定協議	3月 26 日

〔教職員研修実施要項〕

平成 14 年度　埋蔵文化財教職員研修実施要項

1　目的

三重県の公立学校の教職員において、埋蔵文化財の発掘調査及び保存についての専門的知識と技術の習得に務めようとする者を対象として、三重県埋蔵文化財センターにおいて研修を実施することにより、埋蔵文化財保護行政の強化に資することを目的とする。

2　主催

三重県教育委員会

3　担当

三重県埋蔵文化財センター

4　期間

平成１４年４月１日～平成１５年３月３１日

5　場所

・三重県埋蔵文化財センター　　多気郡明和町竹川５０３

・県内各発掘調査現場等

6　人員

４名程

7　参加資格

①県内の公立の小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校の教職員の内で、原則として大学において考古学・歴史学を専攻、もしくは発掘調査の経験のある者

②健康で現場作業に従事できる者で、原則として昭和４２年４月以降生まれである者

8　研修内容

①講義

総論　・文化財の保護

各論　・文化財保護法

・史跡及び埋蔵文化財保護の現状

・発掘調査方法

調査計画、集落・墳墓・生産所・窯・宮殿・官衙・寺院跡の調査

・遺物調査方法

実測原理、土器・土製品・石器・木製品・瓦の観察と整理

人骨・動植物遺体の調査

・関係学概説

建築構造、測量、保存科学、文献史学

・報告書作成方法等

②　実習

・ 発掘調査実習、測量実習、遺構実測実習、写真撮影実習、遺物保存処理実習

9　講師

三重県埋蔵文化財センター職員ほか

10　その他

①研修者の出張旅費は、県の旅費規定にしたがって支給する

②研修期間中は、当該学校に対して常勤講師の補充がなされる予定である

③研修を終了した者は、修了証書を交付する

平成１４年度　埋蔵文化財教職員研修　年間計画表

三重県埋蔵文化財センター

内容 ＼ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内講義Ⅰ	文化財の保護行政												
室内講義Ⅱ	埋文調査の基礎知識												
基本実習	遺物実測・拓本・復元 測量機材の扱い 撮影機材の扱い												
発掘調査実習	地区設定・掘削・遺構検出・遺構撮影・測量・現地説明会等												
分布調査実習	踏査・結果報告書作成等												
試掘調査実習	地区設定・掘削・記録作成・結果報告書作成等												
室内講義Ⅲ	遺物各論												
報告書作成実習	遺物整理法（実習） 遺構図整理法（実習） 記述原理 報告書編集法（実習）												
研　修　場　所		センターほか	県下各発掘調査現場・センターほか								センターほか		

〔市町村職員研修実施要項〕

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修実施要項

１　目的

この要項は、各市町村において文化財保護行政を担当する者に対して、埋蔵文化財の保護実務と調査に関する知識や技術について研修（以下「研修」という）をおこなうにつき、必要な事項を定めるものとする。

２　研修の主体

三重県埋蔵文化財センター

３　研修の場所

三重県埋蔵文化財センター及び県内各地の埋蔵文化財発掘調査現場等

４　研修の対象

研修の対象者（以下「研修員」という）は、市町村教育委員会文化財保護行政担当職員

５　研修員の決定

(1) 市町村教育委員会教育長は、職員に研修を受けさせようとするときは、別紙様式の「研修希望調書」を三重県埋蔵文化財センター所長（以下「所長」という）に提出するものとする。

(2) 所長は、「研修希望調書」を受けた場合、その受け入れの可否を定め、研修を希望する市町村教育長に通知するものとする。

６　研修の内容

研修の内容は、別表「研修内容」のとおりとする。

７　実施時期

実施時期（各講座の履修方法）は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する（別表[受講例]参照）。

８　修了者

所長は、研修員が全研修課程を修了したと認める時は、修了証書を交付する。

９　研修に要する費用

(1)　研修員の旅費は、研修員派遣機関において負担するものとする。

(2)　所長は、研修に必要な資料等の経費について、研修員派遣機関に実費負担を求めることができる。

10　その他

前各項に定めるもののほか、研修の実施について必要な事項は、所長が別に定める。

(附則)

この要項は、平成１２年７月３日から実施する。

（別　表）

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修　研修内容

講　座　名	期　　間	研　　修　　内　　容
講　座　Ⅰ	1　ヶ　月　間	・関連法令等の概要 ・分布調査 ・試掘調査 ・遺跡台帳の整備等
講　座　Ⅱ	2　ヶ　月　間	・本調査の立案と準備 ・遺構の実測や写真撮影等、本調査の現場作業
講　座　Ⅲ	2　ヶ　月　間	・発掘調査資料の整理や保管の実習 遺構図面や写真等の整理 出土遺物の整理 遺物実測等
講　座　Ⅳ	2　ヶ　月　間	・報告書作成に関する実習 遺物写真撮影 遺構や遺物の図版作成 原稿執筆 レイアウト等

［註］

①　講座Ⅰについては、講座修了者と同等の知識と技術を有すると所長が認める者については省略することができる。

②　各講座の取得方法及び実施時期は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する。

【参　考】

受講例

．月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
例１			Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ								
例２		Ⅰ			Ⅲ				Ⅱ						Ⅳ		

（別紙様式）

○○○第○○○号

平成○年○月○日

三重県埋蔵文化財センター所長　様

○○市町村教育委員会教育長　印

研　修　希　望　調　書

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修を次のとおり希望します。

<table>
<tr><td colspan="2">希望する講座名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">研修希望期間</td><td colspan="3">年　月　日から　　年　月　日まで</td></tr>
<tr><td rowspan="5">研修希望職員</td><td>ふりがな
職氏名</td><td></td><td>性別</td><td>男・女</td></tr>
<tr><td>生年月日（年齢）</td><td colspan="3">（　　歳）</td></tr>
<tr><td>現職年数</td><td colspan="3">年（　　年　　月以来）</td></tr>
<tr><td>最終学歴</td><td colspan="3">学校名（　　学部　　学科）</td></tr>
<tr><td>発掘調査経験
（参加遺跡）</td><td colspan="3">有　　無
（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他希望事項</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

Ⅳ　資料の整理・保管・公開

１　資料の整理・保管

平成 13 年度の各事業別出土品量の概数は下表のとおりであり、その整理は埋蔵文化財センター及び受託事業現場整理所等で行っている。出土品の保管については、原則として再検討・貸出等利用頻度の高いものを埋蔵文化財センター内の収蔵庫に、その他のものは各地収蔵庫に保管している。

一方、実測図面・写真フィルム類についても出土品と同様に整理し収蔵庫１に保管している。また、受贈図書は、１，５８１冊あり、図書室及び埋蔵文化財センター内の図書棚に分類保管して職員の利用に供している。

〔平成 13 年度出土品量（概数）〕

事業名		今年度出土量
県事業関係		１，１３３
受託事業関係	東海環状建設関係	１２
	中勢道路建設関係	２２６
	第二名神建設関係	１
	近道紀勢線建設関係	７
	宮川用水建設関係	４８
埋蔵文化財センター分　計		１，４２７
斎宮歴史博物館分		２４５
合計		１，６７２

＊　数量は、平成 13 年度末時点の量をコンテナバット(55 ㎝×35 ㎝×15 ㎝)に収納した場合の箱数である。

＊　平成 13 年度出土分は、正式収蔵時に再整理するため、その時点で箱数が変動する。

＊　出土品保管量については、収蔵庫移転にむけて再整理を実施したことにより、前年度数量より減少している。

〔出土品保管状況（概数）〕

施設名		出土品保管量
各地収蔵庫	桜橋収蔵庫	１８，０００
	藤方収蔵庫	３，８００
	上野収蔵庫	３，３１０
	高茶屋収蔵庫	５，１００
受託現場整理所（一時保管）	第二名神整理所	１，４２３
	朝明倉庫	９６２
	中勢道路整理所	３，５００
	玉城整理所	３４７
埋蔵文化財センター内	収蔵庫１	２１１
	収蔵庫２	３，４１８
	仮設収蔵庫	３，２８９
埋蔵文化財センター分　計		４３，３６０
斎宮歴史博物館	収蔵庫２	１２，１８３
合計		５５，５４３

２　科学的保存処理

埋蔵文化財センターには、出土品の保存処理を実施するため保存科学室１（木製品保存処理）にＰＥＧ樹脂含浸装置２基、保存科学室２（金属製品保存処理）に減圧樹脂含浸装置１基ほかが設置されている。また、中勢道路整理所にもＰＥＧ含浸装置１基が設置されている。

専任の担当職員は配置されていないが、保存処理技術を研修した職員等が保存処理にあたっている。

３　資料の公開

〔現地説明会〕

発掘調査の途中あるいは終了時に、県民の文化財保護への理解を深めるため現地説明会を開催し、その調査結果について報告を行っている。当埋蔵文化財センターが調査主体となった発掘調査の現地説明会は次表の通りである。

〔現地説明会一覧〕

遺跡名	所在地	担当課	開催日	参加人数
城ノ広遺跡	三重郡朝日町柿	調査第一課	H13．５．19	(朝日町主催)
筋違遺跡	嬉野町新屋庄	調査第二課	H13．８．11	80 名
粟生城跡	多気郡大台町粟生	調査第二課	H13．10．14	160 名
小牧北遺跡	四日市市小牧町	調査第一課	H13．12．９	160 名
高ノ御前遺跡	伊勢市有滝町	調査第一課	H13．12．16	155 名
合計		５遺跡　５件		555 名

〔出版物の刊行〕

発掘調査報告書・発掘調査概報・埋蔵文化財展パンフレットのほかに『平成 12 年度三重県埋蔵文化財年報』『三重県埋蔵文化財センター研究紀要 11』『三重県埋文センター通信みえ』№32・33 等を刊行し、関係機関等へ配布している。

〔三重県庁舎内県民ホール・県民局での常設展示〕

県内各地の発掘調査で出土した出土品をより広く県民に公開する目的で、三重県庁の県民ホールと松阪・上野両県民局で常設展示している。県民ホールでは平成 10 年度から、両県民局では、平成 13 年度から実施した。展示内容は地域性・話題性のあるものを選び年３～４回更新している。今年度は、県民ホールでは道瀬遺跡(紀伊長島町：～６月)･高茶屋大垣内遺跡(津市：６～10 月)･安濃津(津市：10～12 月)･斎宮 1/10 模型(12～２月)･窪田大垣内遺跡(津市：２月～)の出土遺物等を、松阪県民局では瀬干遺跡(松阪市：９～１月)･鴻ノ木遺跡(松阪市：２月～)の出土遺物を、上野県民局では城之越遺跡(上野市：９～１月)･火山遺跡(上野市：２月～)の出土遺物を展示した。

〔三重県埋蔵文化財展〕

三重県埋蔵文化財展は、昭和 56 年から三重県教育委員会が主催して、各市町村を会場に毎年実施してきた。平成元年度からは三重県埋蔵文化財センターが主催し、三重県が実施した発掘調査の成果および市町村主体の発掘調査の成果を展示して広く県民に公開し、生涯教育の一環として埋蔵文化財保護思想の普及公開に努めている。平成 13 年度は、８月４日～９月２日の 30 日間、嬉野町ふるさと会館において、平成 13 年度三重県埋蔵文化財発掘調査成果速報展として開催した。入場者数は 537 人であった。

また、同展の一環として８月５日に講演会とスライド上映会を行った。

平成 13 年度「三重県埋蔵文化財発掘調査成果速報展～ご先祖さまからの贈り物～」開催要項

1　目　　的　三重県および市町村が実施した発掘調査成果を展示して広く県民に公開し、生涯学習の一環として埋蔵文化財保護思想の普及公開を図る。

2　趣　　旨　近年に県下で実施された発掘調査成果のうち主なものについてパネルなどを併用して遺物の展示を行なう。展示は２部構成とし、一志郡内の成果とその他の県下での成果に分けて行なう。

3　主　　催　三重県埋蔵文化財センター

4　共　　催　嬉野町教育委員会

5　会　　場　嬉野町ふるさと会館　２Ｆ　嬉野町歴史資料館
三重県一志郡嬉野町大字権現前４２３－８８　　TEL 0598-42-7000

6　開催期間　平成 13 年 8 月 4 日(土)～平成 13 年 9 月 2 日(日)

7　開館時間　9：30～16：30

8　休 館 日　月曜日・第２火曜日

9　入 館 料　無料

10　展示資料　別紙一覧表参照

11　講 演 会　講師　三重大学　人文学部　教授　山中　章
演題　古代一志郡と上野遺跡
日時　平成 13 年８月５日（日）　１４：００～１５：００
場所　嬉野町ふるさと資料館　多目的ホール

12 スライド上映会
①講師　嬉野町教育委員会　学芸員　和氣清章
演題　片部遺跡・貝蔵遺跡の調査から
②講師　三重県埋蔵文化財センター　調査第一課　技師　大川　操
同　調査第二課　主査　木野本和之
演題　天花寺丘陵の調査
③講師　三重県埋蔵文化財センター　調査第二課　技師　川畑由紀子
演題　舞出北遺跡の調査
日時　平成 13 年８月５日（日）　１５：００～１６：００
場所　嬉野町ふるさと会館　多目的ホール

13　そ の 他　展示会の案内および主要な展示物をホームページ内で公開する。

展示資料一覧

遺跡名	所在地	資料名	管理者
城ノ広遺跡	朝日町	須恵器	三重県埋蔵文化財センター
辻子遺跡	朝日町	墨書木札	三重県埋蔵文化財センター
菟上遺跡	四日市市	磨製石斧、耳環、青磁椀	三重県埋蔵文化財センター
伊坂遺跡	四日市市	小動物の骨、亀の甲羅	三重県埋蔵文化財センター
河田宮ノ北遺跡	鈴鹿市	須恵器(杯身・杯蓋・有蓋高杯・鈴付高杯)、土師器(高杯・壺・大型壺・小型鉢)、有孔円盤、石製紡錘車	三重県埋蔵文化財センター
里前遺跡	津市	山茶椀(墨書土器)	三重県埋蔵文化財センター
雲出島貫遺跡	津市	漆塗小箱、鏡、青磁椀、白磁椀、小刀、木製品(笹塔婆・鏃形・杓子・鞘形・小刀形・発火具・不明品)	三重県埋蔵文化財センター
舞出北遺跡	三雲町	弥生土器(壺・台付壺・高杯・磨製石斧)、円筒埴輪、須恵器(杯・杯蓋)、土師器(杯・台付甕)、陶馬、円面硯、フイゴ羽口	三重県埋蔵文化財センター
前田町屋遺跡	三雲町	弥生土器(壺・甕・蓋)、土師器(二重口縁壺・壺・杯・皿)、志摩式製塩土器	三重県埋蔵文化財センター
小野江甚目古墳群	三雲町	須恵器(広口壺)、土師器(広口壺・台付甕)、円筒埴輪、馬形埴輪	三重県埋蔵文化財センター
小野江甚目遺跡	三雲町	土師器(直口壺)、有孔円盤	三重県埋蔵文化財センター
天花寺城跡 小谷赤坂遺跡 小谷古墳群	嬉野町	弥生土器、須恵器、土師器、玉、礫石経	三重県埋蔵文化財センター
天花寺北瀬古遺跡	嬉野町	土師器(壺・広口壺・台付甕・高杯)	三重県埋蔵文化財センター
堀田遺跡	嬉野町	朝顔形埴輪、木製品(弓・大型槽・小型槽・櫂・鋤柄)	三重県埋蔵文化財センター
下沖遺跡	嬉野町	土偶	嬉野町教育委員会
清水谷古墳群	嬉野町	円筒埴輪、朝顔形埴輪、馬形埴輪、家形埴輪	嬉野町教育委員会
片部・貝蔵遺跡	嬉野町	土師器(墨書土器)	嬉野町教育委員会
下之庄東方遺跡	嬉野町	銅くしろ	嬉野町教育委員会
六反田遺跡	嬉野町	猿形土製品	嬉野町教育委員会
黒田遺跡	嬉野町	土師器(墨書・刻書)	嬉野町教育委員会
小川城跡	嬉野町	分銅	嬉野町教育委員会
片野遺跡	一志町	土師器、把手付甕、把手付薬壺、甑、椀、杯、皿	一志町教育委員会
川口北方遺跡	白山町	黒色土器、転用硯、山茶椀、灰釉陶器、石匙	白山町教育委員会
コドノＢ遺跡	明和町	石鏃、石鏃未製品、尖頭器、尖頭未製品、スクレイパー、掻器、削器、石錐、礫器、打製石斧、敲石	三重県埋蔵文化財センター
東出遺跡	青山町	縄文土器	青山町教育委員会
花代Ａ遺跡	青山町	縄文土器、石器	青山町教育委員会
花代Ｂ遺跡	青山町	勾玉、剣形石製品、有孔円盤、臼玉	青山町教育委員会
羽根中島遺跡	青山町	ミニチュア土器、須恵器(耳付有蓋高杯・器台)、韓式系土器、勾玉(石製・土製)、紡錘車(石製・土製)、剣形石製品、土玉	三重県埋蔵文化財センター
丸山口水銀採掘坑跡群	勢和村	打割具	三重県埋蔵文化財センター

4　三重県埋蔵文化財センターホームページの開設

三重県埋蔵文化財センターの事業内容や、発掘調査、現地説明会の情報、収蔵品の紹介等をインターネットを介して多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する理解と文化財保護意識を高めるために、ホームページを作成し、平成 13 年４月１日から運用を開始した。１３年度中に約２，５００件のアクセスがあった。今後、利用状況をみながら内容をより充実させていく予定である。

〔ホームページの主な内容〕

○センターの紹介　主に内部のこと（役割・仕事、内容・組織、発掘、整理、保存、研修）
　　みなさんに直接関係すること（案内地図、施設紹介、普及・公開）

○発掘最前線（発掘情報、現地説明会、遺跡位置図）

○ご利用方法と手続き（資料の閲覧申請、資料の借用・掲載許可申請、遺跡・施設見学申請、発掘成果お届会）

○収蔵品ギャラリー

○お知らせ（現地説明会の案内、展示会等についての案内）

◆アドレス名　http://www.museum.pref.mie.jp/maibun

5　発掘成果お届け会

三重県埋蔵文化財センターが近年に行なった発掘調査の成果を公開し県下の埋蔵文化財への理解を深めるため、平成 13 年度から新たに始めた。地域や任意団体（原則として 20 名以上）から「申込書」を提出してもらい、決定後センター職員が出向いて講演などを行なった。テーマは希望団体とセンター職員と相談の上決めている。平成 13 年度は、初年度ということもあって対象を生涯学習活動に限って案内したが、学校も含め計９件実施した。

申　込　団　体	会　　場	テ　ー　マ	開　催　日	参加人数
三重郡教育研究所	菰野町農村センター	縄文との出会い	平成 13 年 8 月 10 日	20 人
亀山市立神辺小学校 (学校職員対象)	亀山市立神辺小学校	いにしえの神辺 ～遺跡から見た神辺小学校区～	平成 13 年 8 月 24 日	11 名
嬉野町立豊田小学校	嬉野町立豊田小学校	筋違遺跡の調査から	平成 13 年 9 月 6 日	55 名
県立緑ヶ丘養護学校 中学部	県立緑ヶ丘養護学校	発掘って何だろう	平成 13 年 11 月 14 日	36 名
嬉野町立豊地小学校	嬉野町立豊地小学校	文化遺産の大切さと私たちの生活	平成 13 年 11 月 28 日	43 名
宮川流域ルネッサンス 協議会	玉城町田丸城周辺	田丸城とその周辺の中世城館	平成 14 年 1 月 20 日	20 名
二見町教育委員会 二見寿大学	二見町公民館	埋蔵文化財とその保護	平成 14 年 1 月 31 日	30 名
宮川流域ルネッサンス 協議会	度会町中央公民館	宮川流域の中世城館をたずねて ～度会町の長原城跡～	平成 14 年 2 月 3 日	20 名
宮川流域ルネッサンス 協議会	大宮町文化会館	宮川流域の中世城館をたずねて ～大宮町の野後城址～	平成 14 年 3 月 3 日	20 名

6　施設見学・発掘調査現場見学

埋蔵文化財センターの施設見学についてはこれまでも希望により受け入れてきた。13 年度は斎宮歴史博物館のバックヤードツアー実施の際にセンターの仕事や施設についても説明する形も含め５件行なった。

発掘調査現場の見学や、受託整理所の見学についても状況により可能な限り実施してきている。

団　体　名	人数(内引率)	実　施　日	備　　考
センター施設見学			
多気町立相可小学校(６年)	43(2)人	平成 13 年 10 月 30 日	博物館バックヤードツアー時に実施
久居市立誠之小学校(６年)	90(5)人	平成 13 年 10 月 30 日	博物館バックヤードツアー時に実施
伊勢女子高等学校	36(3)人	平成 13 年 10 月 30 日	博物館バックヤードツアー時に実施
久居市立立成小学校(６年)	99(4)人	平成 13 年 11 月 2 日	博物館バックヤードツアー時に実施
鈴鹿工業高等専門学校	38(1)人	平成 14 年 1 月 30 日	
発掘調査現場見学			
嬉野町立豊田小学校(６年)	26(2)人	平成 13 年 6 月 8 日	筋違遺跡（嬉野町新屋庄）
嬉野町立豊田小学校(６年)	26(2)人	平成 13 年 7 月 2 日	筋違遺跡（嬉野町新屋庄）
大台町立川添小学校(１～３年)	26 人	平成 13 年 10 月 26 日	粟生城跡（大台町粟生）
整理所見学			
四日市市民大学あるこう会	40 人	平成 13 年 4 月 3 日	第二名神整理所
川越町立川越北小学校(６年)	58 人	平成 13 年 5 月 1 日	第二名神整理所
県立四日市商業高等学校地歴同好会	9 人	平成 13 年 6 月 4･5 日	第二名神整理所
員弁郡教育研究会社会科部会	15 人	平成 13 年 7 月 4 日	第二名神整理所

7　保管出土品等の貸出・写真等の掲載及び閲覧

資料名	申請者	目的	期間	許可日
北野遺跡土師器焼成坑出土品	望月精司	個人研究のための閲覧	4/8	4/8
河田宮ノ北遺跡木器	山田昌久・佐々木由香・村上由美子	資料見学	4/10	4/10
北野遺跡土師器焼成坑出土の焼成粘土塊実測図	望月精司	「古代土師器焼成遺構から出土する焼成粘土塊」『窯跡研究』創刊号に掲載		4/25
橋垣内遺跡出土かせ他	三重県農林水産商工部農芸畜産振興課	「三重県における養蚕・機織関連遺物」『三重県蚕糸業史』掲載	4/20～4/30	4/20
センター図書検索閲覧	西脇智広	卒業論文作成	4/20	4/20
長瀬高浜遺跡報告書ほか	西脇智広	卒業論文作成のための閲覧	5/17	5/17
麻加江城跡報告書ほか	山本浩之	個人研究のための閲覧	5/25	5/25
石薬師東古墳群 63 号墳出土馬形埴輪写真他 1 点	春日井市広報広聴課	広報かすがい 6 月 15 号掲載		6/1
六大Ａ遺跡出土下駄	本村充保	資料集成のための閲覧・確認調査	6/8	6/8
徳居古窯跡群出土品	畑中英二	個人研究	6/9	6/9
六大Ａ遺跡土叩具・同報告書	大阪府立狭山池博物館	特別展のための事前調査	6/13	6/1
堀町遺跡出土緑釉陶器	余合昭彦	愛知県史作成のための閲覧	6/14	6/14
鴻ノ木遺跡竪穴住居写真など 4 点	鈴鹿市教育委員会	企画展「鍋の一万年－煮炊きの歴史」の図録･ポスター･チラシ等掲載	6/15～ 7/30	6/1
粥見井尻遺跡縄文土器片など 46 点	鈴鹿市教育委員会	企画展「鍋の一万年－煮炊きの歴史」展示、図録掲載	6/15～9/30	6/1
納所遺跡ほか出土土器	脇田真也	個人研究のための閲覧	6/19	6/14
堀田遺跡・深長古墳他出土埴輪・壺形土器	廣瀬覚	博士論文作成のための閲覧・調査研究	6/19	6/14
宮山遺跡石器・製作用具	櫻井拓馬	卒業論文作成のための閲覧	6/19	6/14
高茶屋大垣内遺跡他遺物	村木誠・早野浩二	個人研究のための閲覧	6/24	6/15
河田宮ノ北遺跡･堀田遺跡･北野遺跡出土畿内系土師器 11 点	(財)愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター	胎土分析のための借用	6/29	6/27
和気遺跡・赤堀城跡	三品典生	シンポジウム資料のための閲覧	6/29	6/29
収蔵遺物	美濃加茂市民ミュージアム	企画展「文字の登場、そして広まり」のための閲覧	7/13	7/13
天白遺跡水銀朱･ベンガラ付着遺物など	市毛　勲	辰砂の研究のための閲覧	7/27	7/26
雲出島貫遺跡出土品	上野遺跡調査団	類例調査のための閲覧	7/30	7/27
徳居古窯跡群資料	浅生卓司	個人研究	6/9	6/8
伊坂城跡写真など	㈱ジャパン通信社	「文化財発掘出土情報」８月号掲載	7/5～8/15	7/2
鴻ノ木遺跡煙道付き炉穴写真	ＮＨＫ日本人プロジェクト	「ＮＨＫスペシャル“日本人はるかな旅」番組内及び関連書籍に掲載	7/5～8/31	7/2
門脇北古墳出土家形埴輪 西岡古墳出土鉄製品	津市埋蔵文化財センター	埋文センターニュース第 14 号掲載のための資料閲覧、借用・撮影掲載許可	7/11～7/31	7/10
六大Ｂ遺跡Ａ地区調査区遠景写真	津市教育委員会	リーフレット「歴史街道散策マップ～伊勢別街道～」掲載許可		7/18
辻子遺跡出土木簡 2 点の実測図・写真	田中久生	『木簡研究』第 23 号掲載	7/19～11/	7/18
鴻ノ木遺跡遺構実測図・調査スライド	田村陽一	関西縄文文化研究会の事前研究のため閲覧	7/30	7/27
六大Ａ遺跡出土　土叩具 六大Ａ遺跡大溝全景写真	大阪府富田林土木事務所	開館記念特別展「発掘された古代の土木技術」展示、図録など掲載	8/2～12/14	7/19
石薬師東古墳群 28 号墳出土　巫女埴輪	斎宮歴史博物館	「博物館のちっちゃな展示・夏休みバージョン」展示	8/3～9/4	8/1
津賀 2 号墳出土鉄製品・鉄滓　計９点	鈴鹿工業高等専門学校	蛍光Ｘ線分析（研究紀要掲載）	8/13～12/28	8/10
鴻ノ木遺跡調査スライド	田村陽一	関西縄文文化研究会での事例紹介	8/20～11/30	8/16
一の谷 A 遺跡など写真 26 点	多度町教育委員会	『多度町史』資料編１掲載	8/31～9/28	8/29
西ヶ広遺跡出土土器など９点・写真１点	美濃加茂市民ミュージアム	企画展「文字の登場、そして広まり」展示、図録掲載	9/5～11/9	8/16
粥見井尻遺跡ほか出土縄文土器など 66 点・写真 15 点	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	特別展「縄文文化の起源を探る」展示・パネル作成・図録掲載	9/10～12/7 (写真は 8/1～10/19)	8/1
金塚横穴墓群ほか出土耳環・ガラス玉・空玉など	鈴鹿市考古博物館	特別展「耳飾り－古くて新しい身体加工」に展示	9/17～12/15	9/5
粥見井尻遺跡土偶写真	（株）マルチクリエイト	「ハイベスト中学日本歴史」掲載	9/14～10/13	9/14

資料名	申請者	目的	期間	許可日
舞出北遺跡土層断面図	青木哲哉	『三雲町史』執筆	9/14～10/14	9/14
金塚横穴墓 SX13 人骨出土状況写真パネル	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市考古博物館特別展「耳飾り－古くて新しい身体加工」展示	9/17～12/15	9/18
観音沖遺跡など出土瓦	清水政宏	報告書作成のための類例調査	9/21	9/20
椋本南方遺跡出土遺物	皇學館大學考古学研究会	大学祭展示準備のための閲覧	9/21	9/21
粥見井尻遺跡ほか出土縄文土器・石器	矢野健一	縄文草創期土器・石器の研究のための閲覧	9/25	9/21
石薬師東古墳群馬形埴輪	（株）講談社	『再現日本史』に掲載	10/2～10/19	10/2
宮ノ前遺跡ほか現説資料出土木製品デジタルデータ	（株）ジャパン通信情報センター	『文化財発掘出土情報』2001 年 11 月号「各地の動向」に掲載	10/2～10/15	10/2
滋賀県遺跡地図など６冊	山田智真	修士論文作成のため閲覧	10/5	10/5
雲出島貫遺跡出土遺物	山田隆一	報告書作成のため遺物閲覧	10/12	10/12
多気遺跡群出土品３３点 同　写真　２９点	美杉村教育委員会	美杉故郷資料館企画展展示	10/16～11/21	10/15
多気遺跡群発掘調査写真９点	伊藤裕偉	「多気北畠氏遺跡シンポジウム」資料集掲載		10/2
高向遺跡遺物写真３点	御薗村役場企画室	『御薗村政要覧』に掲載	10/22～11/16	10/22
納所遺跡ほか出土木製品１０点、写真パネル１点	上野市教育委員会	企画展「米作りの今と昔－農耕具の歴史を振り返って」に展示	10/30～12/27	10/30
展示ケース４点	生活文化課長	「俳句のくにづくり」展示会に使用	10/31～11/13	10/15
大石遺跡ほか出土遺物１５点、展示台１点	渡辺　寛	大学祭企画展「中之川と安濃川流域の遺跡の比較」に展示	10/31～11/7	10/23
城之越遺跡遺構写真３点	（株）至文堂	『日本の美術　発掘された庭園』掲載	11/1～11/30	11/1
石薬師東古墳群埴輪４点	久居市立立成小学校	歴史学習として閲覧	11/2	11/2
大足２号墳・深長古墳出土品２点	松阪市文化財センター	「はにわ展－松阪市内のいろいろなはにわ」に展示	11/6～11/21	11/1
粥見井尻遺跡土偶写真	日本放送出版協会	『ＮＨＫスペシャル“日本人はるかな旅”③森が育てた森の王国』掲載		11/5
下之庄東方遺跡出土銅鐸舌状石製品写真	新田　剛	『博望』発表論文に掲載		11/12
下之庄東方遺跡出土銅鐸舌状石製品	新田　剛	個人研究のための資料閲覧	11/9	11/12
城之越遺跡など木製品	扇崎　由	古墳時代指物の技術研究	11/19	11/19
堂ノ後遺跡出土紡錘車写真２点	三重県蚕糸業史編纂委員会	第 25 回蚕糸研究会の発表資料に掲載	11/21～11/28	11/12
納所遺跡など弥生土器	岡安雅彦	土器焼成技法の研究のための閲覧	11/26	11/26
井田川茶臼山古墳出土馬具４点	(財)元興寺文化財研究所尼子**藤田**奈美枝	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究による調査	11/26	11/12
北野遺跡・島貫遺跡出土遺物	(財)かながわ考古学財団	陶磁器類に関連する資料調査の閲覧	11/28	10/31
天白遺跡など出土品	柴崎晶子	論文作成	11/29	11/29
書籍(報告書など)	長野宜延	論文作成	11/29	11/29
展示ケース２点	津市埋蔵文化財センター	普及啓発活動の展示に使用	13.12/1～14.11/30	10/19
センター写場・機材一式	三雲町教育委員会	出土遺物写真撮影のための施設使用	12/３～12/4	11/19
城之越遺跡出土遺物写真	三朋舎企画株式会社	『日本の庭を愉しむ』に掲載	12/4～12/21	12/4
舞出北遺跡遺跡全景など写真３点	国土交通省三重工事事務所	『国土交通省三重工事事務所　70 周年記念誌に掲載		12/14
河田宮ノ北遺跡ほか出土須恵器２５点	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市考古博物館企画展「三重のおかしな須恵器」に展示、図録等掲載	12/20～3/20	11/6
ヲノ坪窯跡須恵器	花園大大学院生	個人研究	12/26	12/26
〃	菅原雄一	〃	〃	〃
展示ケース(10/19 付け)	津市埋蔵文化財センター	借用物品使用状況報告		1/9
櫛田川図面	阪井宣行	整備方針(治水計画)資料	1/10	1/10
西ヶ広遺跡出土品	清水政宏	報告書作成のための資料閲覧	1/11	1/11
納所遺跡･弐ノ坪遺跡など遺構･遺物写真６点	津市教育委員会	「津市の遺跡シリーズ②　津市の弥生時代」に掲載	1/15～2/14	1/10
小谷赤坂古墳遺物取り上げ作業風景写真１点	(財)元興寺文化財研究所	同研究所のホームページに掲載		1/10
河田宮ノ北遺跡遺物実測図１点	清水政宏	『三重県史研究』第 17 号に掲載		1/21

資料名	申請者	目的	期間	許可日
城ノ越遺跡出土遺物 16点・写真8点	㈱セレブロ	ビデオ「映像考古学」作成のためのビデオ・写真撮影、掲載	1/28～3/29 (撮影 1/28)	1/28
森山東遺跡水田跡写真 1点	津市教育委員会	「津市の遺跡シリーズ② 津市の弥生時代」に掲載	1/30～2/28	1/28
天白遺跡土偶写真	日本放送出版協会	『ＮＨＫスペシャル“日本人はるかな旅”⑤』に掲載		1/29
殿畑遺跡・天神遺跡など出土品 23点	阿児町立国府小学校	総合学習『地域の歴史を学ぶ』に使用	2/1～2/12	1/29
粥見井尻遺跡出土品 21点	飯南町教育委員会	史跡整備に伴うレプリカ作成	2/5～3/31	2/5
帝国陸軍陸地測量部作成の地形図	笠井賢治	調査研究	2/12	2/12
猪田遺跡調査概報	石神教親	多度町史編纂のため閲覧	2/12	2/12
納所遺跡など木製品	飯塚武司	個人研究	2/15	2/15
宮ノ前遺跡ほか写真	鈴鹿市教育委員会	速報展用写真資料調査のための閲覧	2/22	2/22
書籍(報告書)	石神教親	多度町史編纂のための閲覧	2/22	2/22
天王平遺跡調査遠景・遺構写真6点	多度町教育委員会	『多度町史資料編 1 考古・古代・中世』に掲載	2/22～3/22	2/22
森山東遺跡・太田遺跡・ほか出土品写真 11点	津市埋蔵文化財センター	「埋文センターニュース」第 15 号掲載のため借用・掲載許可	2/25～3/29	2/25
堀ノ内遺跡出土遺物	山梨県教育庁県史編さん室	『山梨県史』通史編1編さんのための資料調査（閲覧）	2/28	1/28
舞出北遺跡ほか遺構・遺物写真7点	三雲町史編纂会	『三雲町史 通史編』掲載のため借用	3/1～3/29	3/1
菟上遺跡航空写真5点	国際航業（株）	パンフレット掲載のため借用	3/1～4/26	3/4
宮ノ前遺跡・八重垣神社遺跡遺構・遺物写真6点	鈴鹿市教育委員会	速報展「発掘された鈴鹿２００１」への展示、冊子・ポスターへの掲載	3/5～3/20	3/4
書籍(報告書)	笠井賢治	個人研究	3/7	3//7
赤外線機材一式	上野市教育委員会	法華経塔出土経石の文字判読	3/7	3/7
天白遺跡遺構図ほか	嬉野町教育委員会	史跡整備計画作成のための借用・複写	3/11～4/8	3/12
安濃津遺跡出土品	岡陽一郎	個人研究	3/15	3/7
書籍（年報）	石神教親	多度町史編纂のため閲覧	3/15	3/15
宮山遺跡石斧・金塚遺跡銅鐸片	松井一明	類例調査	3/18	3/15
城之越遺跡遺構写真3点	朝日新聞出版局	朝日百科「日本の歴史」①掲載	3/22～4/21	3/20
一般国道1号亀山バイパス発掘調査概報Ⅲ	(財)千葉県文化財センター	調査研究のため借用複写	3/25～5/17	3/25
中ノ庄遺跡ほか出土品	佐藤由紀男	論文作成のため閲覧	3/26	3/25

8　保管出土品等の長期貸出

資　料　名	申　請　書	目　的
山王遺跡出土遺物一括	桑名市教育委員会	市民への資料公開
落川原遺跡石帯1点	四日市市立博物館	四日市市立博物館で展示公開
丹生川上城跡出土白磁小壺等 14点	朝日町歴史博物館	朝日町歴史博物館で展示公開
東庄内Ｂ遺跡出土土器及び炭化米	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市稲生民俗資料館で展示公開
東庄内Ａ遺跡出土土器等 41点	鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館で展示公開
正知浦遺跡出土石器等 298 点及び井田川茶臼山古墳出土遺物一括	亀山市歴史博物館	亀山市歴史博物館で展示公開
赤坂遺跡出土土器等8点	芸濃町教育委員会	芸濃町総合文化センターで展示公開
多気遺跡群土井沖地区出土瓦等 20点	美杉村教育委員会	美杉村ふるさと資料館で展示公開
鴻ノ木遺跡出土土器等3点	松阪市教育委員会	松阪市文化財センターで展示公開
藪ノ下遺跡縄文土器2点	松阪市文化財センター	松阪市文化財センターで展示公開
井尻遺跡・若宮遺跡出土土器等 27点	勢和村ふるさと交流館	勢和村立資料館で展示公開
寺垣内遺跡出土土器5点	明和町教育委員会	明和町立ふるさと会館内で展示公開
城之越遺跡出土土器等 15点	上野市教育委員会	城之越遺跡　城之越学習館で展示公開
陶器壺（蓄銭容器）等 157点	地方職員共催組合三重県支部	榊原保養所神湯館で展示公開
北野遺跡出土土器4点	斎宮歴史博物館	斎宮歴史博物館で展示公開
近代古墳出土土器等 19点	上野市歴史民俗資料館	上野市歴史民俗資料館で展示
浮田遺跡Ｂ地区出土土器等	上野市歴史民俗資料館	上野市歴史民俗資料館で展示

Ⅴ　行政資料

1　県内埋蔵文化財数

教育事務所	散布地	古　墳	寺社跡	城館型跡	古窯跡	その他	計
北　　勢	1,139	1,361	54	199	64	81	2,898
中　　勢	833	1,794	43	130	30	55	2,885
松　　阪	746	1,165	51	75	32	18	2,087
南伊・志摩	707	794	21	108	14	235	1879
上　　野	531	1,505	266	599	28	181	3,110
尾　　鷲	43	4	0	19	1	7	74
熊　　野	99	0	1	64	0	2	166
合　　計	4,098	6,623	436	1,194	169	579	13,099

平成 14 年 3 月 29 日現在

2　県、市町村別の発掘調査件数及び面積の実績

（昭和45～63年分は『三重県埋蔵文化財センター年報4』参照）

		三重県埋蔵文化財センター担当							斎宮歴史博物館担当	その他の県組織担当	市町村担当								合計
		農林水産商工部関係	県土整備部関係	県関係その他	国土交通省関係	道路公団関係	国・公団関係その他	小計			土地改良等	道路・河川等	ゴルフ場	団地・個人住宅	工場造成地	土取り等	その他	小計	
平成元年度	件数	106	3	0	10	9	0	128	21	0	3	12	1	13	4	3	15	51	200
	面積	43,445	6,234	0	34,780	40,408	0	124,867	11,471	0	1,800	15,900	300	30,500	6,800	3,400	16,200	74,900	211,238
平成2年度	件数	61	15	2	7	10	0	95	11	0	9	9	2	20	10	5	13	68	174
	面積	43,765	8,696	648	31,372	18,790	0	103,271	5,697	0	16,900	19,700	3,500	27,900	15,400	8,000	17,300	108,700	217,668
平成3年度	件数	67	30	1	10	2	0	110	8	0	9	14	2	40	13	0	14	92	210
	面積	39,412	7,388	8	15,428	3,052	0	65,288	5,534	0	13,700	10,100	10,200	51,800	12,400	0	9,800	108,000	178,822
平成4年度	件数	50	29	0	15	0	0	94	9	0	6	13	4	38	17	3	28	109	212
	面積	29,210	9,864	0	17,485	0	0	56,559	3,954	0	13,700	14,000	15,600	15,400	45,200	500	8,000	112,400	172,913
平成5年度	件数	63	33	2	18	0	0	116	13	0	15	12	0	29	7	3	35	101	230
	面積	26,178	10,507	1,436	21,384	0	0	59,505	4,760	0	15,200	13,300	0	20,000	22,000	200	20,000	90,700	154,965
平成6年度	件数	75	45	2	18	0	1	141	9	0	10	14	0	31	3	8	37	103	253
	面積	32,256	11,475	2,000	31,178	0	816	77,725	3,770	0	24,347	8,651	0	13,788	830	440	20,511	68,567	150,062
平成7年度	件数	69	47	13	17	0	2	148	5	0	9	15	0	29	6	4	43	106	259
	面積	29,221	12,369	8,249	37,783	0	2,000	89,622	3,425	0	18,191	10,717	0	5,252	2,947	1,001	18,457	56,565	149,612
平成8年度	件数	67	70	25	19	1	0	182	10	0	10	23	0	157	3	6	40	239	431
	面積	15,293	19,252	18,176	30,054	160	0	82,935	3,986	0	21,293	6,769	0	43,038	842	1,325	19,324	92,591	179,512
平成9年度	件数	37	81	8	6	6	2	140	11	0	24	31	0	81	2	9	72	219	370
	面積	21,709	34,383	6,193	18,601	2,637	3,345	86,868	4,155	0	34,484	34,810	0	11,157	124	322	13,396	94,293	185,316
平成10年度	件数	30	72	5	9	13	21	150	6	1	7	27	0	114	4	5	99	256	413
	面積	19,088	36,400	2,558	9,241	26,771	3,677	97,735	2,025	48	5,123	18,432	0	29,527	5,605	5,788	23,111	87,586	187,394
平成11年度	件数	31	62	6	4	16	23	142	8	0	17	27	0	106	7	3	53	213	363
	面積	16,158	30,587	8,204	3,484	43,452	1,643	103,528	3,622	0	14,449	11,030	0	12,317	3,844	802	14,351	56,793	163,943
平成12年度	件数	21	62	0	10	17	11	121	11	0	10	33	0	98	6	4	120	271	403
	面積	11,775	16,845	0	14,150	40,871	2,168	85,809	2,115	0	12,104	13,479	0	62,810	4,153	3,320	35,215	131,081	219,005
平成13年度	件数	24	58	6	6	9	9	112	17	0	6	25	0	119	4	11	96	261	390
	面積	12,404	31,259.1	529	11,730	6,331.5	760	63,013.6	3,349.5	0	8,837	13,409.4	0	18,062.5	391	361	21,606.4	62,667.3	129,030.4

3　文化庁次長通知

１３庁財第８８号
平成１３年5月３１日

各都道府県教育委員会教育長　殿

文化庁次長
銭谷眞美　印

都市計画法及び建築基準法の一部を改正する法律の施行に伴う
文化財保護法の一部改正について（通知）

「都市計画法及び建築基準法の一部を改正する法律（平成１２年法律第７３号）」が平成１２年５月１９日に公布され、同法により、別添のとおり、文化財保護法（昭和２５年法律第２１４号。以下「法」という。）の一部が改正され、平成１３年５月１８日に施行されました。

ついては、法施行に伴う文化財保護事務について、遺漏なく処理してくださるようお願いいたします。

また、市町村の教育委員会等に対し、周知を図るとともに、適切な事務処理が図られるようご配慮願います。

記

1　法改正の内容

今回の都市計画法の改正においては、都市計画区域外の区域のうち、相当数の住居その他の建築物の建築又はその敷地の造成が現に行われ、又は行われると見込まれる一定の区域で、土地利用を整序することなくそのまま放置すれば、将来における都市としての整備、開発及び保全に支障が生じるおそれがあると認められる区域について、市町村が準都市計画区域を指定することができること**と**している。（都市計画法第５条の２第１項）さらに、準都市計画区域内では市町村が都市計画決定を行うこととされており、用途地域、特別用途地域、特定用途制限地域、高度地域（建築物の高さの最高限度を定めるものに限る。）、美観地区、風致地区又は伝統的建造物群保存地区（以下「保存地区」という。）を定めることができるとしている。（都市計画法第８条第２項）

そのため、法においても、都市計画区域内における保存地区と同様、準都市計画区域内の都市計画に保存地区を定めることができることとした。（法第８３条の３第１項）

また、準都市計画区域における都市計画決定にあたっては、都市計画区域内における都市計画決定にあたって必要となる都道府県知事の協議・同意の手続に代えて、都道府県知事の意見の聴取・意見の申し出の手続を行うことから、当該手続にあたっては、あらかじめ、当該都道府県教育委員会の意見を聴かなければならないこととした。（法第８３条の３第３項）

2　留意事項

（１）準都市計画区域における保存地区の決定等の手続については、都市計画区域における保存地区の決定等の手続と同様であり、従来の文化庁からの「文化財保護法の一部を改正する法律などの施行について」（昭和５０年９月３０日付け庁保管第１９１号）及び「伝統的建造物群保存地区の制度の実施について」（昭和５０年９月３０日付け庁保建第１９２号）の通知（通知中、「都市計画区域」とあるのは「都市計画区域又は準都市計画区域」と読み替えるものとする。）を参考に手続に遺漏のないようにされたいこと。

（２）既に法第８３条の３第２項により定めた保存地区について、準とし計画区域内の都市計画で新たに保存地区の決定を行う場合には、法第８３条の３第４項の規定に基づき、文化庁長官への報告が必要となるので遺漏のないようにされたいこと。

○文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）　（平成十二年五月十九日法律第七十三号による改正）

改正後	改正前
（伝統的建造物群保存地区の決定及びその保護） 第八十三条の三　市町村は、都市計画法（昭和四十三年法律第百号）第五条又は第五条の二の規定により指定された都市計画区域又は準都市計画区域内においては、都市計画に伝統的建造物群保存地区を定めることができる。この場合においては、市町村は、条例で、当該地区の保存のため、政令の定める基準に従い必要な現状変更の規制について定めるほか、その保存のため必要な措置を定めるものとする。 ２　市町村は、前項の都市計画区域又は準都市計画区域以外の区域においては、条例の定めるところにより、伝統的建造物群保存地区を定めることができる。この場合においては、前項後段の規定を準用する。 ３　都道府県知事は、第一項の伝統的建造物群保存地区に関する都市計画についての都市計画法第十九条第三項又は第五項の規定による同意又は意見の申出に当たっては、あらかじめ、当該都道府県の教育委員会の意見を聴かなければならない。 ４・５　略	（伝統的建造物群保存地区の決定及びその保護） 第八十三条の三　市町村は、都市計画法（昭和四十三年法律第百号）第五条の規定により指定された都市計画区域内においては、都市計画に伝統的建造物群保存地区を定めることができる。この場合においては、市町村は、条例で、当該地区の保存のため、政令の定める基準に従い必要な現状変更の規制について定めるほか、その保存のため必要な措置を定めるものとする。 ２　市町村は、前項の都市計画区域以外の区域においては、条例の定めるところにより、伝統的建造物群保存地区を定めることができる。この場合においては、前項後段の規定を準用する。 ３　都道府県知事は、第一項の伝統的建造物群保存地区に関する都市計画についての都市計画法による同意に当たっては、あらかじめ、当該都道府県の教育委員会の意見を聴かなければならない。 ４・５　略

〔 付１ 〕　平成 13 年度 三重県文化財調査員名簿

地区	氏 名	勤 務 地	専　　門	備　　考
北勢	松本　覚	白瀬小学校	埋蔵文化財	長島町・木曽岬町および員弁郡全域
	鎌田　雅生	西稜中学校	埋蔵文化財	菰野町・楠町・朝日町・川越町・関町
	川添　護	桑名高等学校	天然記念物	桑名市・桑名郡・員弁郡・三重郡
	桐生　定己		天然記念物	四日市市・鈴鹿市・亀山市・鈴鹿郡・菰野町
	嶋村　明彦	関町教育委員会	建造物	中勢管内と兼務
	園田　純子	津市教育委員会	彫刻等	中勢管内と兼務
中勢	服部　久士	津東高等学校	埋蔵文化財	美里村・河芸町
	齋藤　直樹	美杉南小学校	埋蔵文化財	白山町・香良洲町
	下村　純也	久居市教育委員会	天然記念物	
	嶋村　明彦	関町教育委員会	建造物	北勢管内と兼務
	園田　純子	津市教育委員会	彫刻等	北勢管内と兼務
松阪	増田　安生	飯高西中学校	埋蔵文化財	多気町・飯南町・飯高町
	奥　義次	度会高等学校	埋蔵文化財	大台町・宮川村・勢和村
	三井　博之		天然記念物	
	松月　久和	伊勢工業高等学校	建造物	南志管内と兼務
	藤田　直信	嬉野町教育委員会	彫刻等	南志管内と兼務
南勢・志摩	大西　素行	一之瀬小学校	埋蔵文化財	二見町・小俣町・御薗村
	北畠　充生	南島中学校	埋蔵文化財	大宮町・大内山村・紀勢町
	田村　陽一	宇治山田高等学校	埋蔵文化財	阿児町・大王町・玉城町
	村上　喜雄	的矢小学校	埋蔵文化財	鳥羽市・磯部町
	高見　宣雄	安乗小学校	埋蔵文化財	志摩市・浜島町
	前川　嘉宏	有田小学校	埋蔵文化財	度会町・南島町・南勢町
	橋本　清	伊勢高等学校	天然記念物	伊勢市・度会郡
	岡　與一		天然記念物	鳥羽市・志摩郡
	松月　久和	伊勢工業高等学校	建造物	松阪管内と兼務
	藤田　直信	嬉野町教育委員会	彫刻等	松阪管内と兼務
上野	市田　進一		埋蔵文化財	大山田村・島ヶ原村
	寺岡　光三	㈱森精機製作所	埋蔵文化財	阿山町・伊賀町
	松月　茂明	**日本サンショウウオセンター**	天然記念物	オオサンショウウオ
	杉澤　学	奈良女子大学付属小学校	天然記念物	
	滝井　利彰	タック設計室	建造物	
	瀧川　和也	県文化課県史編纂室	彫刻等	
尾鷲	津田　雄一郎	相賀小学校	埋蔵文化財	
	山本　和彦	長島高等学校	天然記念物	
	田崎　通雅	尾鷲市教育委員会郷土室	建造物・彫刻等	
熊野	福村　直人	新鹿小学校	埋蔵文化財	
	花尻　薫		天然記念物	
	岩本　直樹	入鹿小学校	建造物・彫刻等	

平成 13 年度
三重県埋蔵文化財年報

２００２・８

編集
発行　三重県埋蔵文化財センター

印刷　東海印刷株式会社